			一般経費(防災	出前調										事業期間			~		年度	整理番号	
担:	当部	署	危機管理室			B	频为	策課			防災対	対策係	<u> </u>		作成担当	者名	平	澤	浩	=	連絡先	136
			プランに 位置づけ	有	政策	策体	系		策策	05 05 01	第5章	が一致	後害に強 高揚	い、安全	ある高原 全で明る			l				
計	予	算	事 業 名	白士	- RF 555	組織	の在3		事業	01			*座開催 * 店 ※ (講演会・		コード			09 1	項 01 目	05 事業 01
画	事	務事 深に	· 業の概要 ^{(大} のですく)																			
			と背景	地均	t防災									ことから あります		の安全	は地域	載の力	で確	立する	」ことが1	i 要であり、
(目	対象	受益者 (誰のために) 対象	市月自主	E 医防災	組織	及びī	市民														
P	的		(直接働きかける)	防災	泛意識	の高	揚を	図る。														
L		段	・ 方 法 やって)								、区長: を利用			b								
A	()																					
			行政活動の紀	結果:	からこ	つくり	だす	ものに	は何?	指	標	名	称	単位	算出方	法・計	算式	・目標	票値設	定の考	きえ方など	最終目標値
Ν		活動指	防災出前講	盛の	開催					出前	溝座開作	崔組和	微数	組織	9 4 防	災組織	での開	催(訓練含	합 ()		92
	指標	標																				
)	の作	成	成果	•	効	果	は	何	?	指	標	名	称	単位	算出方	法・計	算式	目標	票値設	定の考	きえ方など	最終目標値
	成	人果指標	防災意識の	高揚	を図る	5				出前	溝座実 加	拖率		%	講座回	数/94	自主	防災制	且轍	講座の	み	100
		IV																				

項									正子 0 7 左连 / 字符	現代のの作曲
対		Į		目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成2/年度(予算) 又は決算額)	平成28年度 事業計画(予算)
「果 支 出 金 円 円		=								
東東支 出金 円		財		金						
内 1				金						
TO 10 1 1 1 1 1 1										
Table Ta			その他特定財	源						
「		沉	一般財		円					
数 空 空 で で で で で で で で	肔	職	正規 職			0. 16	0. 02	0. 02	0. 02	0. 02
数 時職 員 人 0.16 0.02 0.02 0.02 0.02 対象 (者)数 (b)		昌	嘱 託 職	員	人					
対象 (者)数 (b)			臨 時 職	員						
対象 (右) 数 (b) 単位コスト(a)/(b) 円	狀			計	人	0. 16	0. 02	0. 02	0. 02	0. 02
単 位 コスト (a)/(b) 円	ľ									
一										
市民一人当たりのコスト 円						_	_	_	_	_
出前講座開催組織数 目標 担機 94 94 94 94 94 94 94 9	況									
出前講座開催組織数 実績 紀載 70 65 65 69			<u> 下民一人当たりのコス</u>		円					
Tample										
Ta			111 AA SHOTTE BE AM AD AM AL	日標	組織					94
The state of th				実績		70	65	65	69	
Parish		活		実績 達成率		70	65	65	69	
Parish		活		実績 達成率 目標		70	65	65	69	
-		活		実績 達成率 目標 実績	%	70 74. 47	65 69. 15	65 69. 15	73. 40	-
成 出前講座実施率 10 13 31 45 47 提標 9 10.64 13.83 33.70 47.87 50.00 指標 - 実績 - - - - - 備		活動指		実績 達成率 実績 達成率	%	70 74. 47	65 69. 15	65 69. 15	73. 40	-
成果 目標 実績 % 10 13 31 45 47 果 指標 一 実績 / (文成率) % 10.64 13.83 33.70 47.87 50.00 情 / (本) / (***) / (**		活動指		実績 実成標 達成率 目標	% - %	70 74. 47	65 69. 15	65 69. 15	73. 40	-
成果 上前講座実施率 実績 % 10 13 31 45 47 果 達成率 % 10.64 13.83 33.70 47.87 50.00 指標 上 実績 - - - - - - 備		活動指		実績率に関する。	% - % -	70 74. 47	65 69. 15 —	65 69. 15 —	69 73. 40	-
果 達成率 % 10.64 13.83 33.70 47.87 50.00 指標 上 上 上 上 上 確成率 % - - - - - 備	D	活動指		実績率目実成標績率目実成標績率	% - % - %	70 74. 47 —	65 69. 15 —	65 69. 15	69 73. 40	1
標 一 実績	D	活動指標	_	実成標績率目実成標績率	% - % - %	70 74. 47 ————————————————————————————————————	65 69. 15 — — — 94	65 69. 15 ————————————————————————————————————	69 73. 40 ————————————————————————————————————	- - 94.00
標 一 実績	D O	活動指標成	_	実成標績率標績率標績	% - % - %	70 74. 47 ————————————————————————————————————	65 69. 15 ————————————————————————————————————	65 69. 15 ————————————————————————————————————	69 73. 40 ————————————————————————————————————	- - 94. 00 47
達成率 % - - - - - 備	D O	活動指標成	_	実成標績率標績率標績率標績率	% - % - %	70 74. 47 ————————————————————————————————————	65 69. 15 ————————————————————————————————————	65 69. 15 ————————————————————————————————————	69 73. 40 ————————————————————————————————————	- - 94. 00 47
備	D 0)	活動指標 成果指	_	実成標績率標績率標績率標	% - % - % %	70 74. 47 ————————————————————————————————————	65 69. 15 ————————————————————————————————————	65 69. 15 ————————————————————————————————————	69 73. 40 ————————————————————————————————————	- - 94. 00 47
	D 0)	活動指標 成果指	_	実達目実達目実達日実達目実	% - % - % % - %	70 74. 47 ————————————————————————————————————	65 69. 15 ————————————————————————————————————	65 69. 15 ————————————————————————————————————	- - 94 45 47. 87	94. 00 47 50. 00
者	D 0)	活動指標 成果指標	_	実達目実達目実達日実達目実	% - % - % % - %	70 74. 47 ————————————————————————————————————	65 69. 15 ————————————————————————————————————	65 69. 15 ————————————————————————————————————	- - - 94 45 47. 87	94. 00 47 50. 00
	D 0)	活動指標 成果指標	_	実達目実達目実達日実達目実	% - % - % % - %	70 74. 47 ————————————————————————————————————	65 69. 15 ————————————————————————————————————	65 69. 15 ————————————————————————————————————	- - - 94 45 47. 87	94. 00 47 50. 00

事務	事	業名 -	一般紹	費(防災	出前講	座開作	事(業						事業	期間	平成		~		年月	痩 整理	里番号	01080	106
担	当 剖	『署 🦸	飞機 管	理室			防災	炎対策	課		防災:	対策係			作成	担当者	名	平	澤	浩	=	連	絡先	13	6
	期				F	標						\$: 績								課	題			
四	第 1 期	消防想、名	署員0	自主での付	防災		柳資料	件に被	害予	自主防	災組織	訓練資料					ä	柳を	実施	してい			災組織	がある。	
半	第 2 期	地区	の区長	会を	通 じ、	出前記	摩を	啓蒙す	る。	自主防	災組織	で講演会	を実	施した	Ξ.			主防		織に	より、ダ	後害に対	対する	意識の温	温度
期ご	第 3 期	各区	·自治	会の基	事情に	こあった	と出前	講座の	実施。	自主防	災組織	で講演会	を実	施。			ħ		。(誰	が何				いても、かわから	
٤	第 4 期	自主	防災糸	且織 訓	練資	料の活	用。			地区区	長会で	説明。						核・区 i ○行う』				きらうな	ための	説明を個	固別
Ø											事	中	評	i	価										
	当	年度開	始後	、約(6ヶ月	月が経	過し、	新たり	こ生じ	た問題点	や環境	竟の変化	今	成	拡	充			(2		⑤	レ	7	
													後	果 […] の	現状	維持			(3		6		9	
管													の	方	縮	·-··				<u> </u>		8		10	
		*	先任 成	F M ⊈	2 佐計	· iai	ふ 質	4年	百(水	(革・改	美生)		- 1	向						•		U		w	
理		不	列 十 13	2 W X		岡 -	了开歹	不爭	点 (以	年 以	古火		方	性_	休彦	美 正	(1)								
													向			/	皆			縮		現状		拡	大
													性					⊐	ス	٢	投	入 の	方	向 性	ŧ
	1	評価年	E度		<u>11</u>	年度		1																	
	礼				-	当		<u> </u>		有	効	性			効		率	性	=		総	合 評	平価	判	定
		五の街		1	2	3	4	判別	₹ 1	1 2	3		判定	+	1 2		- 3	4	- 判5	ŧ l	IAC	н п	і іш	13	~_
評		エツ						4			レ		3						4				В		
価	- ==	る。	思識で	(i i i i i	<i>්ත I</i>	めりに重	安ひ	予果で	のり報	続して多	き肥し	cui,	神座	用作!	当数 でょ	書です	上大	か必多	₹ C 4	5	记 寻 B :	とが適	i当	業を進め に改善が	
																				5	Ē	の見直 事業の	しが必 統合、	容・実施 要 休・廃』	
С	題																					討が必 総合評	価判定		0101
н			細		施		策		評	価		前			細		包	A	色		神医評	価シート		号 0801 後	0101
	総	計画						商当で		、出前記	摩回		하 함	画と											やす
E	_	ため	の内容	検討	が必	要であ	る。						た	めの	内容検 区長会	討がが	>要で	ある							
С	合												1	'ÆK	应 及 云	СІЯП	EVA	関しい	æ 9	ூ∙					
	評																								
K	価																								
)	Щ	前	年 度	E 改	革	· 改	善角	きの	実 施	状 況			前	1 年	度細加	も 策 i	平価	にお	ける	5 今	後のこ	方向性	生		
改	^		細		施		策		評	価		前			細	ħ		ė	传		評	価		後	
革	今	成	拉		充 充			2		-		<u> </u>		成	拡	<u> </u>	Ī					:			
改	後	果		· !状維				3		6		9		果	現状							ļ			
善	の	の方						ļ						の 方											
の	方	向	絲	1	小			4		8	(10		向	縮	小									
方向	向	性	付	廃	止	1								性 _	休身	€ 止									
性	性			_		皆	減	縮	小	現状維		拡 丿	7			_	皆		咸	縮			維持	拡	大
^		R± ***	音樂 /	1草垣	1-1+		コス			入 の 出前講座] 性 <mark>更であり</mark>	R+	₩	識の言	坦1-1-	+ 42		ス ヘ出	ト	投力			向 性 要であ	LI LI
A	改革	地域	の実情							取り入れ			確地	域の	実情に										
Ţ	半	認を	行う。	飲を	- 契/	トレフ	- 久	他区か	らの声	望は増加	n I . 7 !	いるが	記事	を行	う。	を 契単	الإ	T :	冬柚	区かり	らの車	望け機	thn L. 7	ているが	, 21
I 0	改	き続	き区長	会等	の場	で呼び	掛け	5. .	J 47 3	・エ・の相が		W W - C	き	続き	区長会	等の均	り で 円	び掛						状況を	
N	善												6	せす	るのも	効果的	りであ	る							
)	策																								
		/T /=	月日	377	成284	年5月2	0日	最 終	· 評	価 責 日	名				防災対	第課	Ę					東	城	淳	
最終	冬評	伽生							- н і	ال يحر بسب					W1250	• ~ PA	\sim					~	-73%	-	

			防災訓練事	業											事業期間	平成		~		年度	整理	里番号	01080113
担:	当 部	署	危機管理室			防	災対	策課			防災対	付策係	•		作成担当	者名	平	澤	浩	=	連	絡先	136
	市おり	民 : ナる	プランに 位置づけ	有	政分	策 体	系 -	施 細 旅事務		05 05 01 02	第 5 章 第 5 章 防災章 市防災	市 災 転識の	後害に強)高揚		ある高原 全で明る			J					
計	- 子,	笛	事業名	RE S	訓練	終夢		事伤:	尹禾	UZ	ע נשן גווי	ベ하기하	* 字未			스타	コード	00	並ヤ	09	項 (1 目	05 事業 02
画	事者	<u>··</u> 務 事	ず 来 石 : 業 の 概 要 _{わかりやす} ()	地均			後関係	系者が	相互に	連携	して防	災訓	練を実放	施し、有	事に際し								の普及を図
			と 背 景うして)			訓練で 課題で			民の参	加に。	より災	害を	想定し #	た訓練を	実施。▷	ጟ、自治	会で	は単年	で役	員がる	を替す	る等活	動の継続性
	目	対	受益者 (誰のために)	市月市月																			
P		象	対象 (直接働きかける)																_				
	的	(どん	意図な状態にしたいか)												災害対応		きるよ	うにす	⁻る。				
LA									参加に 力依朝		災害を	想定	した総合	今防災訓	練の実施	Ē.							
			行政活動の約	結果:	からこ	つくり	だす	ものに	は何?	指	標	名	称	単 位	算出方	法・計	算式	・目标	票値設	定の	考えブ	ちなど	最終目標値
N	評	活動	防災訓練の	参加	を促す	-				防災記 数	川練実力	施通知	1発送	ã	区・自	治会及	び防災	関係	機関				100
	価指標	指標	防災訓練を	実施'	する					防災記	川実施[回数			年1回9	と施							1
\	の作	成	成果	•	効	果	は	何	?	指	標	名	称	単位	算出方	法・計	計算式	・目札	票値設	(定の	考えブ	ちなど	最終目標値
	成	果指標	防災意識の	高揚	を図る	5				防災調	川練参	加率		%	参加団	体/参加	ル要請	団体					100
		IVA																					

	項	目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予算 又は決算額)	平成28年度 事業計画(予算)
	事業費等	(a)	円	776, 726	554 , 633	197, 811	552, 051	500, 000
則	├ 国 庫 支 出	金	円					
実源	:丨 県 支 出	金	円					
	, 地 万	債	円					
内	一ての他特定別		円					
訴	川文 77]	源	円	776, 726	554, 633	197, 811	552, 051	500, 000
施崩	ぇ 規 職	員	人	0. 33	0. 22	0. 22	0. 22	0. 22
	│ 嘱 託 職	員	人				0. 30	0. 30
	品 時 職	員	人					
数		計	人	0. 33	0. 22	0. 22	0. 52	0. 52
	対 象 (者)	数	人					
	延利用(者)数	(b)	人					
	単位コスト(a)/	(b)	円	_	_	_	_	_
況	受益者負担	額	円					
	市民一人当たりのコス		円	14. 00	10. 00	4. 00	10.00	53. 00
	防災訓練実施通知発送	目標	通	99	100	100	100	100
	数	実績		99				
泛	<u> </u>	達成率	%	100.00			_	
重	i	目標		1	1	<u> </u>	1	1
動指	防災訓実施回数	実績		1	1	1	1	
D 標		達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	
127		目標	_					
	_	実績						
		達成率	%	_	_		_	_
잌		目標	%	80	80	80	80	80
点	防災訓練参加率	実績		80	80	80	80	80
集		達成率	%	100. 00	100. 00	100. 00	100.00	100. 00
し指	Í	目標						
標	-	実績						
		達成率	%	-			-	_
備老	車点を置いた訓練を実施	より ^権 しまし	機感的な いた。	『被害が発生した場合	で想定し、市民、目	王防災組織及び防災	関係機関による、人句	『に係る初期活動に

		業名 防災 3 署 危機				防災	炎対策課			防災対	策係				¥期間 成担当			~ ½	年 浩 二	度	整理番号		80113 136
	期				標							€ 稍	書							ŧ			
四	第 1 期	関係団体	体の調					4	各種団体	本を集め				:が出オ	となかっ	った	早期段	階での	協議が必		<u>. – </u>		
半期	第 2 期	訓練実施	is.					ā	川練の実	ミ施							訓練をが必要		ること、ス	(+.	ルアップの	ための)努力
1	第 3 期	次年度に	向け	ての準	備			2	医師会と	:打合せ	•						医師会	その継	続的な連	携。	と訓練が必	要	
٤	第 4 期	次年度に	一向け	ての準	備			*	8合防災								関係団	体の紋	り込みか	必	要		
Ø	14.7	- - 184/	1.U. U	· -	□ <i>1</i> ≥ 6 ∇	·	新たにな	# 10 #	8885 F	事	中 ************************************	. 1	平	価		_					_		
	31	干及用妇	佐、朮	別りケノ	月か栓:	迥し、	和/こに	土した	问起从	で境場	の変化	今	月牙	₽		仓		2		(7	
管												後	σ.)	!状維排	寺		3		Œ	3)	9	
												の	方向		1	J,		4		(8	3)	10	
理		新年	度の	実施計	├画・ -	予算要	求事項	(改革	・改善	善策)		方	性		廃」	E (D						
												向				/	皆	減 縮	小	Ę	現状維持	拡	大
												性	_	/			⊐	スト	投	入	の方	向	性
	1	评価年度	F	<u> </u>	当年度		1					•											
	初	見点		妥	当		性		有	効	性	Ė			効	率	1	<u>±</u>	総	合	評価	判	定
評		面の観点	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	Ē	1	2	3	4	判定			В		
価 (c	課題	・大規模 ・総合体 ・福祉選	地震 は 育館 性難所	災害時 が支援 解説運	後、3 物資の 営訓練	日間組 集積担 を実施	4 画を発し 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	予想さ て適切 に即応	れる支 lか否か できる	援物資 を検証 体制づ	に係る するこ	対策とと	をし	を <mark>優先</mark> た。(した訓	確化	 されま 実施。	4 L <i>†</i> ≃。 (H26)	記号の定義 前年度	と事事の事討総	画とおり が業業規 が当進模し統要 関連の が合 半 で が合 半 を が 合 半 を が 合 に を で が る で が る で が る で が る で が る で が る で う で う で う で う で う で う で う で う と う と う	に改善客・男体・房	等が必要 実施主体 軽止の検 B
н	40		細	施		策	割		価	À	ij			細		施		策	評		価	後	
E	総	・関係権	関と	の連絡	調整が	予定证	直りでき	ません	でした	•											議が必要で 施できた。	す。	
C	合評 価													V/B	ップ 本「	(W)	- 1 <u>- 10</u> ° 4	1911年間	AB U'& \	· *	#© ~ € /~ o		
<u> </u>	Щ	前年	度。	り 革	· 改	善角	きの実	施地	犬 況	一 部	写実力	ie ī	前:	年度糸	田施第	き 評 値	五にお	ける・	今後の	方	向性		
改革	今		細	施	į	策	評	F	価	À	ij			細		施	ŧ	策	評		価	後	
	後	成 果	拡	充			2	(5) L	· (7)		成果		3 3	5					V		
改善	の	<u>の</u>	現状	維持			3	(6	9)		の	瑪	状維持	寺							
	方	方 向	縮	小			4	(8	1)		方向	縮]	lv .							
の方向	向	性	休房	₹止	1								性		· 廃 」	Ł							
性	性	_			皆	減 コス	縮		現状維の			大			_			減れ			現状維持 の 方	拡	大
ACTI	改革・	• 関係 板	関と	の連絡			いら始め				IT						整を5	月から	<u> 12</u> 始める必 きたい。			rj į.	L
0 Z)	改善策	価年月ほ	a ,	平成28	在5日?	0 FI	最終	証 佈	害に	老				₽±≺	災対策	**************************************					東 城	•	<u>*</u>
取市	で計	画十万!	_	一块人	ナッカム	VΗ	取 心	□T 1Щ	貝工	73				נ נעו	人刈來	环攻			1		ママック 水 ツックス かんりょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしゅう かんしゅ かんしゅう かんしゅ かんしゅう かんしゅ かんしゅ かんしゅ かんしゅ かんしゅ かんしゅ かんしゅ かんしゅ	, ,	享

事系	务事業		一般経費(自主	防災網	且織訓	練実	施)	事業						事業期間	平成		~		年度	整理番号	01080107
担	当部	署	危機管理室			B	災対	策課			防災対	付策係			作成担当	者名	平	澤	浩	=	連絡先	136
計	おり	ナる	プランに位置づけ	有		策体		事務		05 01	第5章 第5章 防災 自主	市災意識の	害に強 高揚		ある高原 全で明るU 業	ハまち	づくり		1 ± tn			05 *** 01
AI	予	算	事業名					接事		⊢ D+ «« «	9 444 A	**	- 34 /L I		、訓練を		コード		款	09	項 01 目	05 事業 01
画	事為	務事	業の概要 _{わかりやすく)}	水間 総合	ち・土	砂災訓練	書訓線 (9月	東 (6) 上旬)	月上旬 の開)の開 催	催											
			と 背 景うして)	実施	する			護関だ 更です		は、対応	たに限	界がる	あるため	め「地域	の安全は	地域の	力で	権立す	「る」	必要が	くあり、訓紀	を継続して
	目	対	受益者 (誰のために)	市月自主		組織	及びす	5民														
Р		象	対象(直接働きかける)			の高																
	的	(どん	意図 な状態にしたいか)											_								
L A			・ 方 法 やって)	地区	な報ち	ュニ・	ティジ	■営協 −ナチ	議会を	を通じる	区長会 上利用	への『し広報	呼びか! 報	† 。								
			行政活動の組	結果:	からつ	つくり	だす	ものに	は何?	指	標	名	称	単 位	算出方	法・計	算式	• 目標	票値部	足定の表	考え方など	最終目標値
N	評	活動指	自主防災組織	載訓	練実加					実施糺	機数			組織	94自	主防災	組織か	作間	2 📵	以上実	施	94
	価指標の	標																				
	作	成	成果	•	効	果	は	何	?	指	標	名	称	単位	算出方	法・計	算式	・目標	票値割	定の表	きえ方など	最終目標値
	成	果指	防災意識の	髙揚						実施革	<u>K</u>			%	訓練実	施組織	/94	組織				100
		標																				

	Į		目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予算 又は決算額)	平成28年度 事業計画(予算)
	Ę		(a)	円				6, 340, 442	8, 853, 000
	財	国庫支出	金	円					
	源	県 支 出	金	円					
	内	地 方	債	円					
		その他特定財	源	円					
	訳	一 般 財	源	円				6, 340, 442	8, 853, 000
施	職	正 規 職	員	人	0. 11	0. 05	0. 05	0. 05	0. 05
	員	嘱 託 職	員	人				0. 30	0. 30
		臨 時 職	員	人					
状	数	合	計	人	0. 11	0. 05	0. 05	0. 35	0. 35
1/4	Ż		数						
	3		(b)						
	È		(b)	円	_	_		_	_
況	Š		額	円					
	Ī	5民一人当たりのコス		円				113.00	179.00
			目標	組織	94	94	94	94	94
		実施組織数	実績		32	19	13	15	
	活		達成率	%	34. 04	20. 21	13. 83	15. 96	_
	動指		目標	_					
	指	_	実績						
D	標		達成率	%	_	_		-	_
	JAK		目標	_					
		_	実績						
			達成率	%	_	_		-	_
0	成	pla Hr str	目標	%	94	94	94	94	94
	以田	実施率	実績達成率	0/	74 78, 72	69 73, 40	86	82 87, 23	90 95, 74
	果指			%	10. 12	73.40	91. 49	67.23	90. /4
$\overline{}$	扫		目標 実績	_					
	標	_	達成率	%	_	_		_	_
-			建队平	70	_	_	_	_	_
	備								
	考								

事務	事	業名 -	一般経	費(自主	防災制	B織訓絲	東実施)事業	<u> </u>						事	業期	間平	成		~	年	E度	整理番号	0108	30107
担	当部	图署 ƒ	き機管	理室			防災	炎対策	課		防	災対	策係			竹	成担	当者名	7	Z j	} ;	浩 二	•	連絡先	13	36
	期				E	標							実	: 稍	Ę							Ī	果	題		
四	第 1 期	土砂	災害訓 抜頼	練(5	月31	日)へ	の自主	防災統	組織の			主防災 D説明	組織で	土砂	災	害訓級	の実	施	訓練	に対す	するス	意識の「	句上:	が必要		
半	第 2 期	の開催	崔要請	F			訓練の 参加依		学習会	31 <i>0</i>	自主	防災制	自主防 織で アルの	学習:			実施			な訓練 必要が			on t	か、区内の	実情を	把握
期ご	第 3 期		される 催要 <mark>請</mark>		を想え	とした!	訓練の	実施、	学習会	35 <i>0</i>	自主	防災制	織で	学習:	₹0	で訓練)実施 ニュアノ		成						防災組織も 提告なし)	あれば	『活動
٤	第 4 期	自主l 明	访災組	織の	活動	につし	いて地区	区長	会で説	地区	区長会	全での	説明会	を実	施				初動い。	体制	₹=:	ュアルの	作用	成を呼び推	けてい	きた
Ø												事	中	ā	Ŧ	価										
							過し、 根気よ)変化	今	月		Ā	充			2		Œ	シレ	7	
管	TE	2, H/	1 X C	/皿/文	左が、	<i>1</i> 0 %	成メルチ	NIT U	ນ•ເ <i>)</i> ຜ	心女儿.	യയം			後	果の.		状維	持			3		Œ		9	
														の	ż		 §	小			4		(8	3)	10	
133							予算要	求事	項(引	b革・i	改善贫	策)		方	伯		、廃	止	1						†	
理	自主	を こり こり	組織記 三度 8	5動支 853 (接事	業								向					皆	減	縮	小	\]	見状維持	拡	
		,,	,,,	,000,0										性						ス	- I			の方	向'	
								1							/	_										
		評価を				4年度		LeL					Let							Tri.		W	^	== /=	· slat	_
	初	見 点の観		호 1 I	<u>ジ</u>	当 3	4	性制質	<u> </u>	有	2	<u>勃</u>	4 4	判定	,	1	効 2	率 3	I 4	性	定	総	合	評価	i判	定
評		エツ!		<u>'</u>		3	7	+1) A		1 4		υ ν	4	3	-	'		3	7		4			В		
価(C	課題	での 9 4 め方 複数	訓練実 自主防 等を見 年任期	施組し防	大織、災切が進り	である におい めてい	也域で(る。 いくの養) と資料、	年 2 回 更があ 式が必	以上の る。 要とな	O訓練S Sる	実施を	呼び										の 定 義 D	事事の事討総	が適当が変にます。 業別の 大学 見業が 内で がらい がらい がらい がらい かい	容・実み要体・廃	施主体 止の検 B
н			細		施	i	策		評	ſċ	6	前				細		施		策		評	и (ш.	価	後	710100
	総	防災	リータ	_ <u>ი</u>	養成	、防災	災訓練:	を実施	するこ	とで、	各地	域の	方災力	が!	1	防災網	且織の	活動が	、各	地域(の防	炎力が「	句上	し、防災:	力の高熱	場につ
E	合	回上 訓練(し、阪 の重要	災意性を	識の	高揚に説明	こつな; 明して!	がり、 ハく中	市全体で、近	Fの防災 動のてし	及力同 いくこ	上が とが	凶れる 重要で	。なかり	にか	り、『重要性	5全保 生さら	の防災に説明	₹カ何.	上にだ いく	が図りことが	られる。 が重要 ⁻	・訓であ	練、初動f る。	本制マー	ニュア
С		る。																								
ĸ	評																									
	価																									
		刖	年 度	改			善多	もの						Ī	jij :				曲にる		ර -	き後の	万			
改革	今		細		施	į	策		評	fi C		前		4		細		施		策		評	-:	価	後	
	後	成果	拡		充	 		2		⑤	レ	7			成果	打	<u></u>	充			ļ			レ		
改善	の	の	現	!状維	持	ļ		3		6		9			の	玛	1状維	持								
O	方	方向	縮		小			4		8		10			方向	絎	首	小								
方向	向	性	休	廃	止	1									性	17	ト廃	止								
性	性			_		皆	減	縮	小		犬維持			₹			_		皆	減	縮				拡	大
Â		₩ Hab I	法 " +	を向	Ь÷	サスナ	コ フ :めの			入の ERES				₩		Rt-SSS -	りたた	1ト ナム		コース				の 方 マニュア/		
C	改革	数年	王期)	を再	度区	長会等	穿で説!	月し理	解を利	る。				₽	痩	区長会	き等で	説明し	理解	を得る	5.					
Ţ	+						開整を通							5	1き	続き払	世当部	局と割	整を	する「	₽で	ョ主防犯	炎組	織の活動	支援を行	行う。
I 0	改							स्थान प्रशी					- •													
N	善生																									
	策													╧												
最終	>評	価年.	月日	平	成28	年5月2	20日	最終	冬 評	価 責	任	者				防	災対策	食課長					J	東 城	Ä	ļ

			一般経費(防災	講演会			•							事業期間	平成		~		年度	整理番号	0108010)9
担:	当部	署	危機管理室			B	災対	策課			防災対	寸策係	•		作成担当	者名	平	澤	浩	=	連絡先	136	
Ħ	おり	ナる	プランに 位置づけ 事 業 名	有	政策	策体		事務		05	第5章 第5章 防災意 防災部	が 単の	害に強	い、安全	ある高原 Èで明る	いまち			1 款	l ng l	項 01 目	05 事業	01
画	事利	多事	業の概要 つかりゃすく)	防災	意識	高揚	D†≃&	め、諏	訪6市						演会の開	催を実	そ施し.	ていま	きす。				
•			と背景うして)		進め				強化地ります		定さ	れてい	いること	とから、	近隣市町	村間で	大	規模な	3地震	発生に	対する啓領	発活動を総	続
Р	目的	対 象	文 金 有 (誰のために) 対 象 (直接働きかける) 意 図 な状態にしたいか)	6 7	可村					で図る	5.												
L	手	段	・ 方 法	6市	可村	持ち	回り!	こより	、防災	《講演 会	会を開作	催する	5 。(5	会場等の	回り順:	諏訪市	ī→下	諏訪昢	汀→茅	野市一	富士見町	・原村→岡	谷
			行政活動の	結果	からつ	つくり	だす	ものに	は何?	指	標	名	称	単位	算出方	法・計	算式	・目标	票値設	定の	きえ方など	最終目標	植
N	評価指標	活動指標	防災講演会	開催						講演会	開催回	回数			年1回								1
)	標の作成	成果指	成 果 防災意識の	共有	効	果	は	何	?	指演会	標	名 率	称	単 位 %	算出方 茅野市 :						考え方など		票値 00
		標																					

	Į	項	目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予算 又は決算額)	平成28年度 事業計画(予算)
	=		(a)	円	88, 795	89, 191	51, 068	51, 276	52, 000
	財	国庫支出	金	円					
実	源	県 支 出	金	円					
		地 方	債	円					
	内	その他特定財	源	円					
	訳	一 般 財	源	円	88, 795	89, 191	51, 068	51, 276	52, 000
施	職	正規職	員	人	0. 20	0. 20	0. 20	0. 10	0. 10
	員	嘱 託 職	員	人					
		臨 時 職	員	人					
状	数	合	計	人	0. 20	0. 20	0. 20	0. 10	0. 10
1		対象(者)	数						
			(b)						
			(b)	円	_	_	_	_	_
況		受益者負担	額	円					
-	Ī	市民一人当たりのコス		円	2. 00	2. 00	1.00	1.00	14. 00
			目標		1	1		1	1
		講演会開催回数	実績		1	1	1	1	
$\overline{}$	活		達成率	%	100. 00	100.00	100.00	100.00	
	動		目標						
	指	_	実績						
	標		達成率	%	-	_		_	
	IN		目標	_					
		_	実績	0.4					
			達成率	%	_	_	30	_	-
0	成	護演会参加率	目標 実績	%	30 20	30 20	20	200 191	100 95
	果	M 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	達成率	%	66, 67	66. 67	66. 67	95, 50	95, 00
	未指			9⁄0	00.07	00. 07	00. 07	90. 00	90.00
	担標	_	目標 実績	_					
	惊		達成率	%	_	_		_	_
	老	平成25年度は諏訪市文化 平成26年度は下諏訪総合 川北秀人氏 平成27年度は茅野市民館	センタ 文化セ	ーにて	ご開催(7月13日)、 −(小ホール)にて開	講師:市民防災ラボ J催(10月13日)、講	代表 玉木 貴 月 師:日本財団「次の	E	

事務	事第	業名 -	放料生	LM)	火碍澳	会実施)	尹禾						手	未期间	引 平	火	^		+,	度 整理番·	号 01080109
担	当部	『署 』	仓機管	理室		防	災対策	課		防災	対策係		作	成担当	者名	平	澤	*	=	連絡先	136
	期				目 標						身	€ 績							課	題	
四	第	今年 講演:	10月10 会実施	日(土) に向け	の防災 ての準値	講演会	の宣伝			等作成 6会議で			護題とし ⁻	て提案		集客交	为果力	パどの		込めるかれ	からない
	第 2 期	講演	会実施	に向け	ての準値	満					頓、他市町 f幕作成等		動員協	力依頼	i 、会				にも 掲 載 ピール		客について他
	第 3 期		会の実 度へ向	施 けての	検討					さへの都 会議を										訪市)からの かしていく	の問題点の聞き
ع	第 4 期	講演	会の講	師の検	討				6市町	村で協	温識を行う					次年度する	复担当	当市町	∫村(岡:	谷市)で講館	で について検討
စ										事	中	評	価								
	当年	年度開	始後、	約6	ヶ月が糸	圣過し、	新た	に生じ	た問題	点や環	環境の変化		成が	3	Ť			2		⑤	7
												1	果 ····································	!状維!	··········· 寺			3		6	9
管													方 縮							8	
		*	化左曲	<u>о</u> ##		マケョ	5 - 1- 75	TE / 74	-U- -1	+ // /		ا [" ا	向		<u>۱</u>			4		0	10
理		₹	打平及	の美州	計画・	卫 昇罗	₹ 冰 争	垻(戉	中,0	(普東))		性 <u>休</u>	廃」	E (D					
												向				皆	減	縮	小	現状維持	∮ 拡 大
												性				⊐	ス	۲	投 .	入のた	方 向 性
	_	評価生															Lit				
	拷			妥	<u></u>		性		有	交			1	効	率		性	_	総	合 評	価 判 定
評		面の観		1 2		4	判员	E I	2	3	4	判定		2	3	4	判				
	ナ	エツ		レ オ		20 H E31	2		<u>ルナル</u>		会場が遠	2	ナンフし	+ = #	den Ide	- 11	4		ΙΛ .	計画でもい	事業を進めるこ
$\overline{}$	課	当番・事	市町村	の重荷 諏訪広	になっ	ている。	0				きを開催し られるが、							まは	の C:	事業規模・ の見直しが	方に改善が必 内容・実施主体 必要 、休・廃止の
С	KER.																		前年度	総合評価半	定
																			前年度評	価シート整理	番号 0801010
Н									価		前		細		施		策		評		
Е	4//>		細		施	策		評												価	後
c K	総合評価	まれ	************************************	容を精	査し、	7.14	村に公			る内容		まれ		内容を料				打に公			<u>後</u> 内容に変更が望
c K	合評	まれ	************************************		査し、	7.14		平に還	元され	る内容	部 実 加	まれ	事業のP れる。		青査し	. 6 ব	5町村		·平に <mark>遠</mark>		
C K)	合評価	まれ	************************************	容を精改する。	査し、	6市町		平に還	元され	. る内容		まれ	事業のP れる。	田施策	青査し	、6 市	5町村		·平に <mark>遠</mark>	元されるが	
C K) 改革	合評価今	前	業の内る。	改革	査し、 を 施	6 市町	策 の	平に還	状況価	. る内容	部実施	を前	事業のP れる。 年度和	田施 策	萨	、6 市	がある。		後の	元される が 方 向 性 し	内容に変更が
C K) 改革	合評 価 今後	前成果	年度細拡	改革	査し、 施 施	6 市町	策 の	平に還	状 況 価	. る内容	部実力	施 前	事業のと 年度 細 拡張	田施策	情査 L	、6 市	がある。		後の	元されるP 方 向 性 <u></u> 価	内容に変更が
C K) 改革・	合評価今	まれが前の成果の	業る 年 細 拡 現	改 革	査し、 性 · 改 施	6 市町	策 の ② ③	平に還	状況 価	. る内容	部 実 が 前 ⑦ ③	を前りります。	事業のP 名。 年度 細 払 し。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	田施策	施	、6 市	がある。		後の	元されるP 方 向 性 <u></u> 価	内容に変更が
C K) 改革・改善の	合評 価 今後	前成果	年度細拡	改 革	査し、 性 · 改 施	6 市町	策 の	平に還	状 況 価	. る内容	部実力	施 前	事業の 年度 組	田施策	施	、6 市	がある。		後の	元されるP 方 向 性 <u></u> 価	内容に変更が
C K) 改革・改善の	合評価今後の方	ま 前 成果の方	業る 年 細 拡 現 縮	改 革	<u>春</u> し、 <u>た</u> 施	6 市町	策 の ② ③	平に還	状況 価	. る内容	部 実 が 前 ⑦ ③	施 前 月 の 方	事業の 年度 組	田施策	施	、6 市	がある。		後の	元されるP 方 向 性 <u></u> 価	内容に変更が
C K) 改革・改善の方向	合評価今後の方向	ま 前 成果の方向	業る 年 細 拡 現 縮	容を精改革	<u>春</u> し、 <u>た</u> 施	6 市町	策 の ② ③	平に還	大 次 ((((((((((((((((((る内容	部 実 が 前 ⑦ ⑨ ⑩	施 前	事業の 年度 組	田施 第二次 五元	施	、6 市	がある。		後の	方向性 し	内容に変更が 後
C K) 改革・改善の方向性(合評価今後の方	前 成果の方向性	業 る 年 細 拡 現 縮 休	容を精	査し、 施 ・ 改 施	女 善 策	策 の ② ③ ④ 経 な ト	実施	大 大 (5) (6) (8) 現の	る内容	部 実 が 前 ⑦ ③ ⑩ 拡 た	施 前	事れ 年 世 様 様 は は は は り 可可性 は は の に が は の に が が は が は が が が が が が が が が が が が が	田施策	施	断に お	5 世 3 け 第	る今縮ト	後の評かかり	方 向性 し 現状維持	後 拡 大向 性
C K) 改革・改善の方向性(A	合 評 価 今後の方向性 改	ま 前 成果の方向性	集る 年 細 拡 現 縮 休 成26年	容を精 改 (株) (*) (*) (*) (*) (*) (*) (*) (*) (*) (*) (*) (*) <th>査し、 ・ 改施 ・ 改施</th> <th>女 善 策</th> <th>策 の ② ③ ④ 経 な ト</th> <th>実施</th> <th>大 大 (5) (6) (8) 現の</th> <th>る内容</th> <th>部 実 が 前 ⑦ ⑨ ⑩</th> <th>施 前</th> <th>事れ 年 世 様 様 は は は り で 可 は で 成 の の の の の の の の の の の の の</th> <th>田施策</th> <th>施 と 注</th> <th>断に お</th> <th>5 世 3 け 第</th> <th>る今縮ト</th> <th>後の評かかり</th> <th>方 向性 し 現状維持</th> <th>内容に変更が 後 ・ 拡 大</th>	査し、 ・ 改施 ・ 改施	女 善 策	策 の ② ③ ④ 経 な ト	実施	大 大 (5) (6) (8) 現の	る内容	部 実 が 前 ⑦ ⑨ ⑩	施 前	事れ 年 世 様 様 は は は り で 可 は で 成 の の の の の の の の の の の の の	田施策	施 と 注	断に お	5 世 3 け 第	る今縮ト	後の評かかり	方 向性 し 現状維持	内容に変更が 後 ・ 拡 大
C K) 改革・改善の方向性(合評価 今後の方向性改	ま 前 成果の方向性	集る 年 細 拡 現 縮 休 成26年	容を精	査し、 ・ 改施 ・ 改施	女 善 策	策 の ② ③ ④ 経 な ト	実施	大 大 (5) (6) (8) 現の	る内容	部 実 が 前 ⑦ ③ ⑩ 拡 た	施 前	事れ 年 世 様 様 は は は は り 可可性 は は の に が は の に が が は が は が が が が が が が が が が が が が	田施策	施 と 注	断に お	5 世 3 け 第	る今縮ト	後の評かかり	方 向性 し 現状維持	後 拡 大向 性
С K) 改革・改善の方向性(ACTI	合評価今後の方向性改革・	ま 前 成果の方向性	集る 年 細 拡 現 縮 休 成26年	容を精 改 (株) (*) (*) (*) (*) (*) (*) (*) (*) (*) (*) (*) (*) <th>査し、 ・ 改施 ・ 改施</th> <th>女 善 策</th> <th>策 の ② ③ ④ 経 な ト</th> <th>実施</th> <th>大 大 (5) (6) (8) 現の</th> <th>る内容</th> <th>部 実 が 前 ⑦ ③ ⑩ 拡 た</th> <th>施 前</th> <th>事れ 年 世 様 様 は は は り で 可 は で 成 の の の の の の の の の の の の の</th> <th>田施策</th> <th>施 と 注</th> <th>断に お</th> <th>5 世 3 け 第</th> <th>る今縮ト</th> <th>後の評かかり</th> <th>方 向性 し 現状維持</th> <th>後 拡 大向 性</th>	査し、 ・ 改施 ・ 改施	女 善 策	策 の ② ③ ④ 経 な ト	実施	大 大 (5) (6) (8) 現の	る内容	部 実 が 前 ⑦ ③ ⑩ 拡 た	施 前	事れ 年 世 様 様 は は は り で 可 は で 成 の の の の の の の の の の の の の	田施策	施 と 注	断に お	5 世 3 け 第	る今縮ト	後の評かかり	方 向性 し 現状維持	後 拡 大向 性
С K) 改革・改善の方向性(ACTIO	合評価今後の方向性改革・改	ま 前 成果の方向性	集る 年 細 拡 現 縮 休 成26年	容を精 改 (株) (*) (*) (*) (*) (*) (*) (*) (*) (*) (*) (*) (*) <th>査し、 ・ 改施 ・ 改施</th> <th>女 善 策</th> <th>策 の ② ③ ④ 経 な ト</th> <th>実施</th> <th>大 大 (5) (6) (8) 現の</th> <th>る内容</th> <th>部 実 が 前 ⑦ ③ ⑩ 拡 た</th> <th>施 前</th> <th>事れ 年 世 様 様 は は は り で 可 は で 成 の の の の の の の の の の の の の</th> <th>田施策</th> <th>施 と 注</th> <th>断に お</th> <th>5 世 3 け 第</th> <th>る今縮ト</th> <th>後の評かかり</th> <th>方 向性 し 現状維持</th> <th>後 拡 大向 性</th>	査し、 ・ 改施 ・ 改施	女 善 策	策 の ② ③ ④ 経 な ト	実施	大 大 (5) (6) (8) 現の	る内容	部 実 が 前 ⑦ ③ ⑩ 拡 た	施 前	事れ 年 世 様 様 は は は り で 可 は で 成 の の の の の の の の の の の の の	田施策	施 と 注	断に お	5 世 3 け 第	る今縮ト	後の評かかり	方 向性 し 現状維持	後 拡 大向 性
C K) 改革・改善の方向性(ACTION	合評価 今後の方向性 改革・改善	ま 前 成果の方向性	集る 年 細 拡 現 縮 休 成26年	容を精 改 (株) (**)	査し、 ・ 改施 ・ 改施	女 善 策	策 の ② ③ ④ 経 な ト	実施	大 大 (5) (6) (8) 現の	る内容	部 実 が 前 ⑦ ③ ⑩ 拡 た	施 前	事れ 年 世 様 様 は は は り で 可 は で 成 の の の の の の の の の の の の の	田施策	施 と 注	断に お	5 世 3 け 第	る今縮ト	後の評かかり	方 向性 し 現状維持	後 拡 大向 性
C K) 改革・改善の方向性(ACTION)	合評価 今後の方向性 改革・改善策	ま 前 成果の方向性	業 る 年 細 拡 現 縮 休 全 全 を 26者	を精 単	査し、 ・ 改施 ・ 改施	食 善 う	策 の ② ③ ④ 縮ト ごろ)	実施	元 状 (5) (6) (8) 現 域 域	を	部 実 前 ⑦ ③ ① ①	施 前	事れ 年	田施策	新査 評価 施 と ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	断に お	5 世 3 け 第	る今縮ト	後の評かかり	方 向性 し 現状維持	後 拡 大向 性

			一般経費		ガイ	ドブ・	ック改	訂) 4	事業						事業期間	平成	24	~	29	年度	整理番号	0108	0108
担	当部	署	危機管理室				防災対	策課			防災対	策係			作成担当	者名	並	澤	浩	=	連絡先	13	36
-1	おり	ナる	プランに 位置づけ	17			本系	事務	策 策 海 事業	05 01	第 5 章 第 5 節 防災意 防災ガ	災歳の	害に強 高揚		ある高原: 全で明る 業	いまち	づくり						
計	予	算	事 業 名				推進										コード				頁 01 目	05 事	業 01
画	事績	多事	業の概要 わかりゃすく)	随	時、G1	Sデ-	ータを	修正	します	。(新	規指定	の±i	砂災害	警戒区均	防災ガイ 或及び災	書危険	箇所等	F)					
			と 背 景うして)							域に指 くありま		生砂	災害	防止法指	定による	危険区	፟域の)	周知等	から	、防災	ガイドブ	ックを見	≧期的
	目	対	受益者		民 炎ガイ	ドブ	「ック																
Р	-	象	対象(直接働きかける)				t 	<u>:</u> への面	1- /													
	的	(どん	意図)																			
L				54	¥ごと	に見	直しる	を加え	改訂す	る 。													
A			・ 方 法 やって)																				
			行政活動の)結果	からつ	> <	りだす	ものに	は何?	指	標	名	称	単 位	算出方	法・討	算式	• 目標	種設	定の考	きえ方など	最終目	標値
N	鄞	活動指	防災ガイト	・ブッ	クの	見直	L			見直し	回数			•	5 年毎	の見直	L						1
	指	標																					
)	標の																						
	作	成	成果	•	効	果	は	何	?	指	標	名	称	単位	算出方	法・計	算式	・目標	標値設	定の考	きえ方など	最終目	標値
	成	指	ガイドブッ	クを	市民	▼配	作する	(戸	数)	改定率				%	5年毎	の見直	L						100
		標																					

		頁	目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予算 又は決算額)	平成28年度 事業計画(予算)
		事業費等	(a)	円	6, 224, 400			1, 188, 000	
	財	国庫支出	金	円					
実	源	県 支 出 地 方	金	円					
	内	地方	債	円					
		その他特定財	源	円					
44.	訳	一 般 財	源	円	6, 224, 400			1, 188, 000	
施	職	正規職	員	人	0. 11	0. 01	0. 01	0. 01	0. 01
	員	嘱 託 職	員	人					
		臨 時 職	員	人					
状	数	合	計	人	0. 11	0. 01	0. 01	0. 01	0. 01
7/		对 象 (者)	数						
		延利用(者)数	(b)						
			(b)	円	_	_	_	_	_
況		受益者負担	額	円					
	Ī	市民一人当たりのコス		円	111.00	_	_	21.00	1.00
			目標		1			1	
		見直し回数	実績		1			1	
	活		達成率	%	100.00	_	_	100.00	_
	動		目標	_					
	動指	_	実績						
D	標		達成率	%	_	_	_	_	_
	示		目標	_					
		_	実績						
			達成率	%		_	_	_	_
0	-		目標 実績	%	22, 000			100	
	应	改定率	実績	1.7	16, 752			100	
	成果指		達成率	%	76. 15	_	_	100.00	-
J	指		目標	_					
	標	_	実績						
			達成率	%	_	-	_	_	-
	備	平成19年度改訂	.OF #= 0		-0 3*00 00/ 5 -3 3				
	±×	平成24年度改訂(平成	(25年3	月追加	ヘーシ93-96作成)				
	考	平成27年度に地図面追	训。办	(凹攻音	」ア疋は平成29年度				

		業名 一般新 7 要 各 ## 4		ガイドフ								期間		24 平	~	29	年度			80108
担		署 危機管			防災対	東誄	עון	災対策係			作的	担当者	名	*	澤	浩		連絡先		136
	期			目標					実	ŧ							課	題		
四	第 1 期	防災ガイド める	ブック地図	面追加第	装務発注	準備を進	・長野県と	連絡調整。	データ	- σ	借用。		7	ーター	の借り	用が予	定より	りずれこん	でしま	った。
半	第 2 期	業務の委 める	託契約を行	い、地図	面追加作	手業を進	委託業務データー											しまっただ いく必要が		
期ご	第 3 期	地図面追加	加作業の打	「ち合わせ	ŧ		・業者との ・資料渡し	打ち合わせ	•				資	料提供	せが遅	かった	Ė			
٤	第 4 期	内容校正					・データー	の納品												
_O								事 中		Ŧ	価									
•	当年	丰度開始後	、約6ヶ	月が経過	⊍し、新 <i>†</i>	とに生じ	た問題点や	環境の変化	上今	成	拡	充			2		(5)	7	レ
管									後	果の	現状	維持			3		Œ)	9	
E									の	方	縮	小			4		(8	3)	10	
*****		新年原	度の実施詞	十画・予	算要求	事項(改	女革・改善3	策)	方	向性	休」	廃 止	1							
理	防災	もガイドブッ	ク改訂作業	ミデーター	-作成				向	-			皆	洞	え 縮		小∃	見状維持	拡	
									性									の方	向	性
										/										
					Let.			al .		-11		_	Let		44	٠	== /=	det		
						(¢				,			•		和中	裕	合	部 他	判	定
評			1 2	3			1 2	٥ ١ ٧		╁	'	2 .	,	4		1		В		
価(C	評価年度 当年度 視点 妥当性 有効性 効率性 総合評価判定 評価の観点 1 2 3 4 判定 1 2 3 4 判定 1 2 3 4 判定 5 年周期の改訂であるが災害危険箇所等の変更が随時あるため、電子地図等を活用した更新が望ましい。 4 日本の記載の選問しているため、電子地図等を活用した更新が望ましい。 課 日本の記載の進め方に改調の見直しが必要である。 では、事業規模・内容・のの見直しが必要である。 では、事業規模・内容・のの見直しが必要である。 では、事業の進め方に改調を定したが必要である。 では、事業の進め方に改調を定した。 ままり事業の進め方に改調を定した。 ままり事業の進め方に改調を定した。 ままりままでは、 ままりままります。 ままりままりまます。 ままりまます。 ままりまます。 ままりまます。 ままりまます。 ままりまます。 ままります。 ままりまります。 ままりまります。 ままりまります。 ままります。 ままります。 ままります。 ままります。 ままります。 ままりまります。 ままりまりままり。 ままりまります。 ままります。 ままりまりままります。 ままります。 ままります。 ままりまりままります。 ままります。 ままりまりままります。 ままりまする。 ままります。 ままりまする。 ままりまります。 ままります。 ままり															ら 手が必要 実施主体 発止の検 B				
н	40	細			策	評	価	前			細	抗		策		評		価	後	
E	総	減災に必要 庁内GISの					もしていく。				こ必要な iISの地							ていく。		
_	合	77 7 7 4 4 1 0 0 3	/ PO PO /	, , ,	4 0 7 7 4 1	0120-8					災害警刑									
С	評																			
K																				
J	価	前年月	度 改 革	• 改 🛊	善策の)実施	状 況		Ī	前 年	度 細	施策部	平価(こおし	ナる:	今 後	の方	向性		
改	^	細	1 <i>j</i> r	ħ.	策	評	価	前			細	ħ	ħ	策		評		価	後	
革	今		 広 充	_	2		5			成	拡	 充								レ
改	後	果			3		6	9		果		 :維持								
善	の	方 _新	宿 小		4		8	10		の 方	縮	\/\ \/\								
の方向	方	回	╚┈┈┈┈ 木廃止	①	9		~	49		向 性		廃 止							<u> </u>	
向性	向	- 1 	1. 15% IL	皆	減 縮	小	現状維持	拡	大	-	- I/N	* IL	皆	減	統	3	小 :	現状維持	拡	大
111	性			' ⁻ =	コス	ト 投	入の方	向 性		_			ļ		ス	- ト 投	入	の方	向 忄	生
A C T I	改革・な	平成245 クを活用で 地図情報:	年度に改訂 する。 システムの	「版を作成)データ作	战・各戸 作成を行	配布し、 う。	避難訓練等	にガイド	クサ	ァを b図f	2 4 年度 舌用する 青報シス こ土砂ジ	5。 ステムσ	デー	タ作成	を行	う。		難訓練等! 布	こガイ	ドブッ
0 N)	改善策	Tr. Fr. Fr.	w chec	AF B CC		4h ==	/m = 1-	*			pi	LI Ade por								
1 最 2	※評	価年月日	平成28	年5月20	日 最	終 評	価 責 任:	首			防災:	対策課	툿					東域		享

			一般経費		気象性				事業						事業期間	平	成	23	~		年度	整理番	号 01	1080102
担	当部	署	危機管理室	Ē		B	災対	策課			防災対	対策係	ŧ.	•	作成担当	者名		平	澤	浩	=	連絡先		136
担 計 画 へ P L	市お予事の意味を	日	た機管理 プ位 事業の がすれて では では では では では では では では では では	有りの方が近年に降しています。	以気象を を を を を を を を を を を を を を	集 情情 録 中 に	システンステ	政施和務省を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を	利用している。	05 05 01 06 た風カ	第5章 防災が 防災が は書等 長雨に 役	を 快速 の	高適で安 (書に強)高橋 で高橋 である では である では である である である である である である である である である である	らぎのる い、安全 供事業 本制を充	ある高原 全で明る 実、強化 策が必要	都市ま会社であ	一づちづまする	リリスタード	001	l 款 た する	09		3 05	事業 05
A			・ 方 法 やって)	 5 .																				
			行政活動の)結果	からつ	つくり	だす	ものに	は何?	指	標	名	称	単位	算出方	法・	計算	式	• 目標	票値設	定のを	考え方な	ど最終	终目標値
N	評	活動	防災気象性	報シ	ステム	ム運用				システ	- ム運/	Ħ		式										1
	価指標の	指標																						
	の作	成	成果		効	果	は	何	?	指	標	名	称	単位	算出方	法・	計算	式	・目標	票値設	定の参	考え方な	ど最終	終目標値
	成	人果指標	防災気象情	₹₩W	EB	閲覧 人	数			WEE	閲覧。	人数		人/月	年間閲	覧人	数÷	12=	月平	均閱	吃人数			5, 000
		IN																						

	Į	頁	目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予算 又は決算額)	平成28年度 事業計画(予算)
	Ę		(a)	円	9, 338, 323	3, 515, 651	3, 140, 159	2, 647, 697	4, 901, 000
	诨	国 庫 支 出	金	円					
	源	県 支 出	金	円					
		地方	債	円					
	内	その他特定財	源	円					
	訳	一 般 財	源	円	9, 338, 323	3, 515, 651	3, 140, 159	2, 647, 697	4, 901, 000
施	職	正 規 職	員	人	0. 11	0. 03	0. 03	0. 03	0. 03
	員	嘱 託 職	員	人					
		臨 時 職	員	人					
状	数	白	計	人	0. 11	0. 03	0. 03	0. 03	0. 03
1/	7		数						
			(b)						
			(b)	円	_	_	•	_	_
況		受益者負担	額	円					
	ī	市民一人当たりのコス		円	166. 00	63. 00	56 . 00	47. 00	92. 00
			目標	式	1	1	1	1	1
		システム運用	実績		1	1	1	1	
	活		達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	_
	動		目標	_					
	指	_	実績						
D	標		達成率	%	_	_	_	_	_
	尓		目標	_					
		_	実績						
			達成率	%				_	
0			目標	人/月	5, 000	5, 000	5, 000	5, 000	5, 000
	及	WEB閲覧人数	実績			7, 015	3, 914	4, 363	4, 500
	果		達成率	%	_	140. 30	78. 28	87. 26	90. 00
	成果指		目標						
	標	-	実績						
			達成率	%			_	_	_
	備	平成23年度事業費は現 新「防災気象情報システ	在のシ ム」σ	/ステ <i>』</i>)運用に	な「茅野市降雨情報等 は平成24年10月1日と	「収集分析装置」の運 なりました。	用費です。		

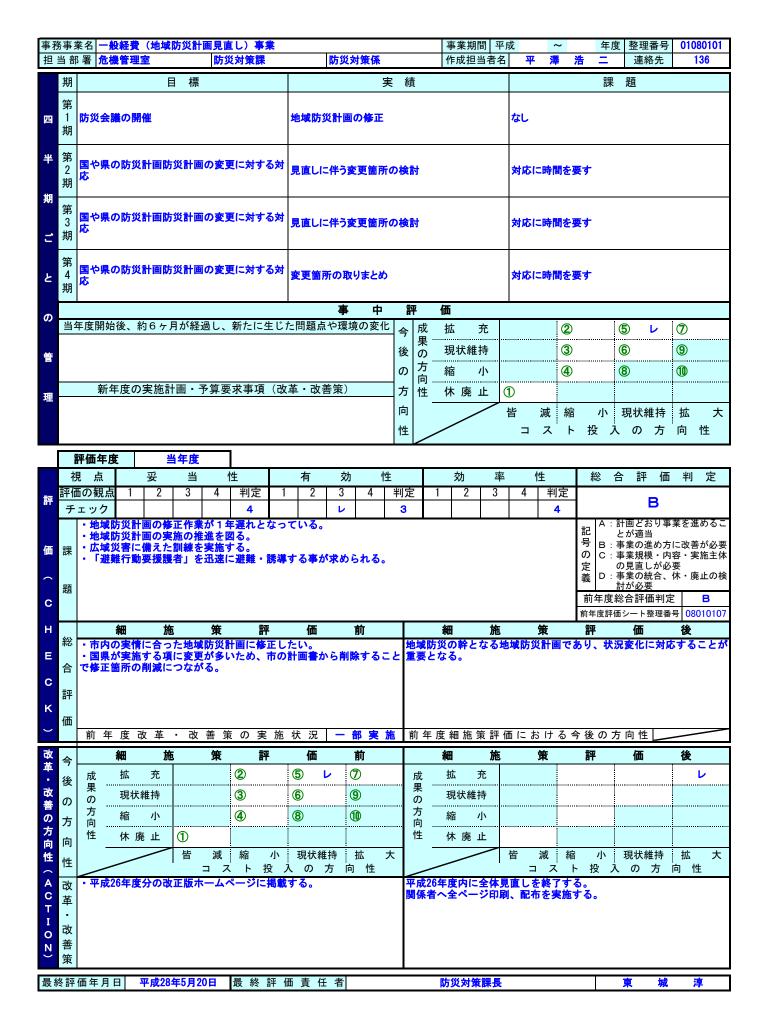
			般経費 機管理	(防災 室	気象性		くテム) (対策			防災対	策係				業期間		t 23 平	~ 澤	浩	年月	度 整理番·		080102 136
	期				目標						美	: 稍	į							課	題		
四	第 1 期	基準 開始	量の別	や定によ	:り、ア :	ラートメ	一ルの	運用	携帯電話 な情報を				するこ	ことによ	り、正都						隔で送信さ の改善が必		5。ア
	第 2 期	アラー	トメール	レの登録	最数を増	やす			各区長会でもらえ				5 —	トメール	レの登録	-	区・自 る。	台会こ	* *	防災に	対する意識	ぱに温度	差があ
期ご	第 3 期	アラー 茅野市	トメールでいる。	レの登録 私 象情 報	最数を増 の画面	増やす 回閲覧	旨を増	ゆす	各区長会ラートメー								区・自 る。	冶会こ	:EI=	防災に	対する意識	能に温度	差があ
٤	第 4 期			レの登録 (象情 報			皆を増・	やす	各区長会ラートメー		き録して	もら	₹ る 。	ように 計			区·自 る。	台会こ	: 	防災に	対する意識	ぱに温度	差があ
_O			11.46	<i></i>			±= 1 .		, nnn r 5	事	中	7	_	価									
									た問題点 えられる 。			今	成果	拡	充			(2		⑤	7	レ
管									えられる。		×= 4	後	かの	現場	犬維持			(3		6	9	
												の	方向	縮	小			(4)		8	10	
理						頁(改	革・改善	善策)		方	性	休	廃止	1)						•••••		
	49 1	間の当	設、利	雪計、	温度計	の新設					向				ŧ	5 .	減	縮	小	現状維持	拡	大	
												性		/			⊐	ス	٢	投え	しのた	向	性
	性 コスト投入の方向性 評価年度 当年度 視点 妥当性 有効性 効率性 総合評価判定																						
	評価年度 当年度 視点 妥当性 有効性 効率性 総合評価判定 評価の観点 1 2 3 4 判定															定							
評			点 1		3	4	判定	<u> 1</u>	2		判定	?	1	2	3	4	判定	?					
яT	チ																•				W S	- -	
	視点 妥当性 有効性 効率性 総合評価 評価の観点 1 2 3 4 判定 1 2 3 4 判定																						
価(HAL.	〇雨 <mark>量</mark> 計がな	計の質	2 置 にか 5、近年	Nたより F <mark>増加し</mark>	りがあり している	り、浸 る局地	水害の 的な集	多い河川 中豪雨の	沿い・ データ	土砂災 が取得	書警でき	戒指ない	定区域	に関係	する	ら地域(こ雨量	5	の C:	事業の進め 事業規模・ の見直しが 事業の統合 討が必要	内容・身 必要	[施主体
С	題																		-	前年度	<u> おか必要</u> 総合評価半	定	В
			•			••															価シート整理		010106
н	総	国温井	細の画	加加克		策を集		評り	<u>価</u> ステムを		<u>ナーい。</u>	-	i III. 7	細の画		包一		策 <u>集</u> 約		評別シ	<u>価</u> ステムを構	後無した	1.).
E		= X I	O) Na	ERI MIA	_, ,	~ C >K1	., 0/2	20.00	,, <u>,,</u>	. 1 17 X U	120-8	温	度計	∱、積額	言計の3	を備:	が必要	•			,, <u>, , , , , , , , , , , , , , , , , ,</u>	, x 0 / 2	. • • •
С	合												. או	ドイン	ト予測が	ν — :	米るン	ステ	4 <i>7</i>)	必要。			
	評																						
K	価																						
\		前名	₣ 度	改革	• 改	善角	きの	実 施	状 況			Ī	前 年	度 細	施策	平価	iにお	ける	今	後のス	方向性		
改革	今		細	抗	色	策		評	価	Ħ	ij			細	į	施	Ś	策		評	価	後	
#	後	成	拡	充			2		⑤	7)レ		成	拡	充								レ
改善	の	果の	現状	維持			3		6	9)		果 の	現物	犬維持								
の	方	方向	縮	小			4		8	10)		方 向	縮	小								
方向	向	性	休」	廃 止	1								性	休	廃止								
性	性	-			皆	減	縮	小								1			縮		現状維持		大
Â		W Fig. of	4 # 4	月新シ	ノステ	コフ		投	入 の 7	方 向	性	31	i pit o) <u>4</u> #	6月新:	77			٢	投り	への 方	向作	王
С	改革	1 79% 2		- 11401 -	4	- · Æ/						7	成 2	28年	隻予算	要求	し、天	気予	服の	ピンポ	イント予測	画面開	発と雨
T	٠											ľ	LATU	ノ増設	が望まし	しい	•						
0	改美																						
Z)	善策																						
旦 44		压欠。		₩ - 1 -0-0	A-F-P-	20.5	B "	, Ex. 1	エまと	-±z		_1_		p4-111	ALL felt man						- ·		*
取剂	き評	価年月	Ħ	平成28	平0月	ᄱ	取 終	: 評 1	西 責 任	有				防災	対策課	反					東	龙	享

一般会計【茅野市】

事務	事業	名	一般経費(対	<mark>地域防災計画見直</mark>	し)事業				3	事業期間	平成		~	年度	整理番号	01080101
担当	当部	署	危機管理室	防災	対策課		防災対抗	策係	1	作成担当	者名	平;	半 浩	=	連絡先	136
			プランに 位置づけ	有政策体系	政策 施策 細施策 事務事業	05 05 02 01	第5節	快適で安 災害に強 制の充実 災計画見直	い、安全							
計	予	算	事 業 名	地域防災計画推:							会計コ				項 01 目	05 事業 01
画	事務	8事	·業の概要 っかりゃすく)	地域防災の幹行い、最新状況 15日及び平成 「減災」の考え、 きるだけ少なく	に対応します。 25年2月19 方を防災の基本	・東 日に 方針。	日本大震 牧訂され とし、た	災などの大 ました。追 とえ被災し	規模災 加され たとし	害の経験 た一部分 ても人命	を教訓 は≪特 が失わ;	こ「長! こ、災!	野県地 書時の	域防災計 被害を最	·画」が平成 :小化する、	t24年2月 いわゆる
			と 背 景うして)	平成21年度に る中で、市民と											きましても	整合性をと
(目	対	受益者	市民職員、防災関係	後型											
P		象	対象 (直接働きかける)			4.5.1.	- // - 1									
	的	(どん	意図な状態にしたいか)	状況の変化に対	心した地域防災	2計画(の作成									
L A			・ 方 法 やって)	毎年1回見直し	を行い、必要に	応じ	追録する	。(地域以	5災計画	はパイン	ダー方	さとす	3 。)			
			行政活動の紀	結果からつくりた	すものは何?	指	標	名 称	単 位	算出方法	法・計算	章式・	目標値	設定の≉	きえ方など	最終目標値
N	評	動し	毎年1回の	見直し		見直し	.回数			見直し回	動数					1
	価指	指標	防災会議の	開催		開催数	<u>X</u>		•							1
	標 の															
	作	成	成果	• 効果(ま 何 ?	指	標	名 称	単位	算出方法	法・計算	章式・	目標値	設定の参	きえ方など	最終目標値
		果指標	地域防災計画	画作成		見直し	- 率		%	見直した	反映箇 列	f/全見	直し箇	所		100
		小不														

		頁	目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予算 又は決算額)	平成28年度 事業計画(予算)
	=	事業費等	(a)	円	38, 900	48, 000	38, 400	44, 800	191, 000
	財	国庫支出	金	円					
実	源	県 支 出	金	円					
		地方	債	円					
	内	その他特定財	源	円					
	訳	一 般 財	源	円	38, 900	48, 000	38, 400	44, 800	191, 000
施	職	正 規 職	員	人	0. 50	0. 50	0. 50	0. 50	0. 50
		嘱 託 職	員	人					
	員	臨 時 職	員	人					
al be	数	合	計	人	0. 50	0. 50	0. 50	0. 50	0. 50
状	7		数						
		延利用(者)数	(b)						
	È		(b)	円	-	_	_	_	_
況	5	妥 益 者 負 担	額	円					
		市民一人当たりのコス		円	1. 00	1. 00	1. 00	1.00	71. 00
			目標			1	1	1	1
		見直し回数	実績	Ш	1	1		1	
	活		達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	_
	山新		目標]		2	1	1	1
	動指	開催数	実績		1	1		1	
D	扫		達成率	%	100.00	50. 00	100.00	100.00	_
ט	標		目標						
		_	実績	_					
			達成率	%	_	_	_	_	_
0			目標	%	507	100	100	100	100
	成	見直し率	実績	70	241	100	100	100	100
	成果		達成率	%	47. 53	100.00	100.00	100.00	100.00
	指		目標						
	標	_	実績						
			達成率	%	_	_	_	_	_
		東市の9年、99年14%	宇在陸	生工	水は計画の一部体で	太宇佐し士した			

| 平成22年・23年は災害危険箇所、水防計画の一部修正を実施しました。 | 平成22年・23年は災害危険箇所、水防計画の一部修正を実施しました。 | 平成24年度は県防災計画の平成23年度改訂を受け、既存の本編を修正241頁分、新規に「原子力災害対策編」を追加し改訂しました。 | 考 | 平成24年度は災害対策基本法の改正、東日本大震災の教訓を踏まえ全面改正



事系	务事為	Ě名	防災行政無	線デ	ジタノ	レ化導	業								事	事業期間	平成	23	~		年度	整理	番号	01080115
担	当部	署	危機管理室			ß	方災大	策課			防災対	対策係			11	F成担当	者名	平	澤	浩	Ξ	連絡	先	136
	市 おり	民 ナる	プランに 位置づけ	有	政策	策体	系	施細族		05 02	第5章 第5節 防災(市 災	害に 充実	強い、	安全	る高原			J					
計	_	***	Alle	BL 44		-		事務	事業	02	防災行	丁政無	線整	備事業			A =1		<u> </u>	4 +4	1001	- = 04		05 - 4 04
画	事	答 事	事業名	防常所【同	けの通 記定の 報系	無信小り	老りを持ちます。	して活 3箇所 こ、全	用する 、笹原 市一剤	ため、 保育 F緊急	昭和 國、八 通報「	59年月 ヶ岳 こうに	を 合 ほ う ち	導入し 物館へ の」を	·運用 へ、 を行っ	用してい また、夢 うため、	系】 ます。科等の	無線 の管理 0年度	におけ	ナる的 也区コ 斤9箇戸	確かつ ユニティセ 折など れ167	ンター10億 に配備 基の屋	師、 して 外拡	05 事業 04 収集と、平 基本避難 います。 車受信装置 受信機を
			と 背 景うして)					市民へ 更があ			炎行政	無線の	の老杯	5化に作	半う材	機器の更	新が	果題と	なるだ	が、完	全デシ	タル化	င်တ	向を見なが
	目	対	受益者 (誰のために) 対象	市民老科		た防	災行	ひ無線																
P	的	象	バ (直接働きかける) 意 図 な状態にしたいか)	デシ	タル	化に	更新	するこ	とによ	り地は	或防災	力の向	り上を	図る										
L A		段	方法やって)		₹26年 整備			成28年	度まで	₹ の34	年間で	更新?	ける。	平成2	6年月	度当初実	施設	₩ 、 そ	の後和	多動系	、同幸	服系、 中	中継后	5、屋外子
			行政活動の	結果	から:	つくり	ナだす	ものに	は何?	指	標	名	称	単	位	算出方	法・言	算式	・目标	票値割	定の	考え方	など	最終目標値
N	評	活動	他の移動系					;)		研究機				_	<u>#</u>									2
	価指標の	指標	デジタル化	こ向	けた相	食討会				検討会	数													12
	作	成	成 果	•	効	果	は	何	?	指	標	名	称	単	位	算出方	法・言	算式	・目标	票値割	定の	考え方	など	最終目標値
	成	果指	同報系子局	の更	新率					子局更	制率			9	6	更新数	/167属							100
		標	移動系無線	農の	更新	<u>z</u>				無線機	雙更新	*		9	6	更新数	/ <mark>220檔</mark>							100

	項	目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予算 又は決算額)	平成28年度 事業計画(予算)
	事業費等	(a)	円	6, 424, 873	6, 810, 000	209, 004, 781	535, 950, 679	282, 954, 000
財	国庫支出	金	円					
実源	県 支 出	金	円					
内	地 万	債	円				485, 600, 000	232, 100
	ての他特定別		円					
訳	川久 771	源	円	6, 424, 873	6, 810, 000	209, 004, 781	50, 350, 679	282, 721, 900
施職	正 規 職	員	人	0. 20	0. 20	0. 20	0. 20	0. 20
員	嘱 託 職	員	人					
	臨時職	員	人					
数数	н	計	人	0. 20	0. 20	0. 20	0. 20	0. 20
	対 象 (者)	数						
	延利用(者)数	(b)						
		(b)	円	_	_	_	_	_
	受 益 者 負 担	額	円					
	市民一人当たりのコス		円	114. 00	122. 00	3, 734. 00	9, 574. 00	5, 081. 00
		目標	機	2	2	<u>2</u>	2	2
	研究機器数	実績		1	2	2	2	
活		達成率	%	50. 00	100.00	100.00	100.00	
動		目標		1	12	12	12	12
動指	検討会数	実績		0	0		12	
D 標		達成率	%	0. 00	0. 00	58. 33	100.00	_
ीरा	•	目標	_					
	_	実績						
		達成率	%		_		_	
이ᅟౣ	.l	目標	%	167	167	180	167	20
成	子局更新率	実績		0	0	0	159	20
果		達成率	%	0.00	0.00	0.00	95. 21	100.00
」指		目標	%	64	64	183	220	70
標	無線機更新率	実績		3	0	0	150	70
		達成率	%	4. 69	0.00	0.00	68. 18	100.00
備	□(エリアメール等)」、	ル波へ 平成2	·の移? 5年に	fは、平成26年度〜平 「公共情報コモンズ」	·成28年度実施する。 の配信が可能となり	・緊急通報の多様化 ました。	に同け、平成24年に	緊急速報メール

J= =		業名 <mark>防</mark> 『署 危	機管理		ジタル		· 《対策	<u></u>		防災対	策係				期間 平 担当者名		23 ~ 严 澤	浩			番号 8先	0108 13	
	期			F	標							績							钿	題			
四	第 1 期	進めて ・区内	工程表にいく。 か送整備 して働き	基づき	、更新	f化工事 り、区内			の疑義! ・受注業	こついて	を開催し	、進っせ、	· 捗状 材料	·検収等		が、あっ	区内放 た。区[送未 内放设	程表に 導入区・ 美戸別号	は 合って順 への働き を信機の 「報発信	かけ 発注	が不十 含数が	分で伸び
·	第 2 期	進めて・区内	工程表に いく。 放送整備 して働き	を進め	るため	り、区内			•再送信	局の建	の実施。 柱。晴ヶ 搬入、割	峰中	継局	局舎の	建設。					必要になめて			れる
	第 3 期	進めて ・区内	工程表に いく。 放送整備 して働き	を進め	るため	り、区内			•再送信	局の建	の実施。 柱。晴ヶ 搬入、影	峰中	継局	局舎の	建設。		系のイ が必要		対策と	して中都	揭、再	送信	局の
ے	第 4 期	進めて ・区内	工程表に いく。 放送整備 して働き	を進め	るため	り、区内			•再送信	局の建	の実施。 柱。 搬入、影								局の設 れている	置場所に る。	こつい	て総合	通信
စ										事	中	副	F	価									
									た問題点			今	成田	拡	充			2		⑤		7	
									:問題や相 いきたい		上百寺	後	果の		維持			3		6	レ	9	
E												の	方	縮	小			4		8		10	
		新	年度の	実施計	画•-	予算要	求事」	頁 (改	革・改善	寿策)		方	向 性		·····································	1)							
		6年度	194,400	,000円					1 712	4 7 14 /		向	II .	אין אין	* ") 	6 亡	ds	ᄪ	#++	++-	
			526,500, 272,700													皆 _	減	縮		現状紀			大
		- 12	_,_,,									性		_			ス	۲	投ノ	しの	万	向 忄	王
	1	評価年	度		年度																		
					当				有	効						性		総	合 評	価	判	定	
評				2	3	4		<u> </u>	2		4		1	1 :	2 3	4					В		
-	ナ				ᄝᄝ	47	-	え 改 面	が女ス	V		3					4	_	ΙΔ ·			堂を准/	める こ
<u> </u>	評価の観点 1 2 3 4 判定 1 2 3 4 判定															施主体 止の検 B							
н			細			策		評	価	ī	前			細	施		策		評	価		後	
Е	日 日 日 日 日 日 日 日 日 日																						
K		らデシれる	・タルに	し 老朽 変更す	ること	: IC & 4	り自主	防災組	状況である機等の連状の現場である。	る。ア	ナログ	さ・	各地	ジタル化 也区で使	に向け	の説明	会実施		後のご	方向 性			
K	評価	らデシれる	・タルに	変更す	ること ・ 改	: IC & 4	り自主 の	防災組	織等の連	絡体制	ナログ	さ・	各地	ジタル化 也区で使	に向けた	の説明	会実施	る今	後のご評	5 向 性 価		後	
K) 改革	評価	おる	を 度 で 細	変更す	ること ・ 改	善策	更の	実施	状 況 価	上 未 T	アナログ 別が強化	さ - i	有地	度細	に向け; 用 方法 (・ 策 評	の説明	会実施おけん	る今				後	
K) 改革·	評価	sfa 前 成果	を かんに かん	変更す	ること ・ 改	善策	・ の ②	実施	状況 価 ⑤ L	未して	マナログリが強化	する。	各地	度細加拡	に 向け法	の説明	会実施おけん	る今					
K) 改革・改善	評価	sta 前 成果の	を 集 度 改	変更す	ること ・ 改	善策	J自主 で の 3	実施	状況 価 ⑤	未 7 9	大口グリが強化	き・	各地年の	を 細力	を 用方法 を 策 ・ 施 ・ 発 ・ 施 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	の説明	会実施おけん	る今				後	
K) 改革・改善の	評価今後	sh 前 成果の方向	また 度 の	変更す	<u>・改</u>	善策	・ の ②	実施	状況 価 ⑤ L	未して	大口グリが強化	さ ・	各	度細加拡現状	を 用方法 を 策 評 施 充 維持	の説明	会実施おけん	る今					,
K) 改革・改善の方	評価今後の	standard in 成果の方	を 集 度 改	変更す	ること ・ 改 i	善策	(2) (3) (4)	実施	状況 価 ⑤ ⑧	また。 また。 また。 また。 また。 また。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	マナログ 川が強化 実 <u>施</u> 前)	さ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	各地 年 成果の方	度細加拡現状	を 用方法 を 策 ・ 施 ・ 発 ・ 施 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	の説明	会実施 おけ 策	る今		価			
K) 改革・改善の方向は	評価 今後の方	sh 前 成果の方向	また 度 の	変更す	• 改 i	善策	2 ② ③ ④ 縮	実施	状況	************************************	アナログルが強化 実施 前	さ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	各	度細加拡現状	を 用方法 を 策 評 施 充 維持	の説明	おけか	る 今 縮	評	価 現状糸	推持	拡拡	大
K) 改革・改善の方向は	評価 今後の方向	られ 前 成果の方向性 収成	を	変 単	・ 改・ 改」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」<	善策	のののののでは、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般に	実施 かんしゅう かいしゅう しゅう はいしゅう かいしゅう はいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう しゅう はいしゅう はいしゅう はいしゅう はいしゅう はいしゅう はいしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう はいしゅう はいしゅう はいしゅう はいしゅう はいしゅう しゅうしゅう しゅう	機等の連 状況 価 ⑤ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	************************************	大切が強化	i	名 前 成果の方向性 間	を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	(用)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)	価 (こ 皆 :	会実施 おけ 策 派ス	縮ト	評 小 投 <i>力</i>	現状料	推持 方 「	L 拡 前 性	大
K) 改革・改善の方向性(AC	評価の後の方向性	られ 前 成果の方向性 収成	を 集 度 で	変 単	・ 改・ 改」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」<th>善策</th><th>のののののでは、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般に</th><th>実施 かんしゅう かいしゅう しゅう はいしゅう かいしゅう はいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう しゅう はいしゅう はいしゅう はいしゅう はいしゅう はいしゅう はいしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう はいしゅう はいしゅう はいしゅう はいしゅう はいしゅう しゅうしゅう しゅう</th><th>機等の連 状況 価 ⑤ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</th><th>************************************</th><th>大切が強化</th><th>i</th><th>名 前 成果の方向性 間</th><th>度細拡現状縮休</th><th>(用)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)</th><th>価 (こ 皆 :</th><th>会実施 おけ 策 派ス</th><th>縮ト</th><th>評 小 投<i>力</i></th><th>現状料</th><th>推持 方 「</th><th>L 拡 前 性</th><th>大</th>	善策	のののののでは、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般に	実施 かんしゅう かいしゅう しゅう はいしゅう かいしゅう はいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう しゅう はいしゅう はいしゅう はいしゅう はいしゅう はいしゅう はいしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう はいしゅう はいしゅう はいしゅう はいしゅう はいしゅう しゅうしゅう しゅう	機等の連 状況 価 ⑤ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	************************************	大切が強化	i	名 前 成果の方向性 間	度細拡現状縮休	(用)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)	価 (こ 皆 :	会実施 おけ 策 派ス	縮ト	評 小 投 <i>力</i>	現状料	推持 方 「	L 拡 前 性	大
K) 改革・改善の方向性(ACTI	評 価 今後の方向性 改革・	られ 前 成果の方向性 収成	を	変 単	・ 改・ 改」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」<th>善策</th><th>のののののでは、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般に</th><th>実施 かんしゅう かいしゅう はいしゅう はいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう はいしゅう はいしゅう はいしゅう しゅうしゅう しゅう</th><th>機等の連 状況 価 ⑤ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</th><th>************************************</th><th>大切が強化</th><th>i</th><th>名 前 成果の方向性 間</th><th>を を を を を を を を を を を を を を を を を を を</th><th>(用)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)</th><th>価 (こ 皆 :</th><th>会実施 おけ 策 派ス</th><th>縮ト</th><th>評 小 投<i>力</i></th><th>現状料</th><th>推持 方 「</th><th>L 拡 前 性</th><th>大</th>	善策	のののののでは、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般に	実施 かんしゅう かいしゅう はいしゅう はいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう はいしゅう はいしゅう はいしゅう しゅうしゅう しゅう	機等の連 状況 価 ⑤ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	************************************	大切が強化	i	名 前 成果の方向性 間	を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	(用)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)	価 (こ 皆 :	会実施 おけ 策 派ス	縮ト	評 小 投 <i>力</i>	現状料	推持 方 「	L 拡 前 性	大
K) 改革・改善の方向性(ACTIO	評 価 今後の方向性 改革・改	られ 前 成果の方向性 収成	を	変 単	・ 改・ 改」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」<th>善策</th><th>のののののでは、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般に</th><th>実施 かんしゅう かいしゅう はいしゅう はいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう はいしゅう はいしゅう はいしゅう しゅうしゅう しゅう</th><th>機等の連 状況 価 ⑤ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</th><th>************************************</th><th>大切が強化</th><th>i</th><th>名 前 成果の方向性 間</th><th>を を を を を を を を を を を を を を を を を を を</th><th>(用)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)</th><th>価 (こ 皆 :</th><th>会実施 おけ 策 派ス</th><th>縮ト</th><th>評 小 投<i>力</i></th><th>現状料</th><th>推持 方 「</th><th>L 拡 前 性</th><th>大</th>	善策	のののののでは、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般に	実施 かんしゅう かいしゅう はいしゅう はいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう はいしゅう はいしゅう はいしゅう しゅうしゅう しゅう	機等の連 状況 価 ⑤ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	************************************	大切が強化	i	名 前 成果の方向性 間	を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	(用)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)	価 (こ 皆 :	会実施 おけ 策 派ス	縮ト	評 小 投 <i>力</i>	現状料	推持 方 「	L 拡 前 性	大
K) 改革・改善の方向性(ACTION	評 価 今後の方向性 改革・改善	られ 前 成果の方向性 収成	を	変 単	・ 改・ 改」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」<th>善策 第二十をし</th><th>のののののでは、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般に</th><th>実施 かんしゅう かいしゅう はいしゅう はいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう はいしゅう はいしゅう はいしゅう しゅうしゅう しゅう</th><th>機等の連 状況 価 ⑤ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</th><th>************************************</th><th>大切が強化</th><th>i</th><th>名 前 成果の方向性 間</th><th>を を を を を を を を を を を を を を を を を を を</th><th>(用) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本</th><th>価 (こ 皆 :</th><th>会実施 おけ 策 派ス</th><th>縮ト</th><th>評 小 投<i>力</i></th><th>現状料</th><th>推持 方 「</th><th>L 拡 前 性</th><th>大</th>	善策 第二十をし	のののののでは、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般に	実施 かんしゅう かいしゅう はいしゅう はいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう はいしゅう はいしゅう はいしゅう しゅうしゅう しゅう	機等の連 状況 価 ⑤ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	************************************	大切が強化	i	名 前 成果の方向性 間	を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	(用) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本	価 (こ 皆 :	会実施 おけ 策 派ス	縮ト	評 小 投 <i>力</i>	現状料	推持 方 「	L 拡 前 性	大
K) 改革・改善の方向性(ACTION	評 価 今後の方向性 改革・改	られ 前 成果の方向性 収成	を	変 単	・ 改・ 改」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」<td>善策 第二十をし</td><td>のののののでは、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般に</td><td>実施 かんしゅう かいしゅう はいしゅう はいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう はいしゅう はいしゅう はいしゅう しゅうしゅう しゅう</td><td>機等の連 状況 価 ⑤ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</td><td>************************************</td><td>大切が強化</td><td>i</td><td>名 前 成果の方向性 間</td><td>を を を を を を を を を を を を を を を を を を を</td><td>(用) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本</td><td>価 (こ 皆 :</td><td>会実施 おけ 策 派ス</td><td>縮ト</td><td>評 小 投<i>力</i></td><td>現状料</td><td>推持 方 「</td><td>L 拡 前 性</td><td>大</td>	善策 第二十をし	のののののでは、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般に	実施 かんしゅう かいしゅう はいしゅう はいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう はいしゅう はいしゅう はいしゅう しゅうしゅう しゅう	機等の連 状況 価 ⑤ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	************************************	大切が強化	i	名 前 成果の方向性 間	を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	(用) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本	価 (こ 皆 :	会実施 おけ 策 派ス	縮ト	評 小 投 <i>力</i>	現状料	推持 方 「	L 拡 前 性	大

事系	务事簿	Ě名	防災用備蓄	事業													事業	き 期間	甲	成	15	~		左	F度	整:	理番号	01	080114
担	当 部	署	危機管理室				防災対	対策調	Į.			防災	対策	係			作成	担当	4者名		平	澤	浩	=	:	連	絡先		136
								政	笋	耟	05	第5	章	快	適で安	らぎの	ある	高原	都市	づく	IJ								
	市	民:	プランに	有	政分	± /-	-	施	笋	衰	05	第5	節	災	書に強	い、安	全で	明る	いま	ちご	5 < 1	J							
	おり	ナる	位置づけ	17	以上	木 14	↑ A	細	施第	衰	02	防災	体制	の :	充実														
								事	务事業	集	04	市防	災倉	庫	防災資	機材及	び備	品蓄											
計	予	算	事 業 名		組織		•															00							事業 03
					資機 - 備蓄			• 簡	易トイ	イレ	· 医	薬品)	やま	常	食料	(アルフ	ファイ	比米	・ビス	くケ	ット	• 飲	\$水)	を	. W	書明	計に備:	えるだ	とめ計画
	事	务事	業の概要	нэтч	- VIII (88	0	• 7 0																						
画	(INI	AR 1- /	J 10 9 6 9 C 7																										
		.115		応急	生活	物資	(飲	料水	• 菓-	子パ :	ン・	牛乳・	果物	<u>, </u>	レトノ	レト食品	等)	151	ついて	は、	J	A信力	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	<u></u> 方、	_	・プな	:がの.	占	温定を締
			と背景うして)	結し	てい	るか	、発	災後、	速	やか	に避	難所等	手に履	計け	れられ	れないも	אסי	:予》	りする	5 E a	とか	ら計画	町的に	こ備	蓄を	して	いき	ます。	
~		_		**** (\$	<u> </u>	Mh fal) 仕 艮																						
	目	対	受 益 者 (誰のために)	TIX 9	2012	ているが、発災後、速やかに避難所等に届けれられないものと予測することから計画的に備蓄をしていきます。 した地域住民																							
		象	対象	応急	資機	ているが、発災後、速やかに避難所等に届けれられないものと予測することから計画的に備蓄をしていきます。 した地域住民																							
Р		3	(直接働きかける)		後した地域住民 高資機材(毛布・簡易トイレ・医薬品)・非常食料(アルファ化米・ビスケット・飲料水)																								
			* w	緊急	時の																								
	的	(どん	意図 はな状態にしたいか)																										
L				· #	一画的	に応	急資	機材·	や非常	常食:	料を	購入す	トる。																
				٠ ١	いつで	も活	用で	きる。	ように	こ道:	正な	維持個	理を	きす	る。														
			・ 方 法 やって)																										
		_ ,	() ()																										
Α																													
			行政活動の紀	結果:	からこ	> <	りだす	しもの	は何	?	指	標	名	<u> </u>	称	単位	算	出力	ī法·	計算	拿式	・目	票値	没定	の≉	きえこ	方など	最終	医目標値
		活動	非常食料の	購入						-	非常1	食料備	蓄数	t		数	備	蓄購	入数	十贯	存值	蓄数	一絶	対心	少要	数			20, 593
N	評価	指	応急資機材(の膳	7						大争者	を 機材	t 借 耋	数		数	4#	並贈	入数	- 期	左伯	*	7 — 44	i del vi	人重	Str			6, 235
	指	標															-									-			
	標の		防災倉庫の	曹理						ß	防災 i	負機材	点核	数			地	区防	災倉	庫14	簡別	「を年	2 🗖	点板	È				2
	作	成	成果	•	効	果	は	何	?		指	標	名	<u>.</u>	称	単位	算	出た	法・	計算	拿式	· 目	票値	没定	の≉	きえこ	方など	最終	8目標値
	成	果指	非常食料の	充実						1	肃蕃 。	品食料	充足	率		%	現	在數	(/絶対	寸必:	要数								100
		招標	応急資機材(の瞳	 እ					4	描馨 .	品資機	材布	. 足	率	%	現	在数	/絶対	小小	要数								100
			CONTRACTOR OF THE PERSON OF TH	m3.	*						775 PM 1-	IN .P. 18	6 PJ 21	-		,,,	-31	- J	·/ •••/		~~								

	Į	項	目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予算 又は決算額)	平成28年度 事業計画(予算)
	lelle	事業費等	(a)	円	832, 947	1, 163, 985	1, 338, 838	1, 219, 881	1, 471, 000
	財	国庫支出	金	円					
実	源	県 支 出	金	円					
	内	地方	債	円					
	訳	その他特定財	源	円		4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4		4 44 4 4 4	4 474 400
施		一般財	源	円	832, 947	1, 163, 985	1, 338, 838	1, 219, 881	1, 471, 000
旭	職	正規職	員	ᄉ	0. 22	0. 20	0. 20	0. 10	0.10
	員	嘱 託 職	員	ᄉ				0. 20	0. 20
	数	<u>臨時職</u> 合	員計	人	0, 22	0, 20	0. 20	0. 30	0. 30
状		<u>同</u> 対象(者)	数		0. 22	0. 20	0. 20	0. 30	0. 30
-		<u>网 家 (日 / </u> 延 利 用 (者) 数	致 (b)						
			(b)	円	_	_		_	_
況		受益者負担	額	円					
1)6		市民一人当たりのコス		円	15, 00	21, 00	24, 00	22, 00	49. 00
			目標		10, 299	10, 299	10, 299	10, 299	10, 299
		非常食料備蓄数	実績	数	9, 434	1, 810	,	1, 178	
$\widehat{}$	活		達成率	%	91. 60	17. 57	_	11. 44	_
			目標	数	6, 235	6, 235	6, 235	6, 235	6, 235
	動指	応急資機材備蓄数	実績		6, 507			6, 235	
D	標		達成率	%	104. 36	_		100.00	_
	尓		目標		2	2	2	2	
		防災資機材点検数	実績		1	2	2	2	
			達成率	%	50.00	100.00	100.00	100.00	-
0	cl)	## !	目標 実績	%	100 92	100	100	20, 593	20, 593 20, 593
	成果	備蓄品食料充足率	<u></u> 美領 達成率	%	91, 60	_	_	20, 500 99, 55	100, 00
	未指		目標	9/0	100	100	100	6, 235	6, 235
$\overline{}$		備蓄品資機材充足率	実績	%	104	100	100	6, 235	6, 235
	尓	·····································	達成率	%	104, 36	100, 00	100, 00	100.00	100, 00
	備	非常食絶対必要数とは、	人口の	概ねり	5%の人口で2食分の				ての基本避難所で備

		署 危格				R# £	(対策課			R± SS	対策	<u> </u>			作成担	间 半 当去夕		<u>~</u> 澤	浩 二	連絡先	_	136
ᄪ		有几	英昌 生.	<u> </u>		W) 2	《列果林			W) JA	八八八				FIXTE	=11		/ =				100
	期			E	標							実	績						課	題		
四	第 1 期	備蓄食	材の数	量確認					防災倉	庫の研	霍認						配備し ある	ている	貨機材で数	対量が不足	してい	るものが
半	第 2 期	更新備	ちする	非常食	料の発	注(9月	納期)		発注								なし					
期ご	第 3 期	備蓄食	材の見	直し					次年度	備蓄品	品の検	ħ					アルフ	ア化米の	の種類を地	やす。		
٤	第 4 期	検討結:	果の反	映					次年度	備蓄品	るの確	定							心がける しており、	使用できな	elv	
m										事		†	評	佃	i							
Ø	当年	年度開始	後、糸	約6ヶ月	月が経	過し、	新たに	生じた	と問題点	や環	境の変	を化			広	充		2)	⑤ レ	7)
													,,	果 ******	見状維			3		6	9	
管														¥								
		4.0			-	7 hh		/=! -	++ -/	، علم الحد				向"		小		4	······	8	10	
理		新华	‡度の	美 施計	■・	ア昇安	求事項	(改	車・改	善策)			方	性	木 廃	止し	1					
													向				皆	減縮	小	現状維持	寺 拉	大
													性				⊐	スト	・投力	しの カ	5 向	性
							1															
	_	評価年月	Ę.		4年度		h /-		+	*	L	h4-			쓨	चंद	ılı	4	4/1)	<u> </u>	/ II 1	u
		見 点 画の観点	1	妥 2	当	4	性 判定	1	有 2	· 交	_	性	引定	1	効 l 2	率 3	1 4	± 判定	総	合 評	価 半	判定
評		<u> </u>	<u>'</u>		0		4	<u> </u>		-	- ا		3	+		-		4	1	В		
	ŕ		24年9月	12日の	市総合	防災	· 川練にお	いて、	、泉野地	也区防	災訓練	東実行	_	会から	5以下(の要望	が出さ	•	A :	計画どおり	事業を	進めるこ
価(課題	育館に レ用… 資材、	避難所 トイレ エ 具類	を開設 ットペ 】	しましーパー	た。 ② 避	炎訓練を 川練の反 推所修繕 を洗い出	省と	して次の 電機操作	り 装備 作、ト	品をユイレ	E急追 且立、	加 (立 <i>)</i>	ないが 禁止	こだき 区域の	たい。 設定な	①簡! どに必!	易トイ 要な…	の C: 義 D:	とが適当 事業規直の進 の事業規直の表 の事業が必 い の 事業が必 の を の の の の の の の の の の り の り の り の り の	内容・ 必要 、休・	実施主体廃止の検
С		・大規	莫災害	を想定	して、	エア	テント、	仮設	トイレ	(現在	1避	推所 5	ケ)	等のi	自加配	備を検	討した	۰۱,		総合評価半 価シート整理		B
н			細	施		策	部	E	価		前			Ŕ	1	施		策	神中及計	価	● 日 万 後	
•	総	計画					ているが			り見直		iረ.	+-1							 機材等の見		
Е	_	5年前											5	年前と	変わっ	ていた	il)。					
С	合												1.	ハーナ	ーショ	グ寺の	ノフフィ	ハシー	関係の偏	蓄が必要。		
	評																					
K																						
J	価	前年	度。	カ 革	• 7h	善第	i の 字	体	状 況	T_	部身		盐	年 帝	細怖	第 誣 4	無 に む	け ス	今後のこ	方向性		
改		100 -1	細	施		策			価	1	前	. #B	ויה	+ 皮		施		策	評	価	祖	4
革	今	-	拡拡	充	s 	双	2	:	_	ν V	7		-					*	fΤ	1Щ レ	12	C.
改	後	成 果 […]					į			-			月	Ē		充				<i>-</i>		
番	တ	の	現状	維持			3		6		9		0	,	現状維	疛						
	方	方 向	縮	小			4		8		10		ブ		縮	小						
の方向性	向	性	休 虏	€止	1								性		休 廃	止						
性	性			_	皆	減	縮	小	現状約		拡	大		-			皆	減		現状維持		
<u></u>		100 ## =P	- N =	A- Me Late		コス		殳 入			句 性		<u> </u>	00 ## =>	I = 20 2=	مد معدد باس			ト投力			
A C	改革	避難所る。	~必要	な買機	州を精	置し、	追加資	M &	王避難 凡	介に全	忌登	Ħ 9					材を精			を全避難所	川に全	忌登傭す
C T	单.												パ.	ーテー	ション	等整備	する必	要があ	る 。			
I 0	改																					
) z)	善																					
<u> </u>	策																					
是名	タ 証			₩ 1 ₽20-	午5日2	0 FI	最 終	証 福	T	r 🕹				Pt	災対策					東:	成	淳

± 444 Hn DD

事務	事事	美名	一般経費(主	防災制	土織の	資機	材整值	(事	業					1	事業期間	引 平成	13	~		年度	整理番号	01080104
担当	当 部	署	危機管理室			D)	災対	策課			防災	対策	系		1	作成担当	省名	平	澤	浩	=	連絡先	136
			プランに 位置づけ	有	政分	策 体	系 -		策策策策	05 05 02 05		節 体制の		強い	、安全	ある高原 Èで明る 比事業			J				
計	予	算	事 業 名		防災													·⊐ŀ				項 01 目	05 事業 07
画	事利	務事 潔にオ	·業の概要 っかりゃすく)	補助防災	かかった。 と資機	交付 材=(します 青報 位	ト。 云達用	具・>	消火用	具・素	女出教		惟用具	・放							る際に予	算の範囲内で ます。
			と 背 景うして)	区 -	自治	会も	あれに	ぜ、 設	立し	ても区	・自治	会か	ら補助	力申請	がな		り 全域	こ防災	資機材	すがな			していない ていません。
(目	対	受 益 者 (誰のために)	市月白年	E 防災:	組織																	
Р		象	対象 (直接働きかける)				.	• • •	****	L ///	ML 18 —		. >	L /// 14	e IAN III		L						
	的	(どん	意図な状態にしたいか)	災防	けっぱりー	地域 1	主氏なの育用	が自主	H)[C]	り 災活	割かて	さぎる	よつい	力火丁	【機材	を充実る	≛ए ० ः	1					
L A			・ 方 法 やって)	各首	主防	災組	₩ ([፟ ・ 自	治会)														
			行政活動の約	吉果:	からて	くり	だす	ものに	は何?	指	i 標	名	称	j	単 位	算出さ	法・言	†算式	・目标	票値割	段定の表	考え方なと	最終目標値
N	評	動	自主防災組織	載防	災資標	材類	入又	は整値	Ħ		設立・ 会の実		金交付		地区	組織設	立・神	助金	を付の	説明	会		10
	価指標	指標	防災リーダ-	一育	戓依頼	Į.				区長	会への)依頼		-	地区	10地区							10
	標の作	成	成果	•	効	果	は	何	?	指	i 標	名	称	j	単位	算出方	法・言	†算式	・目标	票値割	设定の制	考え方なと	最終目標値
	成	B	防災意識の高	高揚	と継ぎ	もした	活動			補助	金交付	団体	の割合	ì	%	補助金	交付团	体数/	設立	団体費	ķ		100
		標	自主防災ア 者)	ドバ	イザー	-へ推	薦(県、	委嘱	アド	パイサ	- 登	録者		人	各地区	1名						10

	Į	頁	目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予算 又は決算額)	平成28年度事業計画(予算)
	=		(a)	円	2, 704, 000	3, 257, 000	3, 239, 000	6, 340, 442	8, 853, 000
	財	国庫支出	金	円					
実	源	県 支 出	金	円					
	内	地方	債	円					
		その他特定財	源	円					
	訳	一 般 財	源	円	2, 704, 000	3, 257, 000	3, 239, 000	6, 340, 442	8, 853, 000
施	職	正規職	員	人	0. 22	0. 02	0. 02	0. 02	0. 02
	Ħ	嘱 託 職	員	<u> </u>					
	数	臨 時 職	員	<u>人</u>					
状		合	計	人	0. 22	0. 02	0. 02	0. 02	0. 02
		対象 (者)	数						
			(b)						
			(b)	円	_	_	_	_	_
況		受益者負担 ま足しまれてのファ	額	円円	48, 00	58. 00	58, 00	113, 00	161 00
		市民一人当たりのコス			10	10	10	113.00	161. 00 10
		組織設立・補助金交付	目標 実績	地区	10	10	10	10	10
		説明会の実施	達成率	%	100.00	100, 00	100, 00	100, 00	_
	活		目標		100.00	100.00	100.00	100.00	10
	動指	区長会への依頼	実績	地区	10	10		10	10
	指	ERA WAR	達成率	%	100.00	100, 00	100.00	100.00	_
D :	標		目標	/0	100.00	100.00	100.00	100.00	
		_	実績	_					
			達成率	%	_	_	_	_	_
0			目標	0/	94	92	92	92	92
	成	補助金交付団体の割合	実績	%	31	25	17	15	92
	果		達成率	%	32. 98	27. 17	18. 48	16. 30	100.00
	指		目標	ı	10	10	10	10	10
	標	アドバイザー登録者	実績	人	2	2	2	2	10
			達成率	%	20. 00	20. 00	20.00	20.00	100. 00
	備	〇補助金を使用したこと その他(防災倉庫等)未	使用一	-50#	祖織、終了4組織//	備品(情報伝達・消 /備品及びその他(両	方)未使用20組	具)未使用22組織 織、終了4組織	数、終了5組織//
	考	〇自主防災アドバイザー	-登録者	の所属	鳳組織:宮川茅野── 1	人、ひばりケ丘1.	人		

旦当部			夏 (日土	. 防災和	1歳の) 多	そ機材型 しゅうしゅうしゅう かんしゅう かんしょう かんしょう しんしょう しんしょう しんしょう しんしゅう しゅうしゅう しゅう	≥1期) 号	身来					尹未兴	- 間 平	成 1	~		年度	整理番号	5 0108	30104
	部署	危機管				炎対策器			防災対	策係				当者名	_	澤	浩	=	連絡先	1	36
期			F	目標						実	績							課	題		
第 1 期		体の防	災資機材	才補助金	対し	の情報ル	又集	・区長会	での説	明会を実	施				きがま	る。以	災意	歳向上(よって、防 のために、 必要がある	より情報	
第 2 期	昨年	度要望	地区への)資機材	才補助			•補助金	申請を行	行った区	- 自治	台会に	補助金	を交付	解され	ていな	い区	·自治会	説明したが がある。 る必要が	说明方法	が理
第 3 1 期	補助	金要望	地区への)資機材	才補助			•補助金	申請を行	行った区	・自治	台会に	補助金	を交付	解され	ていな	い区	·自治会	説明したが がある。 る必要が	说明方法	
第 4 期	補助	金要望	地区への)資機材	材補助			•補助金 •区長会						を交	解され	ていな	こい区	·自治会	説明したが がある。 る必要が	说明方法	
0									事	中	評	i	価								
当2	年度	開始後、	約6ヶ	月が経	過し、	新たに	.生じた	こ問題点	や環境の	の変化		成 果	拡	充		(2	(<u>5</u> レ	Ø	
管											後	未 の	現状約	推持		(3	(6	9	
											の	方	縮	小		(4)	(8	10	
#		新年度	の実施記	計画・-	予算要	求事項	[(改]	革・改善	手策)		方	向 性	休廃	止	1						
#											向	_			皆	減	縮	小	現状維持	拡	
											性		/						の方		-
	評価	年度	1	当年度																	
	視点		妥	当		性		有	効	性			効	率		性		総合	評 値	15 判	定
*	西の勧		2	3	4	判定	1	2	3		判定	1	2	3	4	判5 4			В		
7	エッ		利用率が	\$ F #\$ E	7213	(去信	古田家-	2 1 %	終了	レ 家 4.0	3 (4)					4	-	A : 15	画どおり	事業を進	める
課題		.内放达	整備を実	を施して	, เ ง อก	: <i>6</i> 0、1	P.异 仓前	幅小して	wa.									B:事 C:事 D:事 前年度総	: が適当 野業規模・同様 野果直の統合 野業の要 対が必要 計が必要 シート整理:	内容・実 必要 、休・廃 定	施主 止の B
														施					価		
		細	抗	<u> </u>	策	į	評	価	前	႐			細	ルビ		策	ā	*	limi	後	
総	各自		焼 組織に必				評 宣伝して	_		<u> </u>			防災組		る災害		建し、		防災資機		景し
総合評価				必要な防	善 策	機材を宣	宣伝して	_		<u> </u>	i,	きた	防災組	微に起こ	価にま	ドを想 らける	定し、	必要な	防災資機		云 し、
総合評価	前	主防災	組織に必	· 改	方災資格	機材を重	実施ア	て いきた 状 況 <mark></mark>	い。	Ť	i,	きた	防災組織	微に起こ	価にま	子を想!	定し、	必要な	防災資機		χL.
総合評価	前成	主防災 年 度	祖織に必 革	· 改	善 策	で の 写	実施ア	ていきた 状 況]	iv.	Ť	前	ず年』	防災組織い。	策評	価にま	ドを想 らける	定し、	必要な 後 の 方	防災資機	材を宣	気し
総合評価 今後	前	主防災 年 度 細	改革が	· 改	善 策	機材を重	実施ア	て いきた 状 況 <mark></mark>	い。	f	前	が年月	防災組織 とい。 要細施	策 施	価にま	ドを想 らける	定し、	必要な 後 の 方	防災資機 向性 価	材を宣	素し
総合評価 今後の	前成果の方	主防災 年 度 細	改革が充	· 改	善 策	意 の 写	実施評	大 況 価 ⑤ L	iい。 前 / ⑦	††	前	また 年 版	度細施細拡	策 施	価にま	ドを想 らける	定し、	必要な 後 の 方	防災資機 向性 価	材を宣	
総合評価一今後の方	前成果の方向性	主防災 年 度 細	祖 織に必	· 改	善 策	機材を重の 事②③	実施評	状況 価 ⑤ L		††	前	年の成果の	防災組 を 細 拡 現状系	策 施 充 排 十	価にま	ドを想 らける	定し、	必要な 後 の 方	防災資機 向性 価	材を宣	気し
総合評価 今後の方向	前成果の方向性	主防災 年 度 細 拡 現 縮	改革が	· 改 を を	善 策	機材を重の 事②③	実施評	状況 価 ⑤ L		†	前 ! () : : : : : : : : : : : : : : : : : :	きた 年 成果の方向	防災組 を 細 拡 現状組 縮	策 施 充 排 十	価にま	済を想	定し、	必要な	防災資機 向性 価	材を宣	法 し
総合評価一今後の方向	前成果の方向性	年 細 点 銀 点 (4)	祖 織に必 革 放 充 状維持 小 座 止	· 改 ・ 改 1 皆	方 災資 機 善 策	機材を重の 3② 3④ 縮ト	実施 かり かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう おいまい おいまい おいまい おいまい おいまい おいまい はいまい はいまい	状況 価 ⑤ L ⑥ ⑧	育 ク	前)))	fi fi 	きた年月成果の方向性の大力を表現しています。	防災組 を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	策 施 充 排 小 止	価にま	Fを想 3 ける 策 減ス	をし、 今後 に 解 ト	必要な か ア ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	防災資機 向性 価 レ 現状維持 の 方	検	
総合評価 今後の方向性 改革・	前成果の方向性を指成	主防 年 細 拡 現 縮 休 観する	祖職に必 な 革 が 充 大維持 小 止 災資	・改を	が変数を表現しています。	機材を重 の ② ② ③ ④ 紹格ト 兄を調査	実施 かり かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう おいまい おいまい おいまい おいまい おいまい おいまい はいまい はいまい	状況 価 ⑤ L ⑥ ⑧	育 ク	前)))	い 前 	きた年年の大力は、大学の大力は、大学の大力を表現しています。	防災組 を 細 拡 現状組 縮	策 評 施 充 掛持 小 止 方 災 資 材	皆コダ村整備	řを想 3 ける 策 減 ス <mark>況</mark>	定し、 ・ 今後に 縮ト に調査	必要な か ア ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	防災資機 向性 し 現状維持	検	
総合評価 今後の方向性 改革	前成果の方向性を指成	主防 年 細 拡 現 縮 休 観する	組織に必ず 放 革 が 充 状維持 小 ル の の の の の の の の の の の の の	・改を	が変数を表現しています。	機材を重 の ② ② ③ ④ 紹格ト 兄を調査	実施 かり かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう おいまい おいまい おいまい おいまい おいまい おいまい はいまい はいまい	状況 価 ⑤ L ⑥ ⑧	育 ク	前)))	い 前 	きた年年の大力は、大学の大力は、大学の大力を表現しています。	びび 組織 施棚 拡現 縮体 機る。	策 評 施 充 掛持 小 止 方 災 資 材	皆コダ村整備	řを想 3 ける 策 減 ス <mark>況</mark>	定し、 ・ 今後に 縮ト に調査	必要な か ア ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	防災資機 向性 価 レ 現状維持 の 方	検	

事務	事業	名	一般経費(「	区内放送施設整備	補助)事業					事業期間	平成		,	年度	整理番号	01080105
担旨	当部	署	危機管理室	防災	対策課		防災対策	策係		作成担当	者名	平	浩	=	連絡先	136
			プランに 位置づけ	有政策体系	政 策 施 策 細 施 策	05 05 02	第5節	快適で安 災害に強 別の充実	い、安全	全で明るし						
計	予	算	事 業 名		事務事業	06	•	送施設整備 放送施製			会計コ	-			項 01 目	05 事業 04
画	事務	りゅう かいまい かいまい かいまい かいまい かいまい かいしょう かいしょう かいしょう かいしょう かいしょう かいしょう かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしょう しゅうしゅう かいしょう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅ	業の概要 っかりゃすく)	して、補助金交付	†累計額の上限 信機1機当た□	をなっ りの補	くし (1) 助基準報	補助対象 質(個別受	施設から 信機14	5個別受信 機当たり0	i機を除り整備費	いたも	のの整	備費をst	全額(1107	7円を限
			と背景	区内・自治会内の 新に併せて、継続 新してもらい補助	売して補助して 力をしていく必	いく	必要があ	ります。ま	が進み、 また、区	機器の更 内放送だ	新を検 けでな	付してし く 防災 1	ハる区・ テ政無制	自治会制も聞く	もあります ことのでき	「。機器の更 きる施設に更
^	目	対。象	受益者 (誰のために) 対象	自主防災組織お。 区・自治会内の加												
P	的		(直接働きかける)	区・自治会内の抗	女送施設の整備	が図ね	หる。									
L A			・ 方 法 やって)	各自主防災組織	(区・自治会)											
		活	行政活動の組 放送施設整	結果からつくりだ 黄滷助	すものは何?	100		名 称 O 補助組	単位組織	算出方法 交付組 統		草式・	目標値割	役定の考	きえ方など	最終目標値
	温	動		聞くことができる			無線の聞 組織数	ける施設	組織	交付組織	-	t)				20
)	の 作 成	~!~	成 果 放送施設の きる施設)	・ 効 果 (a 応実(防災無線を	■ / - しおっ	指整備率		名 称	単 位 %	算出方法 実施組織		草式・	目標値詞	没定の表	きえ方など	最終目標値 100
		指標	この心政/													

]	頃	目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予算 又は決算額)	平成28年度事業計画(予算)
	1	事業費等	(a)	円	3, 781, 000	19, 338, 000	1, 339, 000	526, 500, 000	272, 700, 000
	財	国庫支出	金	円					
実	源	県 支 出	金	円					
		地方	債	円				485, 600, 000	232, 100, 000
	内	その他特定財	源	円					
	訳	一 般 財	源	円	3, 781, 000	19, 338, 000	1, 339, 000	40, 900, 000	40, 600, 000
施	職	正規職	員	人	0.11	0. 07	0. 07	0. 07	0. 07
	員	嘱 託 職	員	人					
		臨時職	員	人					
状	数	合	計	人	0. 11	0. 07	0. 07	0. 07	0. 07
7		対象 (者)	数						
		延利用(者)数	(b)						
		単 位 コ ス ト (a)/	(b)	円	_	_	_	_	_
況		受益者負担	額	円					
	Ī	市民一人当たりのコス		円	67. 00	345. 00	24. 00	9, 405. 00	4, 881. 00
		100分の10補助組	目標 実績	組織					
$\overline{}$	· 工	織数	達成率	%	_	_	_	_	_
	活		目標	ATTAK	3	7	7	20	10
	動	防災無線の聞ける施設	実績	組織	2	7	7	18	
		補助組織数	達成率	%	66, 67	100.00	100.00	90, 00	_
D	標		目標						
		_	実績	_					
			達成率	%	_	_	-	_	_
0			目標	0/	94	94	94	94	100
	成	整備率	実績	%	35	42	52	65	100
	果		達成率	%	37. 23	44. 68	55. 32	69. 15	100.00
	果指		目標	_					
	標	_	実績	_					
			達成率	%	_	_	•	_	_
	備	防災行政無線デジタル化	工事の)中で豊	を備をしていく。				
	10113								
	耂								

			-般経 b機管		区内	放送旅		精補助 災対策	事業		RE-C	災対策係					間 平 当者名			ر ا	年 二	度	整理番号 連絡先	010801 136	05
		, 18 J	51AK 🖪			- +=		K/1/#	BAK		1013		実	4主		19015			/4			3 6		100	
-	期					標							天	傾							詩	果	選		
四	第 1 期	区長会	会等で	の新神	輔助:	金制度	度の周分	おを実	施	区長3	まどへの	で補助金 の働きか	制度(けを?	の延: fう。	長と未	设置区	▼・自	各区	・自治	会の	防災意	識の	温度差か	⁽ ある。	
	第 2 期	区長会	会等で	·の新神	補助:	金制度	度の周外	のを実	施			で区、自え けを行う。		自主	防災組	織会	へ整		放送を ところ:			個別	受信機の	台数が伸	び
	第 3 期	申請が 予定し	があっ	た区、 る区、	自治自治	会の 会へ(早期実 の説明	施、次	:年度			・自治会(レについて				入ま	での				予定。 党明が必		狙えるため)、新区長	申
٤							取り工事 明を実		る。未	地区区		で工事、				を実施	t.	H28	年度に	ま9地	区で導	认			
o											具			評	価		-								
												環境の変 ^ん 必要となる		対果	拡		充			2		(5)	レ	7	
管	<u>13</u>	· · · · /	4 AK DK	X 1	ONT?	~1 ⊂ ′ Ժ	. , , <u></u>	- -17 VJ	J1442 €		正19.6	J 34 L 64 6	1	食 の	, 現	状維	持			3		6)	9	
=													O	卢			小			4		8)	10	
理						_	–	求事	項(改	「革・引	女善策	:)		「向 う 性		廃	止	1							
埋	防災	行政	無線テ	・ジタル	ル化:	工事で	実施						Ę	1]				皆	減	縮	小	玗		拡	大
													性	ŧ						<u>۱</u>	投			向 性	
			_					1																	
		評価年	- 度	17		年度		사		+		÷L	쌰			÷1			사		4//	^	=a /ac	- 4a -	5
	衫 亚布	見 点 画の観	占	妥 1 T	2	当 3	4	性制制	2 1	有 2			性制	史	1	効 2	率 3	4	性制	史	総	合	評価	判定	Ë
評		エック		'		0	1	4				, , ,	(T)		'		-	7	T'1				В		
								青報伝	達手段	として	、放i	送設備を	早期	整備	する必	要が	あるが	申請	女に対	す	記 A		画どおり事 が適当	業を進める	るこ
価	課	る予り	単措置	が課	退と	なる。															号 B	: 事	業の進め方	に改善が	
im.	II																				定	のり	見直しが必		
^	題																				義D		業の統合、 が必要	休・廃止の	の検
С	KZ.																						合評価判別	_	
н			細		He		Ade		≘ ar	価	•	**			細		+At-		策			平価シ	一ト整理番	号 08010 後	112
	総	市内名		自治	施会(策 5災組	*) (5	評 <mark>おいて</mark>			前 の整備に	併	市内		自治	施 金(主防		2) (5	評 - おいて			■1変 するよう記	党明
E			平成25	年度	から							と。早期		Ĺ,	概ね予	定す	る区、	自治	会の旅	整備	は進ん	しでし	いる。		
С		JAB 9 1	J 2C 1 3 €	73 - 00) 1	o																				
	評																								
K	価																								
<u> </u>		前:	年 度	改	革	· 改	善多	もの	実 施	状 沥	ļ.			前4	₣度糹	田施:	策 評	価に	おけ	る今	後の	方「	句性		
改革	今		細		施		策		評	価	i	前			細		施		策		評		価	後	
平	後	成	拡	. 3	Ť			2		⑤	レ	7		成	拉		充						レ		
改善	の	果の	現	状維持	寺			3		6		9		果の	瑪	状維	持								
曹の	方	方向	縮	/]	ļ١			4		8		10		方向	縮	ì	小								
方向	り向	性	休	廃」	Ł	1								性	休		止								
回性					_	皆	減	縮	小	現状	維持	拡	大					皆	減	縮	小	IJ	見状維持	拡	大
$\overline{}$	性				J. J.	<u> </u>	J 7			入の		向性					Di 27 "		コス				の方		
A C	改革	甲請作る。	■、特	Fに大	さな	乗洛な	い美施	した現	古は、	大幅な	争来	費の増が	8 0								r規加ノ €と考え			の追加分と	<u>-</u> し
Т	中																- •	_				•			
I 0	改																								
N	善																								
<u> </u>	策																								
	を 証・	価年月	月日	平月	₹284	年5月2	20日	最系	冬評(価 責	任 者	i			防災	泛対領	課長					耳	城	淳	

事務	事第	美名	一般経費(防災	体制	維持)	事業							-	事業期間	平成	23	~		年度	整理番号	01080112
担	当部	署	危機管理室			K	方災內	策課			防災	対策係	ŧ	1	作成担当	者名	華	澤	浩	=	連絡先	136
								政	策	05	第5:	章(甘	適です	とらぎのは	ある高原	都市で	くり					
			プランに	有	잰	策体	玄	施	策	05	第5			触い、安全	とで明る	いまち	づくり	j				
	おり	ナる	位置づけ	"P	<u> </u>	ж rт	. //	細が		02	防災											
-1					<u> </u>			事務		01	地域	防災計	画見画	直し事業								
計	予	算	事 業 名					事業費									コード					
								(地震 て対応				、 南	星FAX等	手)の維持	管理や	保守点	検を行	うこ	とで、	いつ	可時発生す	るか予知で
	事	務 事	業の概要	5	3 U - 34	CHIC	A) C	C 73 MG	ושיני	_0,0,	▼ * •											
画	(10)	潔に	わかりやすく)																			
				15.4		- 442 446	de lik d	L D Av	11h 0				> 116.1∞		tile of the t	• • • • •	H 1200			N 4. 5	de 1	N. 14 I I
	現	状	と背景	近年	F、ア を構え	規模	な地/	護か合 里や占	地です	色生し	ており に行う	- E	フ地攻 が必要	でもいつ である。	地震など	の災も	か発:	£9 4	ימנטפ	分から	ない。その	oためには、
	(٠ ع	うして)		-1 1/96 T-1	1 00 44	м н.	_ · ///														
)			受 益 者	市	롯																	
	目	対	(誰のために)	同」	-																	
		象	対 象	PJ =	_																	
Р			(直接働きかける)																			
	的		音 図	災害	与が発	生し	た時	こ、直	ちに位	使用で	きる状	態に	する。									
	μυ	(どん	意図 な状態にしたいか)																			
L	!			毎年	手、定	期的	に資	農材の	維持管	理を	行う。											
				地震	農計、	衛生	系FA)	(等、『	更新が	必要な	は機器に	こつい	ては、	時宜をみ	大て更新	を行う	•					
			• 方法																			
	((とっ	やって)																			
Α																						
			行政活動の	結果	から	つくり	」だす	· ものに	は何?	指	標	名	称	単 位	算出方	法・計	+算式	目标	票值設	定の≉	え方など	最終目標値
		活	nt-// >		AH 14.	Mr von									J							
N	評	動	防災システ	ムの	稚持	曾埋				シス・	テム維	符		式								1
	価	指																				
	指	標																				
)	標の																					
	作	成	成果	•	効	果	は	何	?	指	標	名	称	単 位	算出方	法・言	算式	• 目标	票値設	定の考	きえ方など	最終目標値
	成	果	地震計など	の誤	作動!	Rts it				地震	計異常	(誤作	乍動)	B								365
		指	-DERING C	~ / RJK	10.001	-11.				なし				-	1							
		標																				
														_								

	項	目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予算 又は決算額)	平成28年度 事業計画(予算)
	事業費等	(a)	円	1, 162, 466	1, 623, 745	1, 608, 259	3, 190, 410	1, 147, 000
財	国 庫 支 出	金	円					
実源	県 支 出	金	円					
内	地 万	債	円					
訴	一ての他特定別	源	円	1 100 100	4 400 745	4 000 000		4 44 8 8 8 8
440		源	円	1, 162, 466	1, 623, 745	1, 608, 259	3, 190, 410	1, 147, 000
施	正規職	員	人	0. 33	0. 33	0. 28	0. 28	0. 28
員	嘱託職	員	ᄉ					
数	臨 時 職	員計	ᄉ	0.22	0.22	0.00	0.00	0.00
状	H H		人	0. 33	0. 33	0. 28	0. 28	0. 28
	対	数 (b)						
		(b)	円	_	_	_	_	_
200	受益者負担	額	円		_		_	
況	大 無 日 貝 垣 市民一人当たりのコス		円	21. 00	29, 00	29, 00	57. 00	58. 00
	<u>市氏 スヨたりのコス</u>	目標		1	1	1	1	1
	システム維持	実績	式	i	i	1	1	•
一 活		達成率	%	100.00	100, 00	100, 00	100, 00	_
/ 注		目標						
動 指	! -	実績	_					
D 担		達成率	%	_	_	-	_	_
D 標	1	目標	_					
	_	実績						
		達成率	%	_	_	-	_	_
0 _	地震計異常(誤作動)	目標	П	365	365	365	365	365
及		実績		365	365	365	363	365
成果		達成率	%	100. 00	100. 00	100.00	99. 45	100.00
し指		目標	_					
標	! —	実績						
		達成率	%	-	-	_	_	-
備	i							
考								
75								

事務	务事業	業名 一	般経費	(防災	体制制	持)	事業							事	業期	間平月	或 23	~		年度	整理番	号 0 .	080112
担:	当部	署危	機管理	室		防	災対策課			防災対	策係			作	成担:	当者名	平	澤	浩	_	連絡先	;	136
	期			E	目 標						実	三 糸	責							課	題		
四	第 1 期	・正常な	な作動も	犬態を研	主認			•	異常作!	動なし							引き続に点検				gが 継続 っ する。	するよ	う定期的
	第 2 期	・正常な	な作動も	犬態を研	主認			5	地震計	で1回襲 。	異作動あ	59. ·	すぐに	こ業者	が修	理を			品の故障 続検が必		るもので	あった	。より細
期ご	第 3 期	・正常な	な作動も	犬態を研	主認				異常作!	動なし									替予定の の調子が		5県衛星系 、	陈災	行政無
٤	第 4 期	•正常	な作動も	犬態を研	主認			•	異常作!	動なし									替予定 <i>の</i> の調子が		·県衛星系 、	、防災	行政無
_o							±			事	中		Ŧ	価									
							新たに 無線の機					今	成果	拡		充		2	•	(5	7	
管	平成	27年度	は、下	準備と	して庁	舎内の	配線場所	が設定	リーデル	の確認	を実	後	の		状維	持		(3	D	(⑥ レ	9	
	施し	た。										の	方向	縮		小		4	D	(B)	10	
理							要求事項					方	性	休	廃	止 (D						
-	長野	県衛生	系防災	2行政無	様の	機器更	新工事に	-伴う市	町村負	担金。		向					皆	減 糸	宿 .	小	現状維持	拉	大
												性						:		入	のカ	向	性
							1																
	_	评価年	度		当年度		h4L		+	÷1	h4L				÷L	ರ ವ	44.	L	61:		. = a 1	IE 16	
		えん この観点	5 1	妥	当 I 3	4	性 判定	1	有 2 1	<u>勃</u>	4	: 判5	2	1	効 2	率	性 4	判定	総	合	· 評 (西半	〕 定
評		ェック	" '		۲		4	+ '		レ	7	3	+	'			7	4	+		В		
							地盤)に					する	たひ	に地	農が多	発生し:	た状態に	こなる	記		画どおり	事業を	・進めるこ
価	課	ため、	正確な	数値を	得るこ	ことが	できない	'。対风	がに問題	がある	•								号の定	B:事 C:事	が適当 業の進め 業規模・ 見直しが	内容• 必要	実施主体
(с	題																		前年	<u>計</u> F度総	: 業の統合 が必要 合評価半 シート整理	定	廃止の検 B 01080112
н			細	挽	Ę	策	i	Ŧ	価	į	前			細		施	ĝ	专	評		価	後	
	総	災害発	生時に	は、固	定電	まや携	帯電話が	利用で	きない	ので連	絡手段	کے ع	と書き	绝生時	には	、固定	電話や	携帯電	話が利	川用で	きないの	で連	格手段と
Е	合	は設置	生物市	は多少	問題は	ナある	寺は必要が、地震	発生時	に茅野	。 市の <mark>展</mark>	、吧展 度を把	握に	よ設計	N 生物 置場所	市場には	語や保	種FA 題はあ	るが、	地震第	·可欠 e生時	である。 に茅野市	あた。	、地震計 度を把握
С		するに	は必要	である	0							3	ナるに	こは必	要で	ある。	定期的	な通信	訓練も	必要	となる。		
ĸ	評																						
	価																						
		前年		改革			策の実		•		実	E	前年		田施賃		田にお			の方			
改革	今		細	施	<u> </u>	策	i	:	価		竹			細		施	3		評		価	往	ŧ .
	後	成 果	拡	充			2	j	5 L				成果	拉		充					レ		
改善	の	の	現状	維持			3	(6	9)		の	現	状維	持							
0	方	方向	縮	小			4	(8	1)		方 向	縮	,	小							
方向	向	性	休月	荛 止	1								性	休	廃.	止							
性	性	_		_	皆	減	縮	小	現状維	: -		ţ									現状維持		
<u>^</u>		集日 #	##	:1+ ≪ ==	int A "	口 ;	ス ト : <mark>段として</mark>		の ブ		性なるが			***	第二十	<< d≥ n+					の 方 せないも		
A C T	改 革		星携帯	電話を	利用し	してい		災害時	作取扱	いが出	来ない	E 1	事段 律	新星携	帯電	話を利	用して	いなし	いのでが	害時	せないも に取扱し 広域的な	が出	来ないこ
I	· 改					-			_				•			*		- •					
0	改善																						
Z)	策																						
最終	冬評	価年月	В	平成28	年5月1	20日	最 終	評 価	青 仟	者				防约	新校公	課長					東切	龙	淳
ᄊᄉᆘ	→ HI	1./]	_	1 /9420	1 4/1/		4人 小六	H 1	ઝ ∢ ⊥	1				WJ 2	~ (*) X	- 10/1 5/2					-12 7	~	••

				報発信・伝達事業					哥	事業期間 平成	23	~		整理番号	01080111
担旨	当部	署	危機管理室	防災対	策課		防災対策	系	11	F成担当者名	平	澤	浩二	連絡先	136
計	おける	算	プランに位置づけ 業 名	有 政策体系 災害情報伝達事業 ・災害発生時の住技術)を活用しま	民への緊急情報	02 01 01 Wの伝	第2節 ! ITを活! ITによ。 達手段、	豊かな生活 用した安全 る防災減少 被災状況	5環境の 全安心な 炎対策事	本市民生活の事業 会計 会計 な把握及び避	コート	等のも	犬況把握の	手段等にICT	(情報通信
画	(簡別	R IE ł	かりやすく)	ICT (Information いられてきた「IT」大規模災害が各地	」とほぼ同様の	の意味	で用いら	れるもの	で、「Î	T」に替わる	表現と				米頻繁に用
(と 背 景 うして) 	· ICT(情報通信技	技術)を活用し						~ 7 0				
1		対 象	受益者 (誰のために) 対象 (直接働きかける)	市民及び市内滞在 ICT(情報通信技術											
Р	的	(どん	意 図な状態にしたいか)	多様な情報収集手											
L			・ 方 法 やって)	臨時災害放送局(防災行政無線をが放送行のススキス・一度者ののエタスを・ レー・・ レー・	聞こえにくい すから放送する 客など、たまった。 力によって、 旧を支援する	"屋内 ること たま被 多様な	7"と"車:で、庁舎 は災地に居 はメディア	中" にも の被災で 合わせた や端末に	、できる 防災行政 国内外が 一元的に	るだけ情報が 女無線が使えいらの人たち いらの人たち に情報が届く	届くな はくも 情に	うにする事情をしまする。	とにも備え こえる。	る 。	
			行政活動の紀	結果からつくりだす	ものは何?	指	標名	称	単 位	算出方法・記	+算式	· 目标	票値設定の	考え方など	最終目標値
N		活動	臨時災害放送	送局の設置準備	P	塩災局	}		件	LCV (臨災局	設置者) ۲	の災害時協	定の締結	1
	温	+E	公共情報コー	モンズの活用	4	公共情	報コモン	ズ	0	公共情報コモ	ンズ	D テス	卜配信		2
	標の		緊急速報メー	ール(エリアメール等)の	活用	紧急速	報メール		0	緊急速報メー	-ルの-	テスト	配信		2
	作	成	成果	・ 効 果 は	何 ?	指	標名	称	単位	算出方法・記	十算式	・目标	票値設定の	考え方など	最終目標値
	成	果指	ICTを活用し	た災害情報の提供	I	CT活	用状況		%	提供開始した	ICT技	術/提	供可能な「	CT技術	100
		標													

	Į	 頁	目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予算 又は決算額)	平成28年度事業計画(予算)
		* # # #	7.	-			110 100		
			(a)	<u>H</u>			110, 160	110, 160	111, 000
	財	国庫支出	金	3 🗷					
実	源	県 支 出	金] <u>I</u>					
	内	地方	債	<u> </u>					
	::		源	3 🗷			110 100	110 100	111 000
施		一般財	源	<u>H</u>	A AF	0.00	110, 160	110, 160	111, 000
加巴	職	正規職	員	스	0. 05	0. 02	0. 02	0. 02	0. 02
	員	嘱 託 職	員	<u> </u>					
	数	臨 時 職	員	人					
状		合	計	人	0. 05	0. 02	0. 02	0. 02	0. 02
		対象 (者)	数						
			(b)	-					
			(b)	日	_	_	_	_	_
況		受益者負担	額				0.00	0.00	F 00
	1	市民一人当たりのコス		円			2.00	2. 00	5. 00
		#E## =	目標	件	1]			
		臨災局	実績		0	100.00		100.00	
	活		達成率	%	0.00	100.00	100.00	100.00	_
	動		目標		2	2	2	2	2. 00
	動指	公共情報コモンズ	実績	-	0	0	0	0	
D	標		達成率	%	0.00	0. 00	0.00	0.00	_
	IN	men de saludare e	目標		2	2	2	2	2. 00
		緊急速報メール	実績		1	0	0	0	
			達成率	%	50.00	0.00	0.00	0.00	_
0	-		目標	%	3	3	3	3	3. 00
	戍	ICT活用状況	実績		1	0	0	0	0
	果		達成率	%	33. 33	0. 00	0.00	0. 00	0. 00
<u> </u>	指		目標	_					
	標	_	実績						
		A 46 Ha 44 - 1 - 2 - 2 - 2	達成率	%	-			_	_
	備	今後期待できるICT…「\	/—Low	マルチ	メティア放送」「安:	全安心メール(オクし	ノンジャー等)」「フ	アラートメール(防災	気象情報システ
	考	ム)」 双は06年度からは公共機	140 — -		7年日野北沙田にかり	++			
	有	平成26年度からは公共情	ママン マン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン	シスリ	リ利用科か必要となり	まり。			

	当部	る 危機を		E1高 ' 12	防災対	・	Ri	災対策係			事	_	平	~	浩二	連絡先	
15					N) SC N	жих	N.				F灰压コ	ΗЧ	_	/=			. 100
	期			目 標					実 績						課	題	
四	第 1 期	公共情報コ		•				の連携メー	ル配信				使いこ	なすまで	きには時間	がかかるこ	ことが分かっ
半期	第 2 期	公共情報日信	1モンズ、累	&急速報	メールの	テスト配	こうほうちの	の連携メー	ル配信				テスト 配 要	で信を借	り返し、本	番に使い	こなすことが。
# :	第 3 期	公共情報日信	モンズ、累	&急速報	メールの	テスト配		の連携メー 炎情報シス		明会参加	0		テスト	で信がす	と施できな	かった	
٤	第 4 期	公共情報二信	コモンズ、累	紧急速報	メールの	テスト配	こうほうちのエルモウィ	の連携メー. ジェットサー	-ビス申				テスト	己信が実	尾施できな	かった	
Ø								事 中	評	価	<u>i </u>						
	当年	丰度開始後	、約6ヶ	月が経過	過し、新	たに生じ	た問題点や	環境の変化		成力	広 充	;		2		⑤ レ	7
									後	果一切	見状維持	:		3		6	9
管										方				4		8	10
		新年日	きの宝施記	+ 画 - 子	5. 笛 亜 求	車頃 (≀	な革・改善3	套)	⊣ "∣	向				•		•	UV
理		471 - 1 72			开女小	Ŧ% (4	X + W-	K /	_ 方	性	木 廃 止		D .	. b t.			
									向		/	ŧ		减縮	-	現状維持	
									性					スト	投入	、の方	, 向 性
		评価年度	3	当年度													
	_	見点	妥	当	性		有	効 ′	生		効	率	性	Ė	総	合 評 化	西 判 定
評	評価	面の観点	1 2	3	4	判定	1 2	3 4	判定	1	2	3	4	判定			
яT	チ	ェック				4		V	3					4		В	
価(c	課題	・公共情報 が安全安心 い」と誤解 ・緊急速報	報コモンズ シにつなが 解される態 報メールの	の運用 る(一 念があ 配信は	には、 県 <mark>部地域</mark> だ る) 3社(ト	内どこだけ不参加 け不参加	ティFMを開局 こいてもその ロだと、「テ DDI・ソフト と協議する必	地域の災 タが入 バンク	書関連(かされ [*] こ送信	青報がア ていなし	(手できる) ハ=避難	る状態情報が	態にある が出てし	ること いな	記号の定義 同年度和 記号の定義	とが適当 事業規直の進 動進 要 見業が必要 計 会 評 に 統 要 手 に の を が の き が の き が の き が の き が の き き う き う き う き う に う に う に う に う に う に	、休・廃止の
н		細	i 旅	ī.	策	評	価	前		組	7	施	ė	ŧ	評	価	後
	総	ITC(情報	通信技術	の進場	は災害	青報発信	には欠かせ	ないものに									ないものに
E	合	なってきて	ている。						4	ってき	ている。				重要となる		
С									"	秋元间	- 20 X 1	JE 10	現の日本でク	E /C // ·	主女 C 体 ·	o .	
K	評価																
		前年月				の実施		一部実	施前						今後のカ		
改革	今	細	1 旅	<u> </u>	策	評	価	前		紐	I	施	9	ŧ	評	価	後
•	後	成却	左 充		2)	⑤ レ	7		,,	拡 充					レ	
改革	の	果 の ^現	見状維持		(3)	6	9	-	果 ************************************	現状維持						
善の		方 紛	富 小		4)	8	10		方 和	縮 小						
の方向	-									句	木 廃 止						
	方向	向 [*] 性 か	ト廃 止	1													
	向		* 廃止	省皆	減	宿 小	現状維持	拡	大	_			皆 ;	咸 縮	小	現状維持	・拡対
性(性 _ 位		皆	コス	ト 投	入の方	向 性				1		スト	投 入	、の 方	向 性
性 (A	向性 改	公共情報	コモンズを	皆った	コース 、 <mark>緊急</mark> 返	ト 投 <mark>報メーノ</mark>	•	向 性	十一 公		コモンズ	を活	コ 用し、	ス <mark>緊急速</mark>	ト 投 入 <mark>報メール</mark>	、の 方	
性(向性	性 _ 位	コモンズを	皆った	コース 、 <mark>緊急</mark> 返	ト 投 <mark>報メーノ</mark>	入の方	向 性	ホー 公 ム 特	ページ に防災	コモンズ へ情報配 メールの	を活す	コ 用し、 るシス ジョン	ス 緊急速 テムの	・ 投 <i>入</i> 報メール 構築	、の 方 ・ 市防災メ	向 性
性(ACTI	向性 改革・	公共情報	コモンズを	皆った	コース 、 <mark>緊急</mark> 返	ト 投 <mark>報メーノ</mark>	入の方	向 性	ホー 公 ム 特	ページ に防災	コモンズへ情報配	を活す	コ 用し、 るシス ジョン	ス 緊急速 テムの	・ 投 <i>入</i> 報メール 構築	、の 方 ・ 市防災メ	向 性 ール・市ホ
性(ACTIO	向性 改革・改	公共情報	コモンズを	皆った	コース 、 <mark>緊急</mark> 返	ト 投 <mark>報メーノ</mark>	入の方	向 性	ホー 公 ム 特	ページ に防災	コモンズ へ情報配 メールの	を活す	コ 用し、 るシス ジョン	ス 緊急速 テムの	・ 投 <i>入</i> 報メール 構築	、の 方 ・ 市防災メ	向 性 ール・市ホ
性(ACTI	向性 改革・	公共情報	コモンズを	皆った	コース 、 <mark>緊急</mark> 返	ト 投 <mark>報メーノ</mark>	入の方	向 性	ホー 公 ム 特	ページ に防災	コモンズ へ情報配 メールの	を活す	コ 用し、 るシス ジョン	ス 緊急速 テムの	・ 投 <i>入</i> 報メール 構築	、の 方 ・ 市防災メ	向 性 ール・市ホ
性(ACTIOZ)	向 性 改革・改善策	公共情報	コモンズを 特報配信	皆った	コ ス 、 緊急 返 ステムの	ト 投 報メール 構築	入の方	向性 一ル・市	ホー 公 ム 特	ページ・に防災えてい	コモンズ へ情報配 メールの	を信がある	コ 用し、 るシス ジョン	ス 緊急速 テムの	・ 投 <i>入</i> 報メール 構築	、の 方 ・市防災メ への情報発	向 性 ール・市ホ

事	務事 詞		一般経	費(災	害危	険値	断調	査)	事業							事業期間	平成		~		年度	整理番号	01080110
担	当部	署	危機管	理室			防	災対	策課			防災対	対策係			作成担当:	者名	平	澤	浩	=	連絡先	136
			プ ラ ン · 位 置 [·]		有	政策	策体	系	施 細 旅事務		05 03	第5貫 災害の	市 災)未然	害に強	い、安全	ある高原植 全で明るし			J				
計	予	算	事 業	名						, ,,,							会計:	コード	00	款	09	項 01 目	05 事業 01
画	事	務 事	業の ね		毎年要に	、地応じ	域のS 整備し	災害が	危険箇 国県に	所調査 も整備	E(5月 i要望を	中旬) - - - - - - -	を実 います	施し、 け。	急傾斜均	也、がけ肩	崩れ、:	土石流	や地	すべ	り危険	箇所の把握	を行い、必
			と背うして	京					するた 更があ			続き	危険簡	断を記	間査し市	民へ周知	し、緊	急性	の高し	いもの	は、豊	を備、ある!	ハは国県へ整
	目	対	受益	めに)	市民	⊕ ‱	害危	全体	i														
P		象	対 (直接働き	象かける)																			
	的	(どん	意 と	X	災害	の未	然防」	上と	披害の	軽減													
L					毎年	1 🗓	、市	関係 I	部局と	合同で	災害危	达険 箇	所調1	を実施	もする。								
A			・ 方 やっ [*]																				
			行政活	動の糸	果か	いらこ	つくり	だす	ものに	は何?	指	標	名	称	単位	算出方法	法・計	算式	・目標	票値部	定のを	考え方など	最終目標値
N	評	活動	災害危	険箇別	調査	実施	i.				調査実	施回	数		1	年1回							1
	価指	指標	土砂災	害訓紹	の事	施					訓練実	施回	数		1								1
J	標の																						
	作	成	成	果	•	効	果	は	何	?	指	標	名	称	単 位	算出方法	法・計	算式	・目標	票値部	定のを	考え方など	最終目標値
	成	果指	災害の	未然以	止						調査実	施率			%	調査箇所	听/調査	E対象	箇所				100
		標																					

		頁	目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予算 又は決算額)	平成28年度 事業計画(予算)
		71 20 3	(a)	円					
	財	国庫支出	金	円					
実	源	県 支 出	金	円					
	内	地方	債	円					
	訳	その他特定財	源	円					
	兀	一 般 財	源	円					
施	職	正規職	員	人	0. 30	0. 02	0. 02	0. 02	0. 02
	員	嘱 託 職	員	人					
	数	臨 時 職	員	人					
状		合	計	人	0. 30	0. 02	0. 02	0. 02	0. 02
1/	7		数						
			(b)						
	È	1 1 1 1 1 1 1	(b)	円	_	_	_	_	_
況		受益者負担	額	円					
	Ī	5民一人当たりのコス		円	- ,				3. 00
			目標	1	1	1	1	1	1
		調査実施回数	実績	•	1	1	1	1	
$\overline{}$	活		達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	_
	動	Maria Anta-Ata-Ata-Ata-Ata-Ata-Ata-Ata-Ata-Ata-A	目標	1	1]	1	1	1
	動指	訓練実施回数	実績	•	1	1	1	1	
D	標		達成率	%	100.00	100.00	100. 00	100.00	_
D	175		目標	_					
		_	実績						
			達成率	%	_	_	_	_	_
0			目標	%	59	59	59	66	66
_		調査実施率	実績		59	59	59	66	66
	果		達成率	%	100.00	100. 00	100.00	100.00	100. 00
	指		目標	_					
	標	_	実績	0.4					
		平さららた 内部 本に トリ	達成率	%			_	_	-
	備	平成26年度調査により			最終危険箇所数30				
		立式0.7年中間本により				所数25箇所 1数年除年正数22年	:=c		
	考	平成27年度調査により				最終厄陝箇所数3/箇 - <u>箇所、最終危険箇所</u>			

事務事業	業名	一般絲	圣費(災害	危険籄	所謂3	手)事	業						事業	期間:	平成		~	年	度 整理	番号	010801	10
担当部	『署	危機管	理室			防災	炎対策	課		防災	対策係			作成:	担当者	名	平	澤 ;	告 二	連	絡先	136	
期				F	標						9	€ 穏	i						į	果 題			
第	5月	中に災	(害危			の実施	Ē		市内の 5月14	調査集日:各班	建設事	多、茅 香報	野警告			班のわれ	の編 成 からな				職員は	危険個所	ا الأرا
半 第 2 期	調査	個所の	の整理	1					調査票	と写真	の整理					なし	•						
期 第 3 期	市内	危険(固所の	情報	収集				建設課	!、農林	課から情	報収	ķ			なし	•						
第 4 期	次年	度へ	反映						次回防	災会議	に向けて	の整	理			なし	•						
0										事	中	ř	F	価									
当生	年度	開始後	、約	6ヶ月	月が経	過し、	新たり	に生じ	た問題	点や環	境の変化	今	成田	拡	充			2		5	レ	7	_
Adr												後	果の	現状	維持			3		6		9	
管												o o	方	縮	/J\			4		8		10	
		新年 F	年の生	2体到	l 面 。	ふ 質	4年	百 (水	対革・改	・		方	向					•		O		W .	
理		利士	₹W >			了开歹	(小尹)	快 (5)	(年) 以	古火	性	休彦	<u></u>	(1)									
														皆	減			現状			大		
														=	コス	\	投	入の	方	向 性			
	証価:	の観点 1 2 3 4 判定 1 2 3 4 判定 1																					
		点 妥 当 性 有 効 性 D観点 1 2 3 4 判定 1 2 3 4 判定 1 ック 4 4 レ 3														<u> </u>	性		総	合 評	通	判示	2
並在		点 妥 当 性 有 効 性 の観点 1 2 3 4 判定 1 2 3 4 判定 ・ック 4 レ 3 上砂災害警戒区域の指定により調査箇所が倍増したため、箇所あたりの調査														•		判定	140			13 %	_
## T										V						4			В				
	視点 妥当性 有効性 効率性 総合評価判定 評価の観点 1 2 3 4 判定 1 2 3 4 判定														必要 主体 の検								
н		¢п	1	th		Δ£		= ₩	/ #		Afr			4m	+4	-	姓				全理 由		110
643		部署(iして	、調査	萨時間		したい			HU	*	0 0	8署と協	カして	、改作	多状況	. 土地	也の形も				F
改合		細		施		策		評	価	•	前			細	抗	ī	策		評	価		後	
革	-+-			充	•	ж	2	ПΓ	<u>1111</u>	ν l	<u>ри</u> ⑦	+	d .	拡		9	ж		ЯT	1ml	,	以	
· 後 改	成果						.j			j.			成 果								·		
善の	の		見状維	. 持			3		6	j.	9		の	現状	維持								
の方	方向	糸	宿	小			4		8		10		方 向	縮	小								
方向向	性	t	木 廃	止	1								性	休房	上								
Ast.				_	皆	減	縮	小				₹.			_	皆	減						大
$\hat{}$		<u> </u>	T	الدم مواود ا	I = Am m					方向	性		_			1 - km -					方	向 性	
C T I	性 皆 減 縮 小 現状維持 拡 大														i.								
N 善		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·																					
N 善	善																						

事	務事簿	業名	消防団運営	事業											事業期間	甲成		~		年度	整理番号	10010101
担	当部	署	企画総務部			洋	防課	ļ			消防係	Ŕ			作成担当	者名	篠	原	其	=	連絡先	
打 画 (P	市お・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	民け 第 事 状ど 対象	プラ 位置 業 の で ま で を し で で 名 で で で で で で で で で で で で で で で で	消消 消消公消 消 各	が は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	策 防互の 運に等 運営	系・や学・サードを対します。	政施細事分及が交補が必合機がある。	事を選集。	もらいばない	い、団、	i 快災の は で が が に で に で に に で に に に に に に に に に に に に に	害に強 充実 事業 事生の	らぎのa い、安全	ある高原	都市づいまち	ゴくり)				02 事業 01
L	手 (対象 対象 (直接働きかける)																				
			行政活動の約	结果:	からこ	っくり	だす	ものに	は何?	指	標	名	称	単位	算出方	法・計	算式	目标	票値設	定の≉	きえ方など	最終目標値
N	評価	活動指	消防学校入村	交						入校和	對数			٨	訓練礼性消防	式科 5 隊科 1	人ラ: 名	ッパ科	5人	桑法科	20人女	31
	価指標の	標																				
	作	成	成果	•	効	果	は	何		指	標	名	称	単 位	算出方	法・計	算式	・目标	票値設	定の表	きえ方など	最終目標値
	成	果指標	福祉共済請求	求						福祉	ŧ済交f	寸率		%	請求人	数/交付	寸人数	× 100)			100
		IN																				

事業費等(a) 円 9,547,025 5,800,100 5,697,000 6,383,304 5 1		平成28年	平成27年度(予算 又は決算額)	平成26年度	平成25年度	平成24年度	単位	目		I
財 国 庫 支 出 金 円 円 円 円 円 円 円 円 円	5, 970, 000			5 697 000	5 800 100	9 547 025	Д	(a)	車 業 書 等	3
東京 東京 田 金 円 円 円 円 円 円 円 円 円	,, 010, 000	5, 51	0,000,001	0, 007, 000	0,000,100	0, 017, 020				
地 方 債 円 子の他特定財源 円 9,547,025 5,800,100 5,697,000 6,383,304 5								金		
大								債		////×
Table Ta										
正 規 職 員 人	5, 970, 000	5, 97	6, 383, 304	5, 697, 000	5, 800, 100	9, 547, 025		源	一般財	訳
## ## ## ## ## ## ## ## ## ##				0. 38	0. 38		人	員	正規 職	施贈
大 数 所 版 月 八 1 1 1 1 1 1 1 1 1							人	員	嘱 託 職	
対象 (者)数 (b)							人	員	臨 時 職	
対象 (右) 数 (b) 単位コスト (a)/(b) 円			0. 38	0. 38	0. 38		人	計	合	数
現 位 コスト (a)/(b) 円 ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー										
□										
市民一人当たりのコスト 円	_		_	_	_	_				
1										
消防学校入校 実績 人	107. 00	1			104. 00	170. 00	円		<u> 市民一人当たりのコス</u>	Ī
Tamp							,	目標		
Ta									消防学校入校	
財指標 目標 字線 一			100.00	100.00	-	-	%			洁
D 標 日標 -<							_	日標		動
D 標 日標 -<									-	指
成果 目標 実績 空			_	_	-	-	%			D 標
成果 100 100 提表 100 100 実績 100 100 達成率 7 100 100 100 100 100 100 16 16 100 100 100 16 16 100 100 100 100 100 16 16 16 16 16 16 100							_	日標		IN
成果果 目標 実績 %	_						0/		_	
成果 実績 % 100 100 達成率 % - - 100.00 100.00 指標 - 実績 - - - 備					_	_				
果							%	中结	短礼业这本从家	
標 一 実績					_	_	06		相位共历文刊平	里
標 一 実績			100.00	100.00			70			华
達成率 % - - - - - 備							_	生績	_	一垣
備	_		_	_	_	_	%			1示
							, 0	~_,~~		144
■■ 										考

		業名 消			ţ											間平		_	~			整理番号	10010)101
		图署 企	画総務				方課			消除	方係			ſſ	下 成担	当者名	1	集原		ξ =		連絡先		
_	期				目標							実	績							部	果是	通		
四	第 1 期)送付。 (操法:			泛給準 (to.			の送付: 校(操法			入校			操法	等訓	練に。	よる公務	Š災害	が発生し	ている。	
	第 2 期		費の支 の請求	を を と 準備。	i.				団運営 消防学 科		支給 校準備	訓練	礼式和	及び3	女性消	が隊	操法	等訓練	練に。	よる公務	影災害	が発生し	ている。	
期ご	3	共済へ 消防学 科)			礼式科	及び女	性消0	5隊			校訓練: は入校な		科。女	性消以	隊科	は都合		学校。		女性消	防隊和	半に入校し	していた	だく
ے	第 4 期	消防団 部長以	互助会 上会講	総会の実施)実施 匝				消防団 部長以	互助 上会	会総会(議の実)	の実 施					消防		入校?	かした。 女性消化	防隊和	料に入校し	していた	だく
_O										4	, -	<u> </u>	評	価		-								
									た問題; <mark>理の微</mark>			と化	今月	戊 打 ■		充			2		5		7	
管	J# //	or that stoke no	100 A 4	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	У УС-Т-	1-73 · [E] ·	0.05 C	XIE	一生の版	M25,75 * 51	₽ ₩0		後 0	D #	見状維	持			3		6	レ	9	
													0 7	ち が 新	盲	小			4	•••••	8		10	
理									革・改						ト 廃	止	1	••••••						
	来年い。	F度消防	字校》	(校(操	法科)	こ制限	ימימימ	り全て	の分団が	から入	・校でき	ょ	向				皆	減	縮	小	瑪		拡	大
												性				⊐	ス	۲	投	入	の方	向 性	ŧ	
			上 上 </th <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th>																					
	衫		及		効	率	<u> </u>	性		総	合	評価	判	定										
		この観点	点 1	2	判定	1	2	3	- 4		定	1/VC>			Т-1	Æ								
評		ェック					4					4					4	4			Α			
		女性消	防団員	が少な	いため	が消防・	学校女 《《宝	性消防	隊科入 の安全	校が襲								記		画どおり事 が適当	業を進め	りるこ		
価	課	X 135 94	. H U &	. 🗆 18 9	12001	一 即18年、	. <u>"</u>	-56-451 C	WXI									: 事美	ー 美の進め方 美規模・内					
																	定	の見	R.祝伝 ドロ 見直しが必 美の統合、	要				
	題											72	討た	が必要										
С																						合評価判定 一ト整理番		3
н			細	ħ	<u> </u>	策		評	価		前			紐	1	施		策		評	1 1 1 1 2	価	後	
	総	訓練時	の公務	災害か			5 .				-		訓練	時の	公務災	き書がき		ている	5.					
E	合																							
С	≘ar																							
ĸ	評																							
)	価	34 A			74	** **			.115 200	-			<u></u>		/m 15	## =T	/TT 1-	b. 11	7 ^			- La		
76		則工		改革			₹ ()		状 況	<u> </u>			刖				1回 (~		ත -	後の	力IF		"	
改革	今		細	抽	t.	策	•	評	価		前			紐	*	施		策		評		価	後	
• =	後	成 果	拡	充			2		⑤		7		成果		広	充								
改善	の	の		維持			3		6	レ	9		の方		見状維							V		
の *	方	方 向	縮	小			4		8		10		向		宿	小								
方向	向	性 -	休息	桑止	1								性		木 廃	止								
性	性				皆	減 コ ス	縮	小投	現状? 入 の		拡 向 性	大		_			皆	減 コ ス	縮ト	小投		秋維持 の 方	拡加性	大
A	改								等での				三 公养	災害	の発生	を減	うすた					の安全		備運
C	革	動等の	実施を	しても	らう。								動等	の実	施をし	ても	5 う 。							
I	• >h																							
0	改善																							
Z)	声策																							
最終	マ 証 タ	価年月	ВΙ	平成28	在5日1	20 F	最 ※	3 証 /	西責	仟 孝					消防	里馬				ı		東城	酒	
4又下	≺ pT	山十万	П	THICK	· T V / I		以 水	: pT]	叫 貝)	14 13					ו לא רוי	水区						不恢	ans.	

事務	事事	€名	消防団流	舌動支	援事業	ŧ									事業期間	平成	Ž.	~		年度	整理番号	10010102
担:	当部	署	企画総	务部			消防調	#			消防係	ŧ.		1	作成担当	者名	篠	原	Ļ	=	連絡先	
								政	策	05	第5章	t 快	適で安	らぎの	ある高原	都市で	さくり					
	市	民	プラン	(=		. Art- 1		施	策	05	第5節	5 货	害に強	い、安全	eで明る	いまち	づく	IJ				
			位置っ		政	策(4 糸	細力	拖 策	04	消防体											
								事務	事業	03	消防団	活動	支援事	業								
計	予	算	事 業	名	常備	消防	t									会計	· – I	~ 00	款	09 1	頁 01 目	02 事業 03
																					を行う。)	
	事	答 事	業の根	牙要										が大会出							日砂山山山大]式を挙行す
画	(簡	潔に	業の 概 ゎゕりゃす	(7)	, September	H 0)_		物で区	10 C C	- 01-,	וגישנווי	~/FI	刀 /白 男川	- M 9 @		火心	タリス	10 E 11	al an ea		日内リー山市	1八で字119
1				Ä	防団	の負担	1軽減	の検討														
	珀	壮	と背	몯 기	防団	活動で	安全	に行え	.る。』	防団の	の負担が	が大き	きいた	めその軽	減を図る	·		_				
	(. آغ	うして	\ /	ベンブ	巣法プ	は会に	出場し	上部を	を会え	目指する	ことで	で、技術	_桁 の向上 Lを図る	· 士気の	高揚	が望め	る 。				
~			受 益		防団		<u>පි 7 ව</u>		、四 5	C . dri	Z(V) (V) ;	人志	戦 (ソ [円] _	LEEPO	•							
	目	対	文 加 (誰のため		, hai (Al L	•																
		4	対:	争	让																	
Р		象	(直接働きか																			
				3	4時間	昌がき	2000年	仁安全	で安心	11.T	できる。	トシュ	こする。									
	的	(12)	意図	1343										して上部	大会に出	場する	3 。					
		(27)	/な状態にした																			
L					動服			温じァ	+=	古坦。	£.B9LLI	96.5	는 Mi I I -	大会・県	+4.4	·=+	<u> ~ ш на</u>	 /		HH 라스	の本件	
		EΩ	· 方	_										人女・朱 していく			太山場	7-1	4~~0)	划队亚	oxii.	
			やって	14											•							
	,	- 1	, - ,																			
Α																						
			行政活動	動の結	果から	つく	りだす	トものに	は何?	指	標	名	称	単 位	算出方	法・言	†算式	・目标	票値部	定の考	え方など	最終目標値
		活	活動服整	改備						貸与業	itr			人	貸与者	掛						940
N	評	動	70 SUNKI							具一页	*			_^	黄子百	3 33						340
		指標																				
	指標	尓																				
)	の																					
	作	成	成	果	· 効	」 果	は	何	?	指	標	名	称	単 位	算出方	法・言	十算式	・目标	票値部	定の考	え方など	最終目標値
	成	果	出初式	多加者						出初記	t参加≥	K		%	出初式	参加者	数 (9	67-13	2残容	人) /8	335 × 100	100
		指标										•		+		=	(
		標																				

	J	頁	目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予算 又は決算額)	平成28年度事業計画(予算)
	3	事業費等	(a)	円		3, 340, 000	4, 134, 000	2, 571, 025	2,856,000
	財	国庫支出	金	円		0, 040, 000	4, 104, 000	2, 071, 020	2, 000, 000
実		県 支 出	金	円					
~	源	地方	債	円					
	内	その他特定財		円					
	訳	一 般 財	源	円		3, 340, 000	4, 134, 000	2, 571, 025	2, 856, 000
施	職	正規職	員	人		2. 06	2. 06	2. 06	
	員	嘱 託 職	員	人					
		臨 時 職	員	人					
状	数	合	計	人		2. 06	2. 06	2. 06	
104		対象 (者)	数						
			(b)						
			(b)	円	_	_	_	_	_
況		受益者負担	額	円		60.00	74.00	40.00	F1 00
		市民一人当たりのコス		円	_	60. 00	74. 00	46.00	51.00
		貸与数	目標 実績	人				940 940	
\sim		具子奴	達成率	%	_			100, 00	_
	活		目標	70				100.00	
	動指		実績	_					
	指		達成率	%				_	_
D	標		目標						
		_	実績	_					
			達成率	%				_	_
0			目標	%			100	100	
	成	出初式参加者	実績	70			92	94	
	果指		達成率	%			91. 98	94. 01	_
)	指		目標	_					
	標	_	実績						
			達成率	%	-	-	_	_	-
	備								
	考								
	75								

		人			事業	l sate m	Lam		l sate =				事業期		_	~	_	度 整理番号	10010102
担:	当 部	者 企画	総務部	\$		消队	万課		消	防係			作成担	当者名	(原	<u>其</u> 二	連絡先	
	期			E	標					-	実 翁	ŧ					誀	思	
四	第 1 期	活動服期 茅野市オ	構入準備 ペンプ操	。 法大:	会準備	•		茅野	市ポン		終了し	市代	表が決定		活動服 討が必		やサイズ	、調査、購入 後	その管理の検
半期	2	団員の負 行い次年 安全な活	度の計	画に	反映す	る。		しを ンプ 場。 負担	の部とう !軽減に		の部だ 分団長	侵会	†市が小型! 勝し県大会 養で検討		訪市が 大きか・ 購入後	会場で った。 に の管理	あったた 「動服の! !の検討。	ッパ吹奏大会: め茅野市消散 特注があり調	団の負担が 整が必要
ני	3	団員の負 行い次年 活動服物	 度の計	画に			後に見直し	貝担	軽減に 服採寸	ついて、5 終了。	录 团长	会龍	で検討		難しい。備に伴	活動服 い, 冬	B購入後 朝間の防	ので、分団の の管理の検討 寒対策につい パー配備につ	l。活動服配 Nて検討が必
۲	4	団員の負 行い次年 活動服の	度の計				とに見直し	警備		担軽減が			が28年度は	御柱	冬期間	の防寒		推しい。 食計が必要。 いて随時検討が	が必要。
g)										事 中	i	Ŧ	価						
								生じた問題		環境の変化	上今	成		充		2		5	7
	活動	服の貸与	まについ	いて補	充、スツ	ソトク等	について	この検討か	必要		後	果の		持		3	·······	⑥ レ	9
管												方				j			
											の	向		小		4		8	10
理	夕 丗	新年 間の防薬					求事項	(改革・	改善策	性	休廃	止	1						
	編み	上げ安全	全靴の技	果寸時	期につ	いても	検討がぬ	必要。					皆 ;	咸 縮	小	現状維持	拡 大		
														スト	· 投	入の方	向 性		
							1												
	_	平価年度		妥	4年度 当	,	<u></u> 生	有	効	率	性		総	合 評 価	i 判 定				
		t 点 iの観点	1	y 2	3	4	判定		2 3	1 2	3	4	判定	邢					
評		ェック	•			'	4			?	' -	1	1	4	1	Α			
し (0	課題	消防団員 活動服 <i>0</i>	の負担	3を軽 法被	減して の使用	いく <u>値</u> につし	必要があ いて 今後	る。 検討が必	要。冬	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	·			記号の定義 前年	とが適当 : 事業規模・グ : 事業規直しが必 : 事業の統合 : 計が必要 既給合評価判別	休・廃止の検			
н			細	施		策	割	F J	T	前			細	施	9	E	削年度訊	「価シート整理番	後
	総							<u>する必要</u> :			3	化片						iiii 必要がある。	
Ε		活動服の)管理に	つい	て配布	i時には	は周知す	る必要が			ä	5動	服の管理に	ついて	こ今後周	切する	必要があ	5a .	
С	合	法被の智	埋、即	扱に	ついて	検討な	心必要				2	被	の管理、取	し扱につ	ついて横	対が必	要		
٥	評																		
K																			
)	価	前年	度 改	革	• 7h	盖 华	・ の 宇	施状	湿し			前 乍	F 度 細 施	第 証 4	価にお	ナス	今後の	方向性	
改			細	施		策	割		T	前		,, <u> </u>	細	施	<u>岡 1~ 85</u>		評	価	後
革	今	, n	拡	充	, 	ж	2	5	<u>щ</u>	7	-	_		充	и	•	RT	IIM	ix.
改	後	成 果										成果							
善善	の	の	現状維	持			3	6	V	9		の士	現状維	持				ν	
Ø	方	方 向	縮	小			4	8		10		方向	縮	小					
方向	向	性	休 廃	止	1							性	休 廃	止					
性	性			_	皆	減	縮		伏維持		大					或 統			拡大
A		112 · · · 211	はかる	L Hit I							٠٠٠	<u>- プ操法の名</u>	. ₩ Iマ -I				入 の 方	问 性	
00	革・	な ポンプ操法の各地区大会の運営について検討が必要。 ポンプ ・ ・ ・													(五の座)	5 1C J	o · Casea:	, n	
(Z)	善																		

事	務事 第	業名	消防団加入	足進	事業										事業期間	平成		~		年度	整理番号	10010103
担	当部	署	企画総務部			ji ji	防調	Į			消防係	Į.		•	作成担当	者名	篠	原	真	=	連絡先	
計画	お事	する	プランに 位置づけ 事業名 業の概 _(*)	住月	情消	策 体 防 費 全安	系 心を !	政施細力 細力 事務		05 04 03	をア	制の加入	害に強 充実 促進事	い、安全	ある高原をで明る	いまち 会計	づくり	00				02 事業 04
	現 (対 象 同上 対 象 (直接働きかける) 茅野市消防団員定数、967名を確保。																				
P	目		対象	同上	•																	
	的	対																				
L A			・ 方 法 やって)	LCV-		よる	消防	団活動														
			行政活動の	結果:	からこ	つくり	だす	ものに	は何?	指	標	名	称	単位	算出方	法・計	算式	・目标	票値設	定の考	きえ方など	最終目標値
N	評	活動指	退職報奨金							支給率	1			%	支給し	た人数	÷支統	人数	× 100)		100
	価指標の	標																				
	作	成	成果	•	効	果	は	何	?	指	標	名	称	単 位	算出方	法・計	算式	・目	票値設	定の考	きえ方など	最終目標値
	成	果指標	団員数							充足率				%	実員数	÷定数	× 100					100

	Į	項	目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予算 又は決算額)	平成28年度 事業計画(予算)
	7	事業費等	(a)	円		3, 340, 000	4, 134, 000	24, 759, 789	26, 679, 000
		】 未 	(a) 金	円		3, 340, 000	4, 134, 000	24, 709, 709	20, 079, 000
eta .	財		金	円					
実	源	<u></u> 地 方	債	円					
	内	その他特定財	源	H				21, 378, 000	21, 676, 000
	訳	一般財	源	円		3, 340, 000	4, 134, 000	3, 381, 789	5, 003, 000
施	職	正規職	員	人		2.06	2.06	1, 50	0,000,000
		嘱託職	員	人				,,,,,,	
	員	臨 時 職	員	人					
J.D.	数	合	計	人		2. 06	2. 06	1. 50	
状	>		数						
			(b)						
			(b)	円	-	_	_	_	_
況		受益者負担	額	円					
	Ī	市民一人当たりのコス		円	_	60. 00	74. 00	442. 00	477. 00
			目標	%		100	100	100	
		支給率	実績			100	100	100	
	活		達成率	%	_	100. 00	100.00	100. 00	_
	動		目標	_					
	指	_	実績	0.4					
D	標		達成率	%				_	_
	IV.		目標	_					
		_	実績達成率	%	_	_	_	_	_
0			目標	7/0	100	100	100	100	_
O	成	充足率	実績	%	95	97	98	97	
	果	70.ZE-	達成率	%	95, 45	96. 79	97. 93	97. 21	_
	指		目標	/0	JU. 40	00.70	07.00	V1. Z1	
)	標	_	実績	_					
	ाक		達成率	%	_	_	_	_	_
	/±			-					
	備								
	考								

担 当 部 署 <mark>企画総務部 </mark>	
	連絡先
期 目標 実績 罰	課題
第 1 団員データーの集計 1 退団者への記念品準備 退団記念品配布終了 退団記念品配布終了 消防団員の確保967人 団員確保平成27年度940名	LIV.
期は職物突金請水準備。 退職報奨金請求をし支払い開始	確保に繋がらない。。 出が期限内に出てこない。
第 3 おおよう は は できない できます は できない できます は できます かんしゅう は できます かん できます かんしゅう は できます かんしゅう は できます は できます は できます かんしゅう は できます は は できます は できます は できます は は できます は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	
期 ポームペーン開設 検討。ポームペーン開設は28年度に美施	こつながればいい。 、団員数が28年度は増。
事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 会 成 拡 充 ②	5 v 7
*** **	6 9
<u> </u>	
	8 10
新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策)	
向 皆 減 縮 小	、 現状維持 拡 大
性 コスト投	入 の 方 向 性
評価年度 当年度	A
- 視点 妥 当 性 有 効 性 効 率 性 総	合評価判定
評価の観点 1 2 3 4 判定 1 2 3 4 判定 1 2 3 4 判定	A
チェック 4 <td< th=""><th>: 計画どおり事業を進めるこ</th></td<>	: 計画どおり事業を進めるこ
記	とが適当
	: 事業の進め方に改善が必要 : 事業規模・内容・実施主体
	の見直しが必要:事業の統合、休・廃止の検
題	討が必要
前年度	度総合評価判定
	評価シート整理番号
## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ##	価後
日 行事の見直しも検討しているが同様である。	成が発しい。
合	
K III	
価	
前年度改革・改善策の実施状況 前年度細施策評価における今後の	
Tag	価 後

改善の 果 現状維持 ③ ⑥ レ ⑨ 果 の 現状維持	V
7 P P P P P P P P P P P P P P P P P P P	
向	耳状继柱 # -
性	・ 現状維持 拡 大 入 の 方 向 性
A 改 茅野市消防団ホームページの立ち上げ。	年度に。
2/r	
改 改	

			消防施設・ス	水利	整備事	-									事業期間	平成		~		年度	整理	理番号	10010104
担	当部	署	消防署			消队	方課				消防的	Ŕ.			作成担当	者名	篠	原	其	=	連	絡先	677
	市お	民 ける	プランに 位置づけ	有	政策	策 体 茅	<u> </u>	政 施 細 施	策	05 05 04	第5章 第5章 消防体	声 災	害に強		ある高原 全で明る			J					
計	-	<i>h</i>	* * *	Sale m-		*		事務署	事業	05			利整備	事業		∆ =1		· 1 00	± <i>h</i>		TE 0	M D	00 = # 01
画	事	務事	事業名	市月槽)	を設	命、身 置及び	消防	団員	に維持	管理	を委託	してし	いる。		火及び消 交付し地	火活		きる。	tうに		(利(03 事業 01 全・防火貯水
	現 (状ど	と背景うして)	生服	有効	に消火	活動	が行	えるよ	う維	伴い、 持 管 理 を交付	を行っ	っている		がある。	適切な	位置	に消り	火栓と	防火貯	水槽	を設置	し、火災発
P	目	対象	受益者 (誰のために) 対象 (直接働きかける)	区・	· 自治:	会																	
	的	(どん	意図	消队	方施設	等の充	実を	図る。	•						理により	 有効 流	5用で	きるね	犬態に	する。			
L			・ 方 法 やって)	消防消防	5水利: 5団員:	が充足	され 水利	てい ⁷ の点	ない間 検を実	所は	、区•	自治的	まに消し		。 置につい 補修を3			る 。					
			行政活動の約	洁果:	からつ	こくりた	ごすも	のは	何?	指	標	名	称	単位	算出方	法・計	算式	・目标	票値設	定のす	考えス	方など	最終目標値
N	証	活動	消火栓の新	没を	計画す	る				新設	肖火栓	計画费	t	*	新設消								6
	評価指揮	41-	消防水利点	食数						点検	基数			*	· 公設 · 公設	消火栓 防火貯	(242 水槽数	5基) 女(32	8基)				2, 753
J	標の作	成	成果	•	効	果	は	何	?	指	標	名	称	単位	算出方	法・計	算式	• 目	票値設	定の	考えて	方など	最終目標値
	成	F	消火栓を新	设設	置する	5				新設	肖火栓	设置率	<u> </u>	%	設置数	/計画勢	枚×10	0					100
		標	消防水利(2 を常に使用・					、貯水	(槽)	修繕	・補修	実施革	<u>z</u>	%	修繕·	補修基	数/修	繕・神	補修必	要基数	女×10	00	100

	J	頁	目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予算 又は決算額)	平成28年度 事業計画(予算)
	leile.	事業費等	(a)	円	13, 798, 255	16, 276, 520	18, 749, 762	19, 192, 693	23, 869, 000
	財	国庫支出	金	円					
実	源	県 支 出	金	円					
	内	地方	債	円					
		その他特定財	源	円					
	訳	一 般 財	源	円	13, 798, 255	16, 276, 520	18, 749, 762	19, 192, 693	23, 869, 000
施	職	正規 職	員	人	5. 70	5. 70	5. 80	5. 80	
	員	嘱 託 職	員	人					
	数	臨 時 職	員	人					
状		合	計	人	5. 70	5. 70	5. 80	5. 80	
		対象 (者)	数						
		延利用(者)数	(b)						
			(b)	円	_	_	_	_	-
況		受益者負担	額	円	040.00	001.00	005 00	040.00	400.00
	_	市民一人当たりのコス		円	246. 00	291.00	335. 00	343.00	426. 00
		新設消火栓計画数	目標 実績	基	10 17	9	6	6	
		新設消火性計画数	達成率	%	170.00	88, 89	100, 00	100, 00	_
	活				2, 728	2, 732	2, 746	2, 753	
	動指	点検基数	目標実績	基	2, 728	2, 732	2, 746	2, 753	
	指	点快签数	達成率	%	100, 00	100, 00	100, 00	100, 00	_
D	標		目標	70	100.00	100.00	100.00	100.00	
		_	実績	_					
			達成率	%	_	_	_	_	_
0			目標		100	100	100	100	
	成	新設消火栓設置率	実績	%	100	100	100	100	
	成果		達成率	%	100, 00	100, 00	100, 00	100, 00	_
	指		目標	0.4	100	100	100	100	
	標	修繕・補修実施率	実績	%	57	69	61	60	
			達成率	%	56. 76	69. 00	61.00	60. 00	_
	/#	新設消火栓(6基)内訳:	金沢区	3基、_	上場沢区3基				
	νm	27予算には「消防施設整	備に関	する	前助金」と「消防施設	管理委託料」が加わ	っている。		
	考								

		業名 消防		・水利	整備事										業期間	_	成	~		年度	整理番号)4
担:	当 部	署消防	署			消队	方課		洋	防係				作	成担当	4者名	篠	原	真	=	連絡先	677	
	期			F] 標						事	:	ŧ							課	題		
四	笙	区•自治 書送付。		の消防が	を設等:		の決定	通知 [2	区•自治会 送付。消财	:への 5団と	消防施	投等	補月	助金の 了。	決定通	知書	消火栓る。	等の記	设置要		<u>. – </u>	あり苦慮す	
半期	第 2 期	各分団で 区・自治							肖火栓点标 Z • 自治会			請事	務习	実施			消火栓	等の情	を繕べ	要望か	であり苦慮す	ける。	
粉 ご		各分団で 区・自治							肖火栓点标 区•自治会			請事	務习	実施			消火栓	点検に 道が濁	ついるな	て、消 どの苦		。 することに め 今後実 が	
٤	第 4 期	各分団で 区・自治							各分団での 区・自治会					•			消火栓	点検に 道が濁	ついるな	て、消どの苦	り苦慮する 防団が実施 情があるた	。 することに め今後実施	つ を
•										事	中	Ē	Ŧ	価									
Ø	当年	F度開始	後、糸	96ヶ	月が経	過し、	新たに	生じた	問題点や	環境	の変化	今	成	t 拡	3	ž.		2)	(5	7	_
									応できてい				果	1				······j·····				·	
管	水道	の本管が	\$75mı	m以上 ⁷	ない地	区から	の要望だ	があり対	応に苦慮	ける	•	後	σ)	!状維排	手		3)	(6) レ	9	
												の	力		/	N.		4		(B	10	
		新年	度の	実施計	画・	予算要	求事項	(改革	・改善領	策)		方	白性		. 廃 」		D						
理	古い								く栓の取り		が必		13		· 19 1. 1								_
	要。											向			/		皆	減 糸	盾	小	現状維持		大
												性	_	/			⊐	ス	ト 押	ひ 入	の方	向 性	
							7																
	_	评価年度			4年度														_				
	袳	1 点		妥	当	,	性		有	効	性				効	率	性	Ē	i	総合	· 評 価	判定	
評	評価	5の観点	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	7	1	2	3	4	判定			Λ.		
H.I	チ	エック					4					4						4			Α		
		消防水和	山は必	要不可	欠であ	り継	売して事	業を進	める必要	があ	る。タ	イヨ			及び老	朽化	消火栓(約50	記		ト画どおり事 :が適当	業を進める	Ĭ
価		奉)に、	יייכ	、水坦	官仰政	皆て_	ᅜᆕᆝᅩᄞᅥ	·E (助	付える必	み安か	'മാരം	(要)	Ŧ!	計画)					号	_		に改善が必	要
Щ	誄																		の]容・実施主	.体
(定義)見直しが必 ≨業の統合、) 安 休・廃止の)検
	題																				が必要	5	
С																			_		合評価判別 シート整理番	_	
			∕ m		-	Adr	_		har.		4	_		ψm		44-		*	1			` -	_
Н	総		細	かまた		策	- めにま	•	価 主要でも		前 マ・ 白	445	Гф	細		施		を のたが	语 + - 1		価 <u>事業でも</u>	後	24
Е		会の要質	女主!と地	いよっ 域の実	情にあ	っわせが	こめにも	里安は利を設	きませるこ	ことに	より、	火星	· ヌ きの	要望と	・地域の	トゥー	ハッ」 Fにあわ	ひため	防水	単安は利を設	一番 てめる	る。区・自 とにより、	少
	合	災発生時	まには	有効な	初期消	火及(了消火活	動をす	る必要か	(ある	ため継	続り	き発	生時に	こは有効	かな初	期消火	及び消	火活	動をす	る必要が	あるため継	続
С		して行う										ľ	,τ	行う。									
14	評																						
K	価											-											
)	щ	前年	度。	女 革	· 改	善第	きの実	ミ施 壮	犬 況			-	前右	年度系	田施策	: 評 (西にお	ける	今 後	きの方	向性		_
改			細	施	ī	策	î	Ŧ	価	Ħ	前			細		施		ŧ	ř		価	後	
革	今					ᅏ	2		<u></u>	7		+		拉			,		П	•	Hard	ν ν	
•	後	成 果 ^{·····}	拡	· 充			j			j		[成果									V	
改業	の	の	現状	維持			3	(6 レ	9)		不 の	玗	状維持	ŧ							
善の	-	方	縮	小			4	(8	10)		方	絲	3 /	١							
方	方	向 性	休 身	<u> </u>	1		_						向性	<i></i>	、廃 山								
方向性	向	<u> </u>	小 净	ŧ Ш	(1)	4_h	<i>j</i> L		TD / 5 / " 1 *				11	1/1	、		LI		_		TD 15 4" 11	14-	
	性	_			皆	減ってる	縮	小 投入	現状維持 の 方		広 ナ 性								宿しませ		現状維持 の 方	拡 カ 向 性	大
A		火災から	5 「生	命. •	/ ★ . ₽-	コース			の _万 る。区・			ادام	, ««	から	[生会	真み	・財産					旧り性 自治会から	<u></u>
C	改革	英型に d			情を置	まえ			ながら消			置車	9	により	地域の	タドラ	を踏ま	え関係	者と	協議し	ながら消	方水利を設	
T		する。	た。	有効な	水利か	ない	也域を調	査し、	水利の影	置が	可能か	· []	る	。また	二、有效	カなオ	利がな	い地域	を調	査し、	水利の設	量が可能か	
I	改	区・自治引続き消	宝典	孫有と 昌によ	協議する水利	る。 調査ス	・ 実施 !	. 鉄結	して維持	管理	を行う						議する水利調		Z施 L	鉄鉱	して維持	管理を行う	
2 0	善善								削減を図												削減を図		٠
Z)	策																						
最終	冬評·	価年月日	3	平成28	年5月2	0日	最 終	評価	責 任:	者				7	肖防課:	Ę	-				東城	源	

事	務事為	業名	消防機械整備	甫事	業									事業期間	平成		~		年度	整理番号	10010105
担	当部	署	消防署			消防	果			消防係				作成担当	者名	篠	原	真	=	連絡先	677
計	おう	算	プランに 位置づけ	各種うに	が が が が を が き が き り き り き り き り き り き り り り り り り	<u>に対応す</u> 管理する	。市民	事業、消費の安全	05 04 05 団車i	第5節 消防体 消防機 両をはじめ、消防	災制の機整の対象を	害に強 充実 備 したシ	区の消防	全で明る 材の整備 機械等か	いまち 会計 を図る 「長期 「	づくりコート	: 00° もに、	安全	かつ迂		03 事業 02 パ行なえるよ
圃	現	状	i 業の概要 h かりやす() と背景 うして)										148台、/				できる	るよう	維持管	理を適正に	⊂行う。
(Р	目的	対象	受益者 (誰のために) 対象 (直接働きかける)	消队	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	ペての人 行政区の 20年を更	消防車						区からの	要望と併	せ更新	折を行	う。				
L A		段	・ 方 法	消取	方団員	等による	直面点	検、業	美者に,	よる法定	€点枝	食及び7	ポンプ点	検を実施	E し、 ⁷	下具合	個所だ	があれ	ば整備	する。	
			行政活動の紀	結果	からつ	つくりだ	すものに	は何?	指	標	名	称	単 位	算出方	法・言	算式	・目标	票値設	定の	きえ方など	最終目標値
N	評	活動	ポンプ点検の	の実	施				ポン	プ点検実	施台	数	台	業者に	よる点 防ポン						147
	計価指標	指標	不具合箇所	を早	急に整	を備する			整備神	補修率			%	整備箇	所/不	具合館	新×	100			100
<u> </u>	保の作成		成 果 ポンプ 車両 強化する。			果 は		? 5力を	指車両列	標 更新達 成	名率	称	単 位 %	71 10						考え方など プ数×100	最終目標値 100

	J	項	目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予算 又は決算額)	平成28年度 事業計画(予算)
	1	事業費等	(a)	円	22, 723, 851	10, 860, 432	13, 646, 845	9, 750, 193	6, 461, 000
	財	国庫支出	金	円					
実	源	県 支 出	金	円					
		地方	債	円	13, 600, 000	5, 300, 000	13, 400, 000	6, 000, 000	2, 900, 000
	内	その他特定財		円		.,,	, ,	2, 799, 360	1, 400, 000
	訳	- 般 財	源	円	9, 123, 851	5, 560, 432	246, 845	950, 833	2, 161, 000
施	職	正規職	員	人	0. 29	0, 26	0. 35	0. 35	2,101,000
		嘱託職	員	굿				3.33	
	員	臨 時 職	員	Ĵ					
	数	合	計	入	0. 29	0. 26	0. 35	0. 35	
状	-	<u>」</u> 対象 (者)	数		0.20	0.20	0.00	0.00	
		<u></u>	(b)						
		<u>単位コスト(a)/</u>	(b)	円	_	_	_	_	_
況		受益者負担	額	円					
200		市民一人当たりのコス		円	405, 00	194, 00	244. 00	174, 00	115, 00
			目標	45	158	147	147	147	
		ポンプ点検実施台数	実績	台	105	103	103	105	
\sim	活		達成率	%	66. 46	70. 07	70. 07	71. 43	_
	白新		目標	07	100	100	100	100	
	動指	整備補修率	実績	%	100	100	100	100	
	扫		達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	_
D	標		目標						
		_	実績	_					
			達成率	%	_	-	_	_	_
0			目標	%	100	100	100	100	
	成	車両更新達成率	実績	70	9	5	2	2	
	果指		達成率	%	9. 43	4. 55	2. 33	2. 00	_
	指		目標						
	標	_	実績						
	,		達成率	%	_	1	_	_	_
	備		小型動:			車) 上原(普通和	責載車) 金沢部(1	・通積載車) 長峰(軽積載車)
	10111		小型動:	カポン					
	考	H26年度・・・安国寺(⁵	普通積	載車)	大沢(軽積載	車) 大池(軽積電	成車)		

		洋名 消防		を備事	業											間平	_	•	~		_	整理番号	10010	
担	当 部	署消防	署			消队	方課			消	防係				作成担	当者名	3 (集 厉	()	其 二		連絡先	677	1
	期			F	= 標							実	績							Ē	果	題		
四	第 1	平成27: ポンプ付 台を購入	積載耳	要望([1台、	こより、 上古田	小型重	カカポ		ンプ	付積載	を区要望 車1台、」 め区との	により上古日	り、湯田小	湖東 製動	カポンプ			間使用整備(きるよう		各分団に耳	「両、ポン	プ
半期	2	平成27: ポンプ付 台を購入	積載耳								動力ポン積載車の					.札終		整備の			に、 4	各分団に車	「両、ポン	プ
: :	第 3 期	各分団の	ポンフ	が等の」	点検計	画。			各分	団のポ	ンプ等の	点核	終	7.				整備の			IC. 4	各分団に耳	「両、ポン	プ
٤	第 4 期	湖東新井	⊧小型7	ぱンプイ	付積載	車の配	2備		湖東	〔新井小	型ポンフ							整備の			I=, 4	各分団に耳	「両、ポン	プ
_O										1	事「	<u> </u>	評		価									
•		F度開始											今	成	拡	充			2		(5)	7	
		市で、消					り、今	後の耳	車両の	仕様書	こ転落し	な		果	現状終	# t+			3		6		9	
管	いよ	うな車両	の仕種	音の	有案が	必要。							後	の	現状和	E 打デ					Ø) レ	3	
													の	方 向	縮	小			4		8)	10	
100								項(리	り 革・	改善策	Ę)		方	性	休 廃	止	1)					•••••		
理	来年	度は小型	型動力	ポンプ	2台の]	更新が	ある。						向				皆	減	縮	/\·	т	見状維持	拡	大
																	_			-				
													性				_	ス	۲	投	人	の方	向 性	<u>:</u>
	-	平価年度	:	<u>) </u>	当年度		1																	
							사		+		ᄮ	사			#L		,	ᆄᄮ		4//	^	=π <i>I</i> π:	Mal E	_
		点		妥	当		性 		有		効	性	,,, ,		効	平		性	_	総	合	評価	判	定
評		の観点	ı	2	3	4	判別	_	1		3 4	#	钊定		1 2	3	4		定			В		
		ェック					4			l		Щ.	3					4	4		=17		** + '# 4	7 -
		市の消防	5車両!	ま、ボ	ンフ車	、實施	直模載	車、	坐横載	車の3種	で統一	した	仕様	の車	両を配	崩して	いく。			記		画どおり事 が適当	美を進め	る こ
価	課																				: 事	業の進め方		
limi	□ ∧																			の C 定		業規模・内 見直しが必		,王体
~																					: 事	業の統合、		の検
	題																			前任日		が必要 合評価判定	2	-
С																						ノート整理番		0110
н			細	施		策		評		T	前				細	施		策		評	ıт IIII /	価	後	3110
	総	消防力の					と図る			_	_	-11	1 2当	Rt to					E 1891 2		4# ±	ーiiii 寺管理を通		1.1
Е	,,	両等の使											一両	等の	使用状法	兄を考し	慮して	更新日	安を			カの中から		
	合	基づき業	規・	更新を	継続実	施する	<u>. </u>				_				新規・								_	
С	==	更新計画	の基準	早とな 当防ポ	る、 シプÉ	・岡寺(動車 <i>(</i>	り更新 か必要	対象の	り見し ついて	しか必: 給討が	要。 必要。											直しが必要 て検討が必		
·	評	新設部が										見直										区の負担金		見直
K	価	すことも <u>車両の</u> 約				28 PH C	3 S I-	441.4	被 化士 人人	I — 463#					も必要。	m/- ^		2年 叶二	3 S I		被 化士 4	的に指導し	TIV	
$\overline{}$	-	前年		里につ で革		善第			· 状		<u> </u>				度 細 施									<u> </u>
改	^		細	施	1	策		評		西	前		Ī		細	施		策		評		価	後	
革	今		拡	<u>,</u>			2		5		7		١.	-t -	拡	充							ν	
	後	成 果												戎 果 ⋯										
改善	の	の	現状約	隹持			3	レ	6		9			カ	現状約	排								
の	方	方向	縮	小			4		8		110			方 句	縮	小								
方向		问 性	休 廃	ıŀ	①									可 生	休 廃	ıŀ								
向	向		F1. 156	_	皆	1_1	縮	el.	τÐ.	LL 4# ++	拡	大	- '		שלנו יוק	_	皆	減	縮	al e	-	日小+ 4# ++	拡	大
性	性				百	減 コ <i>ス</i>		小 投	入 0	状維持 り 方	加 向 性	^						- 减 コース		-		見状維持 の 方	加 性	^
A	改	区の規模	i, ihi	或特件	等を走							54).	区	の規	模、地址	支特性						を定める。		IJ.
C	#	案を作成	ける。	•									案	を作	成する。									
Т		市民の生取と実施	命、」	身体及 - サベ	び財産	を守る	るため	、行	な区か	らの中	期的な要	望期	市局	民の	生命、」	事体及る	び財産	を守る	5たと	り、行政 ていく	攻区が	からの中期 と、常に <mark>す</mark>	別的な要	望聴
I		以と夫がるように												と表	心が関し	主、実	ロデボ 施して	で概念	を検り	こいへ。こ加え道	あり きゅうしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう	に、常にす な管理に向	カルカガリナル	導を
0	善善	実施する		, -								_		施す				- "						
Z)	策																							
		m		T =#-0-0		^=		h =-	/m -	· /	v. I		-		sale me								-	_
	※ 評・	価年月日	- 1	<u> 4 50 28:</u>	年5月2	o A	1 HE 4	× =亚	/曲 書	任者	=1				消防	坐上				- 1		東城	41 0	

			水防活動事	業											事業期間			~			整理都		100101	
担	当部	署	消防署			洋	防課				消防係	Ŕ		f	作成担当	者名	篠	原	其	=	連絡	先	82-911	9
担 計 画 (P L	市お 予 事 現(目 的 手	民ナ 第	消防署	水水・水水・木が、木が、木が、木が、木が、木が、木が、木が、木が、木が、木が、木が、木が、木	事発・対とをを持ち、大力を変を、対して、大力を表して、たりにもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもで	集 養時 生資 て 防で・水	水害の 人 動が 人 動が 資本	政施細事 恐 書さ きに の 点	事業 の 軽 で ように	05 05 04 01 01 ときに	かには、生がある	E 快災 災 は	客に強 充実 大防資本 大防資本	「おきのある」 は、安全 オを、市口 方活動が。	eで明る 内すべて 必要にな	都市づち 会計の人が	くりづくり	リ 001 こ応じ	款表	09 速に使	近な場所	目 るよ	切に管理	01 る。
A			行政活動 <i>0</i>)結果	からこ	つくり	だす	ものは	何?	指	標	名		単位	算出方	法・計	算式	• 目相	票値設	定のを	考え方な	こど	最終目標	票値
N	評価	動指	水防活動に 数量の把握	使用をす	するする。	材等	の点	検整備					点検整		点検整のう配	備 年	6 💷 ×							44
~	指標の作	標	成果		効	果	は	何	?	指	標	名	称	単位	复出方	法・計	・寛式	• 日杉	票值設	·定のā	巻え方が	تل تــ	最終目標	票値
	成	成果的	市内各地へ	の 「				,,	•		配備数		1:3	個	配備数				III IIA	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	3,2,3,6		11, 7	
		指標	水防資材の	補充						水防資 足率	材の基	基準数	枚の充	%	水防資	材現有	数/水	防資本	才基準	数×1	00			00

_									
	Į	頁	目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予算 又は決算額)	平成28年度 事業計画(予算)
	Ę		(a)	円	338, 941	435, 537	470, 000	326, 709	274, 000
	財	国庫支出	金	円					
実	源	県 支 出	金	円					
	内	地方	債	円					
	訳	その他特定財	源	円					
***		一般財	源	円	338, 941	435, 537	470, 000	326, 709	274, 000
施	職	正規職	員	人	0. 17	0. 18	0. 18	0. 18	
	員	嘱 託 職	員	人					
	数	臨 時 職	員	人		0.40			
状		合 , **	計	人	0. 17	0. 18	0. 18	0. 18	
	Ż		数						
			(b)						
			(b)	円	_	_	_	-	_
況		受 益 者 負 担 市民一人当たりのコス	額	円円	6.00	8. 00	8. 00	6.00	5, 00
	_	『氏一人ョたりのコス		H	144	144	144	144	5.00
		水防倉庫・資材の点検整	目標 実績		144	144	144	144	
\sim		備の実施回数	達成率	%	100.00	100, 00	100, 00	100.00	_
	活		目標	/0	100.00	100.00	100.00	100.00	
	動	_	実績	_					
	指		達成率	%	_	_	_	_	_
D	標		目標	70					
		_	実績	_					
			達成率	%	_	_	_	_	_
0			目標	/100	8, 150	11, 700	11, 700	11, 700	
		土のう配備数	実績	個	8, 150	11, 824	11, 585	11, 700	
	果		達成率	%	100.00	101.06	99. 02	100.00	_
	指	水防資材の基準数の充	目標	%	100	100	100	100	
	標	小切貝州の基件数の元 足率	実績		100	101	100	100	
			達成率	%	100.00	100. 58	99. 69	100.00	-
	備考	水防倉庫及び水防資材の 計3550袋)を配備し ら成果指標を水防資材の	点検整 ・管理は 基準数	備は2 は消防し なの充足	2ヵ月毎に実施。24年 ∄とした。土のう配備 ≧率とした。近年ゲリ	度から迅速な活動が 場所数(市で管理場 ラ豪雨が増え水防資	行えるよう市内各地 所)は現状の24箇 材の基準数を見直し	区の屯所等へ作成土の 所(8150袋)とす 、水防資器材基準数が	Dう(各50袋、合 る。平成22年度か が増となる。

事務	事業	業名 プ	k防活動	事業										事	業期間	引 平	戓	~		年月	度 整理都	号	10010106
担旨	当部	3署 🥻	防署			消队	詩課			消队	方係			作	成担当	4者名	篠	原	真	=	連絡	先	82-9119
	期			E	標							実	績							課	題		
四	第	水防	訓練の実						各水质			確認	l.	拖			水防うに依頼	資材等 関し実	の調3 施して	上管理		、広域	消防職員
•	第 2 期	水防	資材の管	理					水防道	₹材のჼ	管理								の調3 実施し			、広域	消防職員
期ご	第 3 期		資材の管 水防倉		材調査	の実施	į			₹材のり 水防1	管理 庫の資	材調	査の	実施			に依頼 今年 実施	買して 度水害 ナる。	実施しなかり	ている。	。 用資材の	補給は	消防職員 来年度に
٤	第 4 期	泉野7 水防資	水防倉庫 資材の管	iの 修 理 i理	実施。					K防倉! ₹材の'	庫の修理 管理	実施	i.				に依頼	買して 医水害	実施し	ている			消防職員
Ø										耳	-		評	価									
							新たし	こ生じ	た問題	点や環	環境の変	化	→ 成	拡拡	3	Ť			2		⑤	(D
	消队	5職員(こより土	のうを作	F成して	いる。							, (() () ()		状維持	÷			3		6 L	, (<u> </u>
管												0	- i								ļ		
		÷	r 左	\ 	I == -	マケボ	+ + -	- 五 / コム	. + - -/	- 	`		「向]		<u>ا</u>			4		8	1	ש
理	숙개		f年度の 章の改修				水事.	垻(以	. 中 • 0	大吉東)		-	· 休	廃」	E (D						
		A EN CAL	+0040	P 10 112 1	•							Ĺ	5				皆	減	縮	小	現状維	持	拡 大
												45	生	/			⊐	ス	F	投	人の	方「	句 性
			_				1																
	_	評価年			4年度						Li	Let			<u> </u>			Lat		40	A =T	I	alan —
-	視			妥	当		生	5 1	有			性	_	1 1	効	率		性		総	合 評	価	判定
評		の観		2	3	4	判员		2	3	4	1	定	- 1	2	3	4	判別			<u> </u>		
	-	エック)	四級曲	T (186 +	4	3 +> U		季 番(:	こ応える		4 40 ±	マナル:	古 坐 1-	- 4tk 4±	4514	4		ΙΛ ·			を進めるこ
		いたない		או נכי	用頻度	といい目の	u C C	<i>₽</i> • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	更なる	而女儿	こ心へる	少女	יכיםינו	@ /E @/·	字末16	神上初	しなり	1614	ā	:	とが適当		
価	課																		号 の				改善が必要 ・実施主体
																			定	2	の見直し:	が必要	
	題																		義	D :	事業の統 [・] 討が必要	台、休	・廃止の検
С	KZK.																		育	前年度	総合評価	判定	
																							09010120
Н	4//>		細	施		策		評	価		前			細		施		策		评	価		後
Е																							ロしたこと S需要に応
		える	ひ要が あ	るため	事業は	継続し	しなけ	ればな	らない				える	必要が	あるが	とめ事	業は維	整続し	なけれ	ばな	らない。		
С											より、水水の												リ、水防資 炎害に対応
к		する。			.012.	760		 *	C. 19211	0 ()	N.X. 6 1 -	73 MG	する		, NA G. 2		7-0	/ DC \		2+*X	C ##11 0	CANS	CHICNING
	価																						
)		前:	年 度 i	改革	· 改	善策	€ の	実 施	状 況	ļ,			前台	年度紛	∄施領	き評値	五にま	うける	る今後	後の ブ	方向性		
改	△		細	施	į.	策		評	価		前			細		施		策	1	平	価		
革	今	成	拡	充			2		⑤		7		成	拡	3	7						Ī	レ
改	後	果							ļ <u>.</u>		.j		果										
善善	の	のナ	現状	:維持	ļ		3		6	レ	9		のナ		状維持	f							
ō	方	方向	縮	小			4		8		10		方向	縮	1	١							
方向	向	性	休息	荛 止	1								性	休	廃」	Ł							
性				_	皆	減	縮	小	現状	維持	拡	大		_			皆	減	縮	小	現状維	持	拡大
<u> </u>	性				J	コス	<u> </u>	投 .	人の	方	向 性		_				=	ス		投	へ の フ		性
A	改					水防1	庫も	あり、	補修や	更新を	を見据え	て計											推持してい / 士のも代
C	革		を作成し 近年局			・ 発生し	してい	るため	、水防	資材酮	己備数を	維持					· v ·FE⊒	しいう	衣で、	MJ /+1	十畝か食	v.U (/土のう袋
i		してし	いくと共	に、劣	化が激						が長いU												
0	~ .	いつま	後に変更	してい	S •																		
Z)	善策																						
	來	<u> </u>											<u> </u>										
最終	冬評	価年月	月日	平成28	年5月2	0日	最 終	冬評(西 責	任 者				Ä	肖防課	長					東	城源	

事務	事業	纟名	建築物耐震	火修	事業										事	業期間	1 平	成	15	~		年度	き 整	理番号	를	05030	0303
担当	当部	署	都市建設部			者	市計	画課			建築係				作	成担当	当者名	1.	г ‡	1 📜	_	郎	j	連絡先		53	4
			プランに 位置づけ	有	政分	策 体	系		策 策 施 策 海 業		第5章 第5節 建築物	災	害に引	食い、	安全	る高原 で明る 推進											
計	予	算	事 業 名	建築	物耐	農改	修事	ķ									会	計コ-	ード	001	款	08	項	05 E	0	2 事:	業 03
画	事系	多事	· 業の概要 _{わかりやすく)}	診り金女	を実 象工	施し	ます。 度額 (・耐震 カ1/2ヵ	診断の かつ90)結果、 . 9万円	を住宅に 倒壊の 以内で を置とし	の危険 補助	性が をしま	ある強 Eす。	物にまた	こつい [、] 、経済	て、iii i的な	提補 理由	強コ	上事を 耐震	実施と	するネ ヾ行え	者になし	国、県	及し	パ市カ	(補助
			と背景うして)								こもかが 本的な対																害に
(目	対	受益者		•						による							民									
Р		象	対象 (直接働きかける)									•															
	的	(どん	意図な状態にしたいか)								建築されて替え (が実	施され	n.	倒壊の	危限	黄性カ	いある
L A			・ 方 法 やって)								吏い、 倒壊 (性を
			行政活動の組	洁果:	からこ	ر ک	だす	ものに	は何?	指	標	名	称	単	位	算出力	法・	計算	式·	目標	値設	定の	考え	方なる	ビ 最	最終目	標値
N	評	活動指	区長宛文書	こよ・	る年間		回数			年間回	覧回数	女		[1	年間σ	実施	目標	直を	設定							2
)	価指標の	標																									
	作	成	成果	•	効	果		何	?	指	標	名	称	単		<i>-</i> 1					- 11			方なる	ビ 最	最終目	標値
	成		地震災害に、減少	よる	到壊(危險	性が	ある	主宅の	民間信	È宅の■	対震化	;率	9		耐震性 く) 平					三総数	女(別	川在を				90

		頁	目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予算 又は決算額)	平成28年度 事業計画(予算)
			(a)	円	8, 241, 000	6, 671, 000	2, 626, 000	16, 976, 640	13, 243, 000
	財	国庫支出	金	円	2, 645, 000	2, 913, 000	1, 213, 000	8, 284, 000	4, 932, 000
実	源	県 支 出	金	円	2, 098, 000	1, 816, 000	598, 000	4, 326, 700	3, 021, 000
	内	地方	債	円					
		その他特定財		円					
	訳	一 般 財	源	円	3, 498, 000	1, 942, 000	815, 000	4, 365, 940	5, 290, 000
施	職	正規職	員	人	0. 50	0. 50	0. 50	0. 60	0. 50
	員	嘱 託 職	員	人					
		臨 時 職	員	人					
状	数	白	計	人	0. 50	0. 50	0. 50	0. 60	0. 50
1/		対象 (者)	数		68	34	19	30	46
			(b)		68	34	19	30	
			(b)	円	121, 191	196, 206	138, 211	565, 888	_
況		受益者負担	額	円	8, 954, 410	12, 911, 000	3, 744, 000	13, 623, 200	
	Ī	市民一人当たりのコス		円	147. 00	119.00	47. 00	303. 00	304. 00
			目標	o o	2	2	2	2	2
		年間回覧回数	実績		1	1	1	4	2
	活		達成率	%	50.00	50. 00	50. 00	200. 00	100.00
	動		目標	_					
	指	_	実績						
D	標		達成率	%	_	_	_	_	_
	尔		目標	_					
		_	実績						
			達成率	%					
0	<u>-</u>		目標	%	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00
	成	民間住宅の耐震化率	実績		80. 46	81. 31	82. 06	82. 90	83. 60
	果指		達成率	%	89. 40	90. 34	91. 18	92. 11	92. 89
J	指		目標	_					
	標	_	実績	0.1					
			達成率	%					
	備	05030310「木造住宅耐震	E診断 導	楽」	と05030311 「木造住宅	『耐震補強補助事業』	を見直し、平成27年	度から1事業として評	恤。
	±z								
	考								

	当部	来名 煙等	建設		于木	# ₹	計画課		1	建築係	<u> </u>					別间 1 日当者名		15 竹村	-	<u> </u>	連絡	金 大 生		30303	
끄		有制川	建议	alb		ĦPI	神川四味			连来					TFIXT	23111		נידר ניו				おル		34	
	期			E	標							実	績							課	題				
四	1	市民へ回覧等で耐震化の重要性や補助制度に *耐震診断と耐震改修工事についてPRを行い、耐震診断及び耐震改修工事 の希望を募る ・耐震診断16件 ・耐震改修工事1件														こついて回覧によりP 耐震診断と耐震改修工事において、申請 予定数に満たない								-数が	
半期	第 2 期	再度、市 件数を予	民へ配定数に	対 震診 こ近づ(新等の ける	案内を	行い、申	請	ビーナラ 耐震診 耐震改 既存耐	断1件 修工事 腰不适	(累計 2件 格建第	17 累 東 物	件) 計3件]耐度	‡) 診断2	2件(累	計2件)	大 断	耐震診断において、申請件数が増えない 木造在来工法以外の住宅を対象とした、耐震診 断の補助等の検討が必要							
70 1	第 3 期	耐震診断近づける	内を行		を目 件)	的と	したフォ	トーラム	よりPF いについ	耐震診断向上への検証 木造在来工法以外の住宅や避難所を対象とした、耐震診断の補助等の検討が必要															
٤		4 木造在来工法以外の住宅や避難所の耐震診 ・ 成存耐度不適格運輸耐度診断補助 ・ 新補助要綱策定 ・ 連集物耐度改修促進計画等 I ・ 連集物耐度改修促進計画に係る要標																		多工事の 度のPR	件数向」	とへの	検証		
_O	■坐在展開始後 络仓,自称级道! 或+.1.2 产!+.明昀上为严持不派儿!!.																								
	■ 当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 _会														拡	充			2		⑤	レ	7		
管	耐度収修工事について、昨年度より申請件数や申請相談が増加した。(昨年 中の中語性数2件)また耐電診断については、現時点で昨年の中語性数1回														現状終縮	推持 小			3		6		9 10		
																			•		•		100		
理	新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策) 茅野市建築物耐震改修促進計画では平成27年における耐震化率を90%と することを日標としているが、達成困難な状況です。会後耐電化率を向上さ														休廃	止	①								
	することを目標としているが、達成困難な状況です。今後耐震化率を向上させるために、新たな補助メニューの導入が必要です。														/		皆:	減 コス	縮ト	小 投 <i>ブ</i>	201711	推持 方		大 性	
	評価年度 当年度																								
	_	見点		妥	当		<u> </u>		有	効		性			効	互	<u>z</u>	性		総	合 評	価	判	定	
_		の観点	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	-	钊定	1	2	3			引定	4.5				,~	
評		ェック					4			レ			3 4 B												
価(C	課題	件数が増れます。 申請す る資料を	きた。 きが、 記布	い。P 補助金 した方	Rをす 交付等 がよい	ると の 事 き と 思 れ	いて、年 申請があ その流れ っれます。	るので をなか	で、四半いなか理	期ごと解して	とで計	画的い場	りに F B 合か	Rを がある	してく	ことだ	有效	だと	り	記号の定義 B C D:	計と事事の事計総に当び適の様しの必要がある。	当 生め方 英・内・ がみ、 充 要 一	に改善容・実 要 休・廃	計が必要 に施主体 を止の検 A	
н			細	施	į	策	評	i	価		前			1	細	施		策		評	価		後		
E C K)	総合評価	建業制制を対した	耐断化断で設こ	改対促報か有が 促るががかへき	進補期義診働ました。	を見 い き け 実 け 。	直し、新 対制度を け。 れている: ことで、	たにオ の拡射 大規模 た と 施 記	造在来こ きする 美建築物 なで耐震	工法がで 3施計	以外のできた。 できた。 G U U U U U U U U U U U U U U U U U U	事 いと は	の耐で力い	建耐震耐、した	耐断促断で設こ	と対すが限からが 修す期告な者で はなった。	進補で 義診 動ま	動房ませたいた 見助。さ施る	成制! れてしこと	新たに すを拡充 いる大規 いただけ で、 2 施	木造在されること すること 模建築物なかが 設で耐力	とがで する施 たが、 と診断	以外た設に野	事で、 つい 県と協	
ah-							の実				<u></u>		BU						ବ -	今後のフ		_	14		
改革	今		細	施	ኔ 	策	F	•	価		前				細	施工		策		評	価		後		
	後	成 果	拡	充			2		⑤			ر 		戈 艮	拡	充								レ	
改善	の	の	現状紀	維持			3	1	6	(9		0	Ď	現状約	Ě持									
O	方	方向	縮	小			4		8	(1	0		ブ に		縮	小									
方		向 性	休 廃	止	1)										休 廃	止									
向性(向 性	_		小 足 入	現状維持 拡 大 入の方向性					_ 			皆	減 コ :	縮スト					大生					
ACTIOZ)	改革・改善策	て助成制 地域居住 ことを根	度を を推 対し	設けて 進して ます。	います いるこ また、	が、ま とか。 耐震	主は通年 孝野市地 ら、別荘 生を確保 功につい	域創生 等にで するだ	E総合戦 ついても Eめの補	略にお対象と強工事	さいて	. = いく	て地に	助成制 域居住 とを検	度を を推済 討し	设けて 進して ます。	います いるこ また、	が、 ことか 耐震	茅野ら、	通年居住 市地域創 削荘等に 確保する ついても	生総合 ^権 ついて ための	戦略に も対象 補強エ	おいとし	て、二 ていく	
最	終評	価年月1	3	平成28:	年5月2	0日	最終	評価	i 責 任	者				4	市計	画課長					細目	B •	信	_	

事															事業期	間「	P成		~		年度	整整	理番号	10010107	
担	当部	署	企画総務部			洋	防課				消防	係				作成担:	当者	名	篠	原	真	=	ì	連絡先	
	市お	民ける	プランに 位置づけ	策体	系	政 施 細 が 事務		05 05 04 08	第5消防	第5章 快適で安らぎのある高原都市づくり 第5節 災害に強い、安全で明るいまちづくり 消防体制の充実 防火防犯事業															
計	予	算	事 業 名	非常	備消	防費											숲	:計=	1 — K	00	款	09	項	01 目	02 事業 05
画	事	務事	茅野市防犯組合は、茅野防犯協会連合会や地区防犯動を推進し、安全で住みよい地域社会の実現に寄与茅野市防火協会は、市内の危険物施設のある事業のい、災害に強いまちづくりのための活動をしていまれた。 北京 (特殊詐欺や不審者等)の被害や犯罪を減らす															_							
			と 背 景うして)													活動す る必要			ある。	•					
•	目	対	受益者 市民 対象 (直接働きかける) ###################################																						
P		象																							
	的	意 図 市内の子供が被害に遭わないようにする。 市内の事業所の災害をなくす。																							
L A	新型										0			と施す	⁻る 。										
			行政活動の約	結果な	いらこ	つくり	だす	ものに	は何?	指	標	名	i 1	陈	単位	算出:	方法	• 計	算式	・目标	票値割	定の	考え	方など	最終目標値
N	評	活動	防犯パトロー	ールョ	と 施					防犯	パトロ	ール	回数	t _		平均技	登校 日	∃ × 3	署						633
	価指								講習	会参加	啫			%	講習:	会参加	口者/	防犯	指導」	×10	00			70	
	標の	1775	防火教室参加者								防火教室参加者					教室	参加者	1/防	火協	会員	< 100				50
	作	成	成果		効	果	は	何	?	指	標	名	<u></u> ₹	称	単位	算出:	方法	· 計	算式	・目标	票値割	定の	考え	方など	最終目標値
	成	果指	防犯指導員							防犯	指導員	数			人	2 01	世帯に	= 1,	ι.			_		_	1, 000
		標																							

		頁	目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予算 又は決算額)	平成28年度事業計画(予算)
	-		(a)	円	3, 839, 873	5, 542, 335	4, 272, 739	6, 236, 485	6, 438, 000
	財	国庫支出	金	丑					
	源	県 支 出	金	田					
		地 方	債	円					
	内	その他特定財	源	円					
	訳	一 般 財	源	円	3, 839, 873	5, 542, 335	4, 272, 739	6, 236, 485	6, 438, 000
施	職	正 規 職	員	人		0. 55	0. 55	0. 55	
		嘱 託 職	員	人					
	員	臨 時 職	員	人					
J.B.	数	合	計	人		0. 55	0. 55	0. 55	
状	3	対象 (者)	数						
	7	延利用(者)数	(b)						
	Ĺ		(b)	円	-	_	_	_	_
況	5	受益者負担	額	円					
	Ī	市民一人当たりのコス	, ,	円	68. 00	99. 00	76.00	111.00	115.00
			目標	•	633	633	633	633	
		防犯パトロール回数	実績		436	397	356	350	
	活		達成率	%	68. 88	62. 72	56. 24	55 . 29	_
	乱		目標	%	70	70	70	70	
	動指	講習会参加者	実績	70	53	39	54	54	
D	招標		達成率	%	75. 71	56. 16	77. 33	77. 39	-
			目標	%	50	50	50	50	
		防火教室参加者	実績	70	27	33	36	43	
			達成率	%	53. 04	66. 28	72. 68	85. 54	-
0			目標	거	1, 000	1, 000	1, 000	1, 000	1, 000
	成	防犯指導員数	実績	^	593	611	617	607	620
	果		達成率	%	59. 30	61. 10	61. 70	60. 70	62. 00
	果指		目標	-					
	標	_	実績		·				
			達成率	%	-	_	-	_	_
	備				·		·		
	考								

	事務事業名 防火防犯事業 担 当 部 署 企画総務部 消防課 消防係													間 平月		~	_	度 整理番		0010107				
担	当 部	著 企画	総務普	8		消防	方課		消防	係			作成担	当者名	篠	原	<u>Į</u> =	連絡的	는 -					
	期			F	標					9	€ 績						Ţ	題						
				-	- IN						- 1155				課題									
	第	防火協会						防火土	3会総会	字施					 県危険物安全協会事務については消防本部一括									
四	1	防犯組合		<u> </u>						智会実施	E							,, = = 0 · CI	~ (H E)					
	期	危険物準	1月 高再 1	五							_				で取ってもらいたい									
ale	华	BLVE AT A	40 A					防犯	8会及(指導貝語	背景	の開催	°											
半	第 2	防犯組合 防犯指導		9 <u>4</u>					財室の実	尾施。消防	まつり	ルに協力	」。【写生	大	県危険物安全協会事務については消防本部一括									
		防犯指導 第2回危			計議習 ●	≙ .		会】	加取报 类	保安講習	3 余万	び笙の	可合陰型	加討論	で取っ									
쇞里	州	から出る	~ 100 pA		10 MT7 100 2	••			がなびて 貴習会の		- 44	. → × × 1	二/公K T		1									
期	第	防犯活動	の実生	 \$5				REXD ≥	手動の性	€施10/8					園な吟帖中人切入古功については迷いとす か。 セ									
		防火教室			会研修	視察の	実施	防火地	ロ動いき	€旭10/8 €視察10/	′6 ~ 7F	防火数 3	字及12/	8.	県危険物安全協会事務については消防本部一括									
=	期			100					10-		•	で取ってもらいたい												
	第	毎0日午	معسره	E4-24-14	<u>는 글뿐 370</u> 4	_		** • •	_			県危険	物安全	協会事程	多についてに	よ消防	本部一括							
۲	4	第3回危限 県及び南	史物試 信曲 F	、映华作 文合除	明神首? 物安全	K。 協会i	終会達	第3回		絡会議		で取っ	てもらし	いたい										
	期	AAU H	12 -15 K	/6 次	,	un as A	- TH - AN 1998	36.00	JIII 24 75	17H 44 198		防犯等	設置の	補助金	が増えている	5.								
	Н								F fi	Fi .		l .												
の	<u>ч</u>	生 中 胆 北 4	\$ \$L	16 4 5	コ 4ミダム .	温!	卒にナー1ー ⊁	├ ` +_ 88 82	評								: ~							
								 検者でない					拡	充		2)	5	7)				
	保厄 町太	映物女生 で給討が) 	学務に	ンいて	はアル	7未務性	灰白 でない	⊂難しく	、ラ彼が	後	果一	現状維	持		3)	6	9)				
管	年度	・ ほのい E途中で補	助金	, 申請が	ないの	に防狐	2灯等の	要望をして		¥														
	ある	: - · · ·				_			の	ク 向	縮	小		4)	8	Œ)						
3199								(改革・改	方		休廃.	止 (D											
理	防狐	2灯等の補	助金	申請が	増えて	いるの	で予算的	りに精査し						` /	, ,	TP J b AV								
									向		/		皆	減縮				太 大						
									性				⊐	スト	、 投	入のな	方 向] 性						
評価年度 当年度																								
	裑	見点		妥	当	ı	<u> </u>	有	效) 性	Ė		効	率	性	Ė	総	合 評	価	判定				
	評価	面の観点	1 1	2	3	4	判定	1 2	3	4	判定	1	2	3	4	判定				_				
評	チェック 4												+-			4	1	A						
	\vdash	特殊詐欺	1-01	ハ ア の	抽宝蚝	+ ∜ +=	-				4		1				ΙΔ	: 計画どおり	」事業を	を進めるこ				
								物安全協会						記	とが適当	/ 于木	_ 1E-07-0 C							
価	課	防犯パト	ローノ	レにつ	いて、	広域》	的職員	にも協力し	してい	۷.					: 事業の進め									
- inch	HVIN	防犯灯要	望が地	曽加し	ている	•									の C 定	: 事業規模・ の見直した		・美施王体						
~																		: 事業の統合		・廃止の検				
	題																** /= =	計が必要	kıl 🕁 T					
С																		前年度総合評価判定						
						-			_				_	14		_		前年度評価シート整理番号						
Н	4/1		#	施		策	評		·	前			#	施		衰	評	価		发				
_	総							い1つにな	ればい	ر ،								つになれ	まいい	٠.				
E	合	防犯パト 防犯灯設						CUICO					世ール				続してし	***						
С		אם וא טניוא	_ X =	三 // /	,,,,, 0 C	→ • • • • • • • • • • • • • • • • • • •					 	APAI BX	, <u>, , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>	·· · //-	J C 0 .	•								
	評																							
ĸ	ш																							
	価																							
$\overline{}$		前年	度 改	革	· 改	善策	この 実	施状炎	7		前	1年度	細施多	策 評 侃	1日にお	ける	今後の	方向性						
改		4	HH	施		策	評			前			H	施		衰	評	価	4					
革	今				,	平		•							3	K	ĀŤ	ТЩ	£	Ø.				
	後		拡	充			2	5		7		,,,,	拡	充										
改		果	現状約	推持			3	6	V	9		果	現状維持	诗				レ						
善	の	b							j.			'						-						
の	方	ク 向	縮	小			4	8		10		ク 向	縮	小										
の方向		Lat	休廃	止	1							t at	休廃」	止										
向												_	., ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		比,	rat 61	\$.1.	1日 小下 4 米 十	± ±	÷ ±				
性	l-1	<u> </u>					10/5	小 現状	、推打		^	_				咸 絹		現状維持		広 大				
	性	" —						2 1 A	+ -	- 19 1						7	トセル	λ Λ +	· -	性				
_	性		**	7.△ ★		コス	. 卜 挑	え 入 の		句 性	-	在贮业	上 人 歩	△古≫				入の方		性				
Α	性改	県危険物			務が予	コ ス 防業 を	ト 技	でないと糞	しい。						が予防	業務経	験者でな	いと難し	۱,					
A	性	県危険物 防犯パト 続してい	ローノく必要	レにつ 医があ	<u>務が予</u> いて、 る。	コ ス 防業教 広域》	ト 担 多経験者 肖防職員	でないと難 にも協力し	しい。 こてもら		継げ	犯パト	ロール	につい	が予防て、広	業務経	験者でな		۱,					
A C T	性改革・	県危険物 防犯パト 続してい	ローノく必要	レにつ 医があ	<u>務が予</u> いて、 る。	コ ス 防業教 広域》	ト 担 多経験者 肖防職員	でないと糞	しい。 こてもら		継続	犯パト してい	ロール く必要	につい がある	が予防 て、広 。	業務経 域消防	験者でな	いと難し	۱,					
A C T I	性改革・改	県危険物 防犯パト 続してい	ローノく必要	レにつ 医があ	<u>務が予</u> いて、 る。	コ ス 防業教 広域》	ト 担 多経験者 肖防職員	でないと難 にも協力し	しい。 こてもら		継続	犯パト してい	ロール く必要	につい がある	が予防 て、広 。	業務経 域消防	験者でな 職員にも	いと難し	۱,					
A C T I O	性改革・改善	県危険物 防犯パト 続してい	ローノく必要	レにつ 医があ	<u>務が予</u> いて、 る。	コ ス 防業教 広域》	ト 担 多経験者 肖防職員	でないと難 にも協力し	しい。 こてもら		継続	犯パト してい	ロール く必要	につい がある	が予防 て、広 。	業務経 域消防	験者でな 職員にも	いと難し	۱,					
A C T I	性改革・改	県危険物 防犯パト 続してい	ローノく必要	レにつ 医があ	<u>務が予</u> いて、 る。	コ ス 防業教 広域》	ト 担 多経験者 肖防職員	でないと難 にも協力し	しい。 こてもら		継続	犯パト してい	ロール く必要	につい がある	が予防 て、広 。	業務経 域消防	験者でな 職員にも	いと難し	۱,					
ACTION)	性の革・改善策	県危険物 防犯パト 続してい	く必要	レにつあずが増	<u>務が予</u> いて、 る。	コ ス 防業系 広域 いる、	ト 技 新経験者 当防職員 配分に	でないと難 にも協力し	しい。 いてもら		継続	犯パト してい	ロール く必要	だあるが増加	が予防 て、広 。	業務経 域消防	験者でな 職員にも	いと難しい 協力して はする。	۱,					